

令和元年

近畿管内一級河川の水質現況の公表

(資料編)

令和2年7月

近畿地方整備局

目 次

1. 令和元年水質調査結果	1
1. 1 近畿地方一級河川の水質調査地点.....	1
1. 2 生活環境の保全に関する環境基準の満足状況.....	3
1. 3 BOD75%値のランク別割合.....	6
1. 4 各地点の水質状況.....	8
1. 5 主要河川の地点別水質経年変化.....	18
1. 6 水系別の水質概況.....	29
1. 7 人と川のふれあいからみた水質状況.....	43
2. 今後の河川水質管理の指標について	50
2. 1 今後の河川水質管理の指標の概要.....	50
2. 2 近畿地方整備局管内の調査地点について.....	50
2. 3 令和元年調査結果.....	51
3. 令和元年度ダイオキシン類及び内分泌かく乱物質実態調査結果	58
3. 1 ダイオキシン類の調査地点.....	58
3. 2 ダイオキシン類の調査結果.....	58
3. 3 内分泌かく乱物質の調査地点.....	63
3. 4 内分泌かく乱物質の調査結果.....	63
4. 近畿地方整備局管内における水生生物調査の状況	65
4. 1 令和元年調査結果.....	65
4. 2 水質階級構成比の年次推移.....	68
4. 3 水生生物調査の参加者数.....	71
5. 水質事故の発生状況	72

1. 令和元年水質調査結果

1. 1 近畿地方一級河川の水質調査地点

近畿地方整備局管内で、近畿地方の一級水系河川の直轄管理区間延長約800kmに対し、水質調査を169地点で実施（一部地点は指定区間にて実施）した。

令和元年に水質調査を行った地点の内訳は、河川類型指定 103地点（河川98地点、ダム湖5地点）、湖沼類型指定 51地点（うち11地点は滋賀県調査）、類型未指定 15地点（河川11地点、ダム湖4地点）となっている。類型別及び水系別の水質調査地点数を表-1.1及び1.2に示す。

表-1.1 類型別水質調査地点数

	河川 類型指定	湖沼 類型指定	類型 未指定	計
河川	98	0	11	109
ダム	5	4	4	13
湖沼	0	47	0	47
計	103	51	15	169

表-1.2 水系別調査地点数

水系名	新宮川 <small>しんぐわがわ</small>	紀の川 <small>きのがわ</small>	大和川 <small>やまとがわ</small>	淀川 <small>よどがわ</small>	加古川 <small>かごがわ</small>	揖保川 <small>いほがわ</small>	九頭竜川 <small>くずりゅうがわ</small>	北川 <small>きたがわ</small>	由良川 <small>ゆらがわ</small>	円山川 <small>まるやまがわ</small>	合計
調査地点数	5	11	14	103	7	7	8	3	6	5	169

水質調査地点数についての経年変化を見ると、昭和42年には39地点であったものが、翌年に43地点、3年後の昭和45年には46地点となりその後も増加し、平成17年には168地点となった。平成23年以降は1箇所増加し、169地点にて水質調査を行っている。

また、水質の常時監視、水質事故対策、異常濁水等緊急時に対処することを目的として、昭和46年より水質自動監視装置による水質監視を行っており、現在、管内9水系30箇所に設置している。測定項目は、水温・pH・導電率・DO(溶存酸素)・濁度を全箇所で測定し、アンモニア・シアン・COD・クロロフィルa等、その他必要に応じて測定を行っている。

1. 2 生活環境の保全に関する環境基準の満足状況

類型指定区間内において河川指定103地点と湖沼指定12地点（琵琶湖については47地点のうち8地点で代表）の115地点に対するBOD75%値（またはCOD75%値）の満足状況は以下のとおりである。なお、令和元年の調査では、新宮川水系の川原樋川取水口で測定が実施されなかったことにより168地点に対して類型別環境基準の満足状況を評価した。

図-1.1に河川、図-1.2に湖沼の類型指定地点における類型別環境基準の満足状況を示す。

類型別に見ると、河川については、AA類型では、平成30年は3地点全てで環境基準を満足していた。令和元年は、測定が行われなかった川原樋川取水口を除く2地点全てで環境基準を満足した。A類型では、平成30年は61地点全てで環境基準を満足していたが、令和元年は1地点減少した（100%→98%、2ポイント減少）。B類型（22地点）及びD類型（4地点）では、平成30年と同様に全地点で環境基準を満足した。C類型では、平成30年は13地点全てで環境基準を満足していたが、令和元年は1地点減少した（100%→92%、8ポイント減少）。E類型の地点はない。

河川全体では、平成30年には103地点全てで環境基準を満足していたが、令和元年は2地点で環境基準を満足していなかった（100%→98%、2ポイント減少）。

湖沼については、平成30年ではAA類型の8地点とA類型の4地点のうち、A類型の1地点で環境基準を満足していた。令和元年も同様にA類型の1地点で環境基準を満足した。湖沼全体でも、平成30年、令和元年ともに1地点で環境基準を満足した。

図-1.3に河川、図-1.4に湖沼の類型指定地点における水系別環境基準の満足状況を示す。

河川について水系別に見ると、10水系中、新宮川、大和川、加古川、揖保川、九頭竜川、北川、由良川、円山川の8水系の全ての調査地点において環境基準を満足した。紀の川水系（11地点）、淀川水系（43地点）で、それぞれ1地点ずつ環境基準を満足しなかった。

湖沼について水系別で見ると、新宮川水系（1地点）では平成30年と同様に1地点が環境基準を満足し、淀川水系（11地点）では平成30年と同様に全地点で環境基準を満足しなかった。

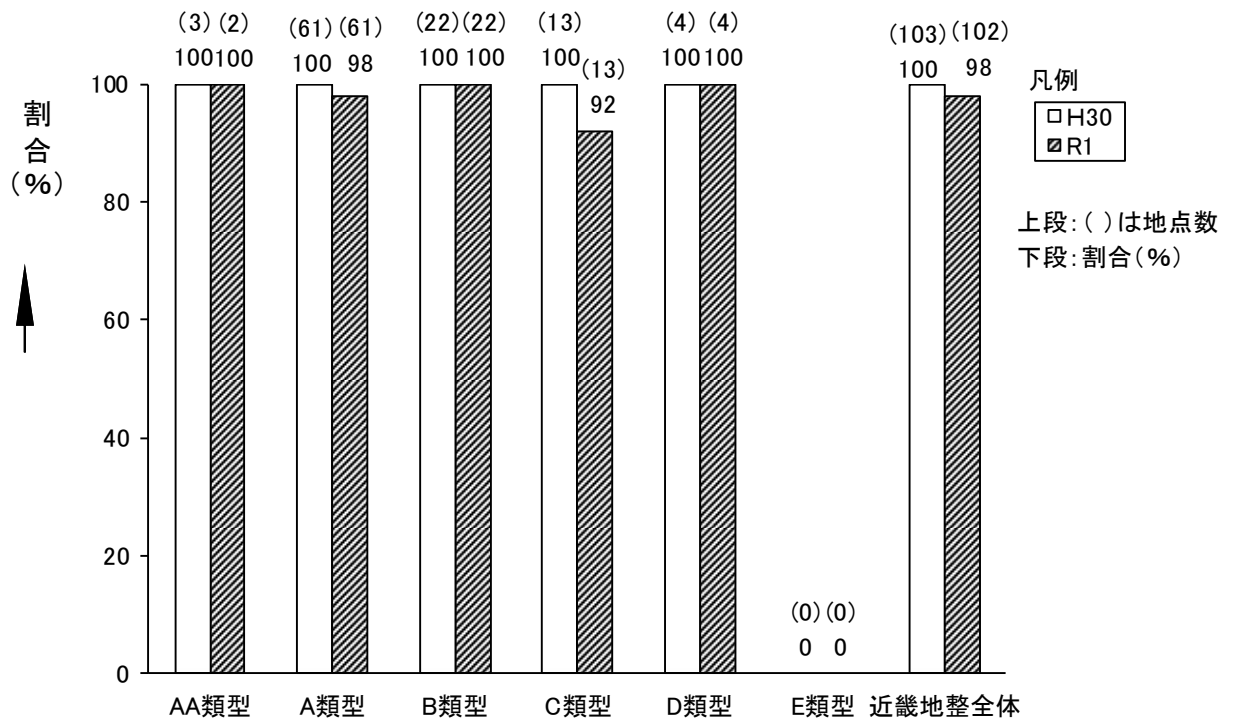


図-1.1 河川類型指定地点における類型別環境基準の満足状況 (平成30年、令和元年) (BOD75%値)

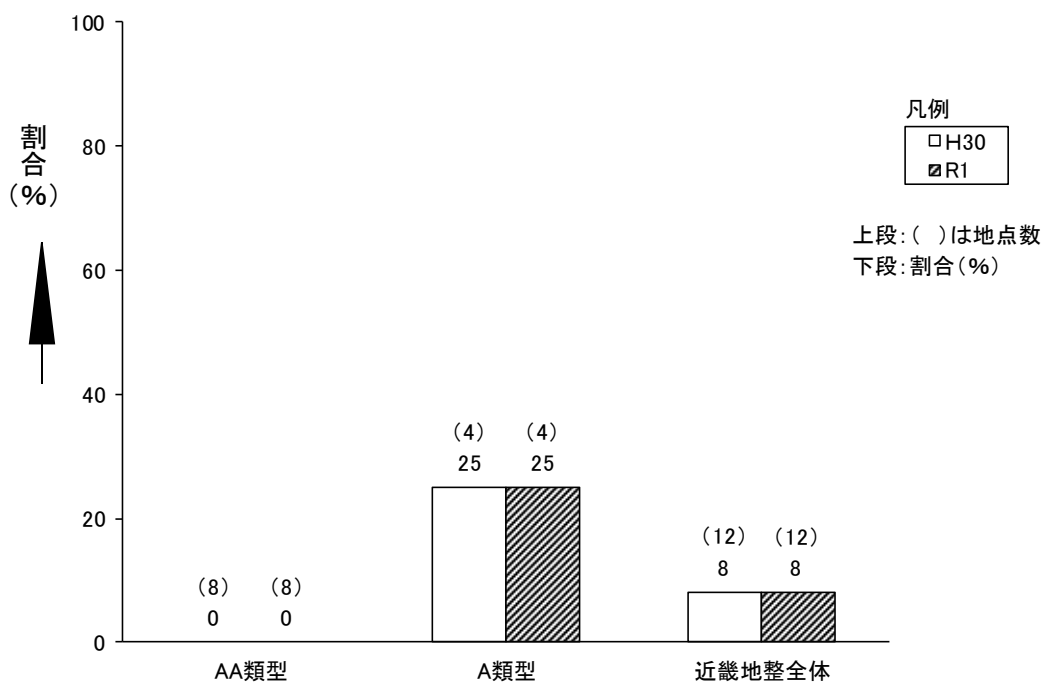


図-1.2 湖沼類型指定地点における類型別環境基準の満足状況 (平成30年、令和元年) (COD75%値)

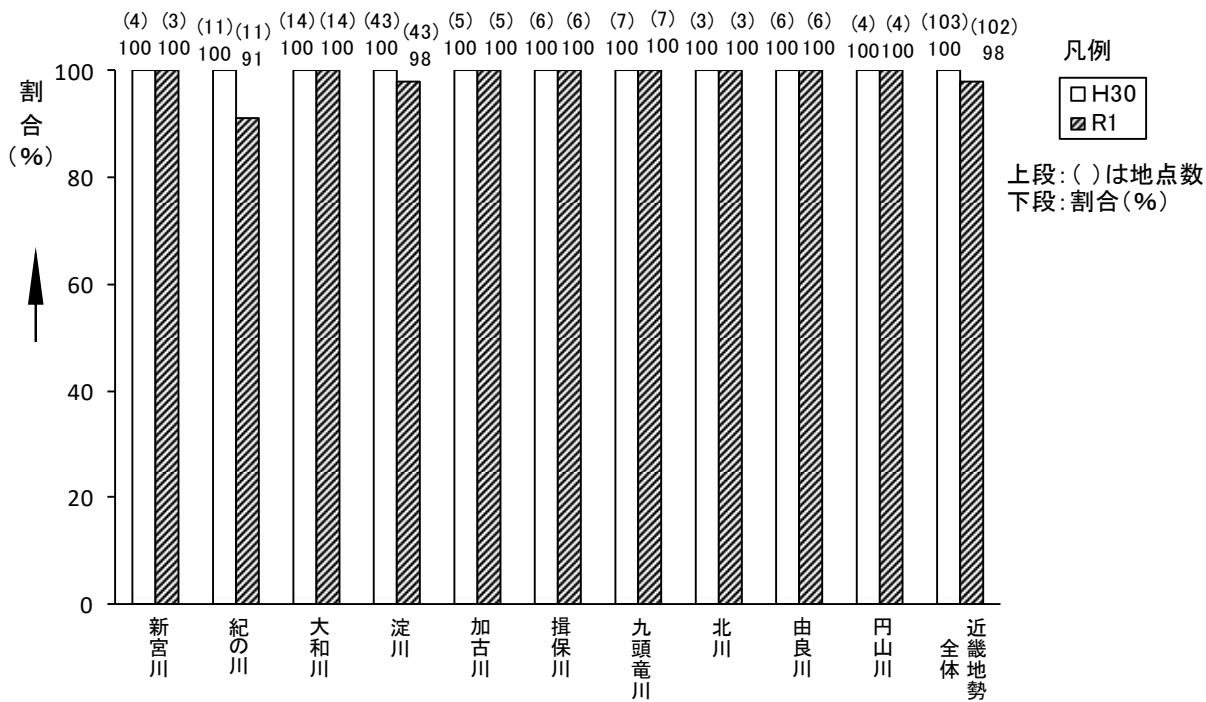


図-1.3 河川類型指定地点における水系別環境基準の満足状況 (平成30年、令和元年) (BOD75%値)

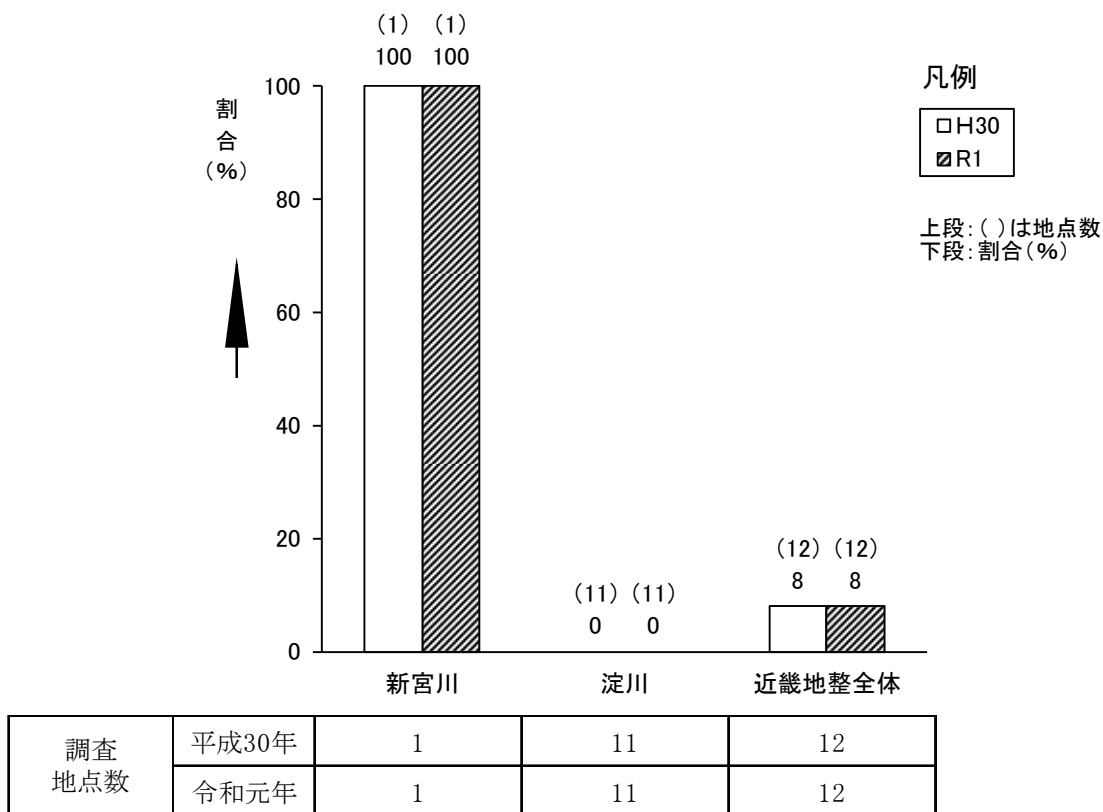


図-1.4 湖沼類型指定地点における水系別環境基準の満足状況 (平成30年、令和元年) (COD75%値)

1. 3 BOD75%値のランク別割合

令和元年の河川108調査地点（ダム湖、測定が行われなかった川原樋川取水口を除く）におけるBOD75%値のランク別割合経年変化を図-1.5に示す。水道用水として利用でき、またサケやアユが生息できる良好な水準（BOD75%値が3.0mg/L以下）の水質を満足している地点の割合は全調査地点の93.5%であり、平成30年と比べて3.7ポイント減少した。

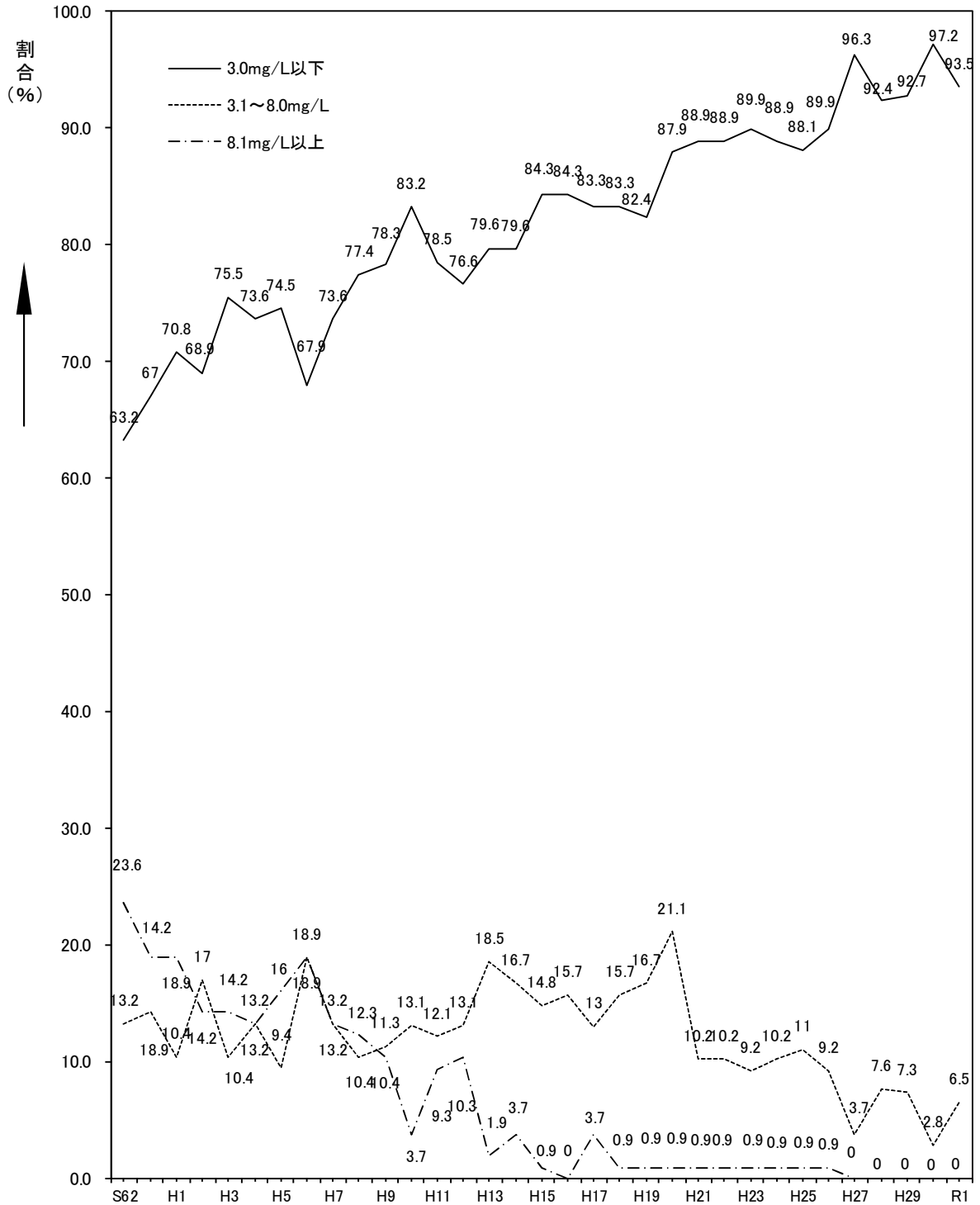


図-1.5 BOD75%値ランク別割合経年変化（108地点）

河川（ダム湖を除く）におけるBOD75%値のランク別割合の平成30年、令和元年比較を図-1.6に示す。

水利用に望ましくないとされる水質（BOD75%値が8.1mg/L以上）の地点は、平成30年と同様に令和元年はなかった。

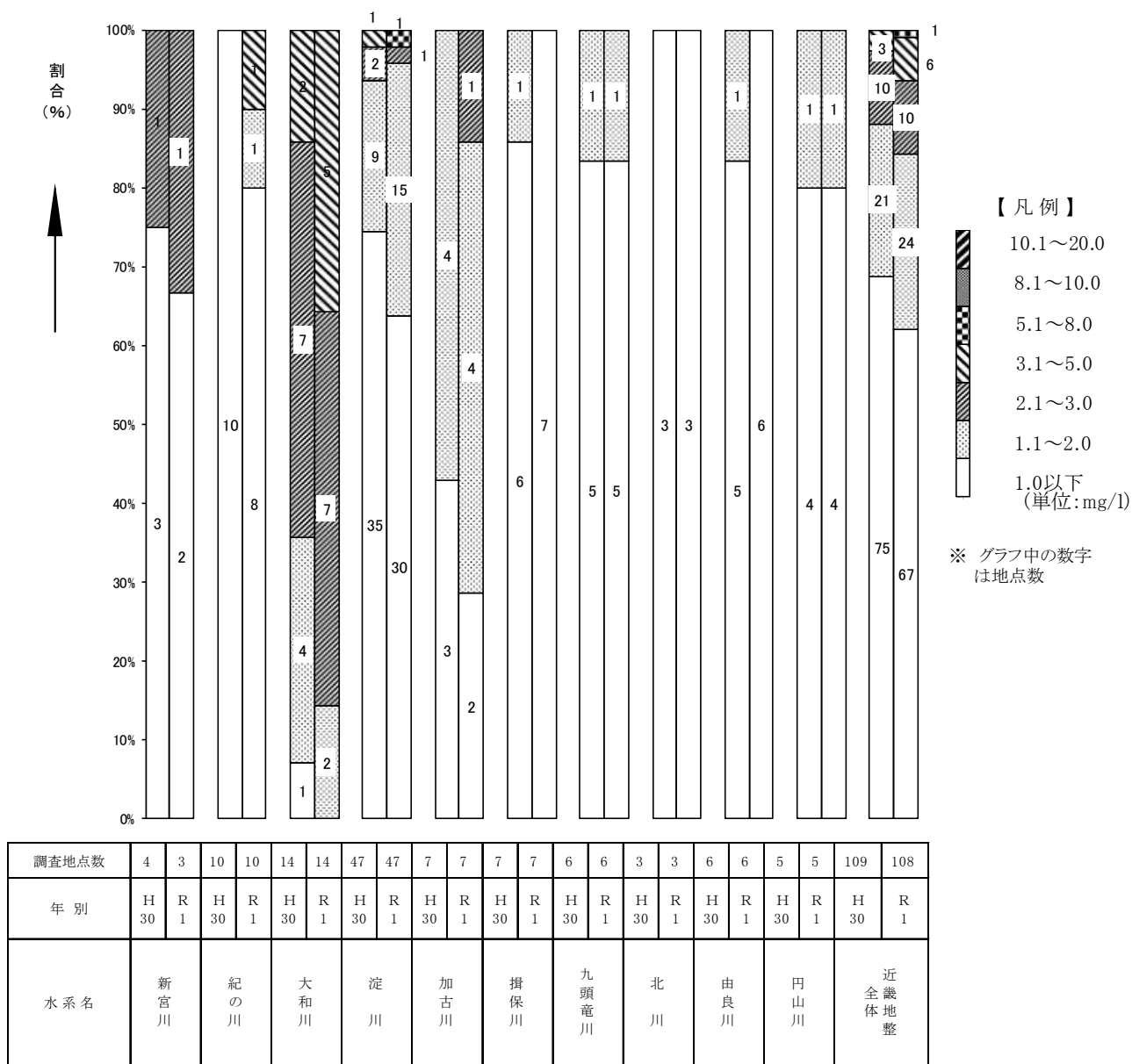


図-1.6 水系別BOD75%値のランク別割合（平成30年 109地点，令和元年 108地点）
※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

1. 4 各地点の水質状況

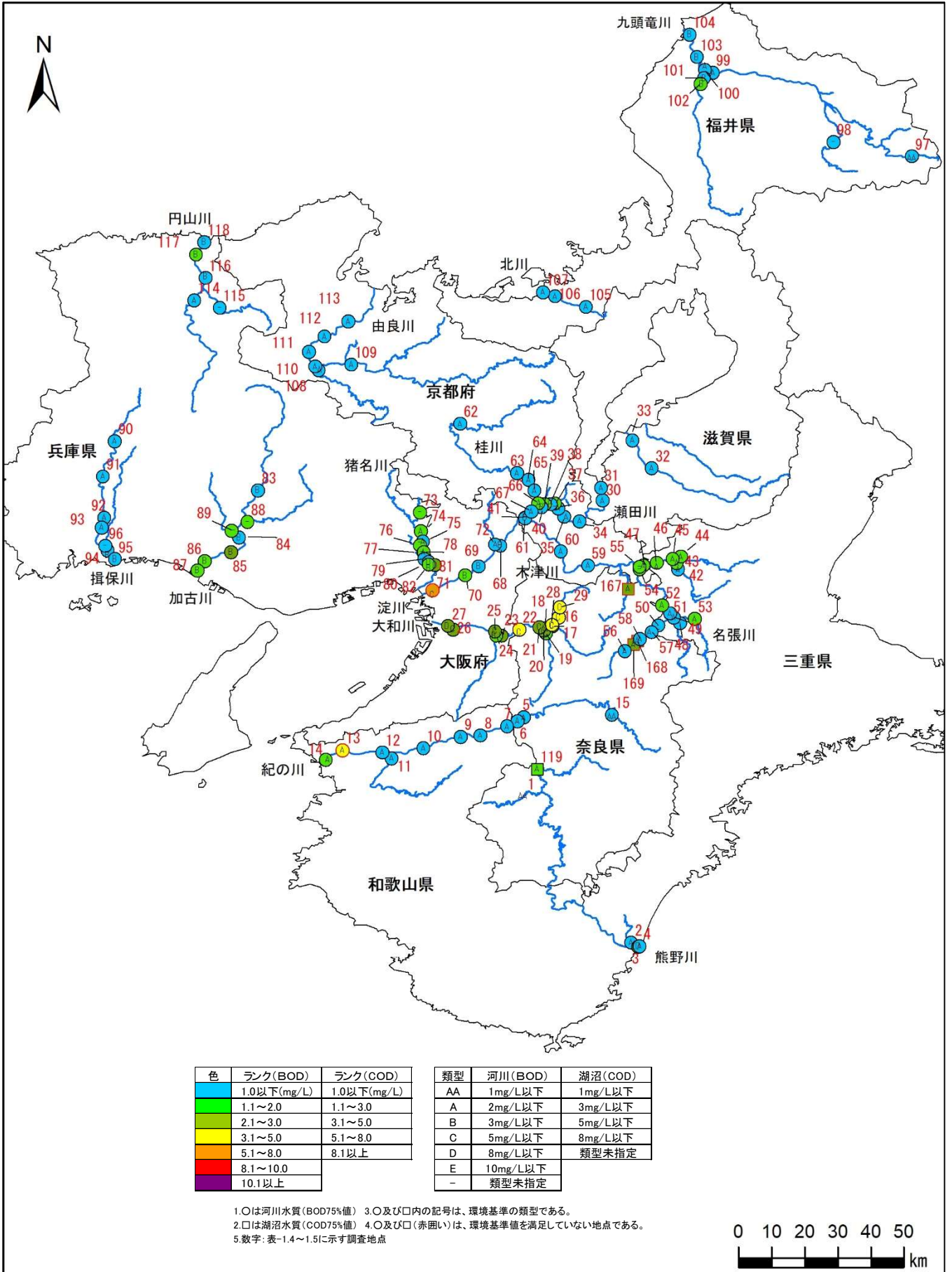


図-1.7 河川(湖沼)の水質状況(BOD75%値及びCOD75%値)

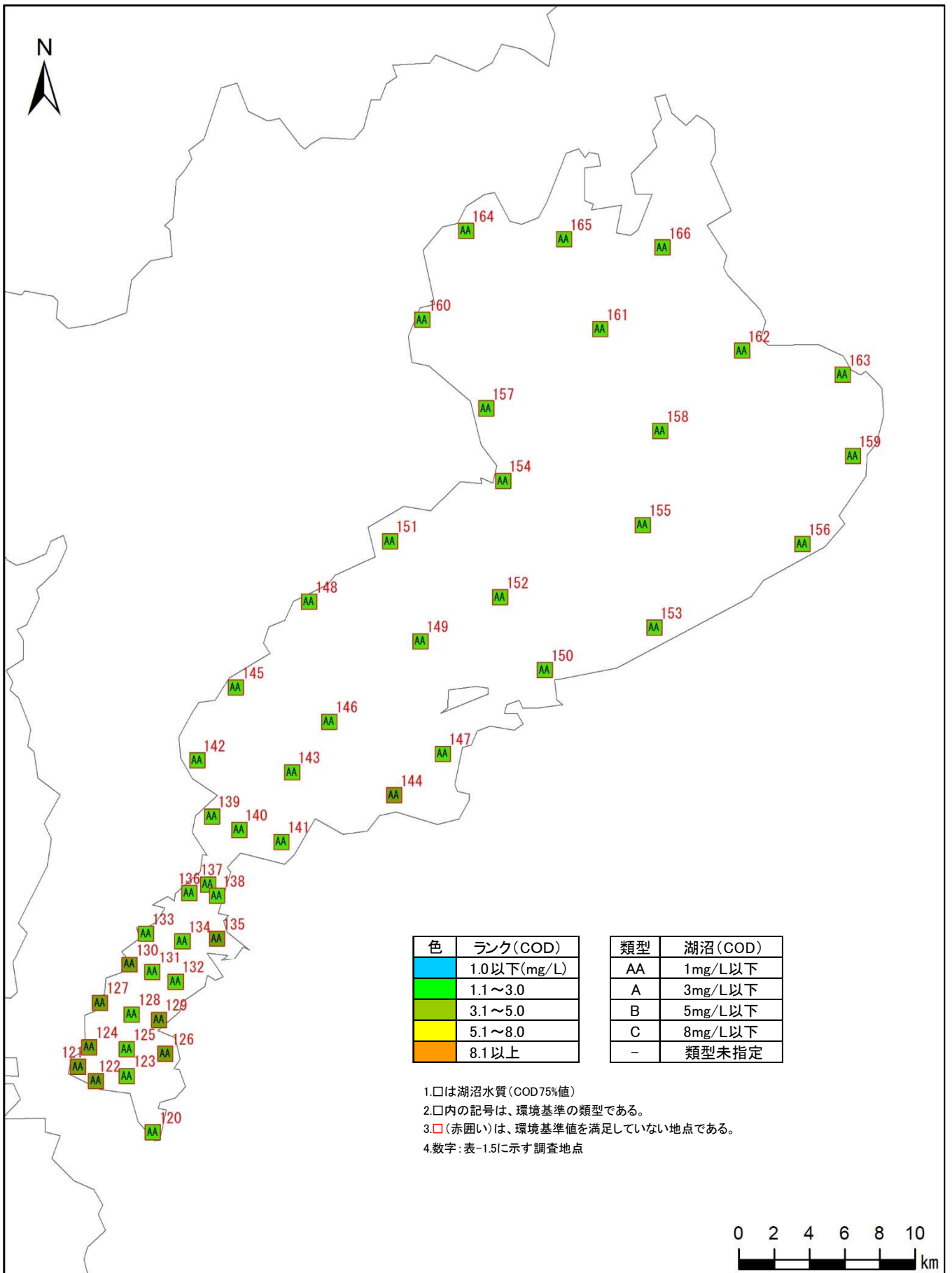


図-1.8 琵琶湖における水質状況 (COD75%値)

各地点のBOD年平均値について表-1.3に示す。令和元年は、熊野川の熊野大橋及び熊野川河口、紀の川の岸上橋、揖保川の曲里及び山崎、北川の上中橋及び高塚で0.5mg/Lと最も小さい値となった。

表-1.3 令和元年一級河川のBOD年平均値

単位:mg/L

河川名	調査地点		各地点のBOD年平均値
	地点数	府県名	
くまのがわ 熊野川	2	和歌山	熊野大橋 0.5 熊野川河口 0.5
きのかわ 紀の川	9	奈良・和歌山	大川橋 0.6 御蔵橋 0.6 恋野橋 0.6 岸上橋 0.5 三谷橋 0.6 藤崎井堰 0.7 船戸 0.8 新六ヶ井堰 2.5 紀の川大橋 1.2
やまとがわ 大和川	8	奈良・大阪	上吐田 2.6 太子橋 3.3 御幸大橋 2.9 藤井 2.8 国豊橋 2.2 河内橋 1.9 浅香新取水口 1.8 遠里小野橋 1.9
よどがわ 淀川	10	滋賀・京都・大阪	洗堰下 0.9 宇治橋 0.8 隠元橋 0.7 観月橋 0.8 宇治川大橋 0.8 宇治川御幸橋 0.9 枚方大橋 0.8 鳥飼大橋 0.8 菅原城北大橋 0.9 伝法大橋 4.4
やすがわ ※野洲川	2	滋賀	石部 0.7 服部 0.6
かつらがわ ※桂川	5	京都	渡月橋 0.6 西大橋 0.6 久世橋 0.6 羽束師橋 1.1 宮前橋 0.9
うだわ ※宇陀川	4	三重・奈良	安部田 0.7 高倉橋 0.9 辻堂橋 0.7 室生路橋 0.7
なばりがわ ※名張川	4	三重・京都	新夏見橋 0.8 名張 0.9 家野橋 0.9 高山ダム下流 0.9
きづがわ ※木津川	8	三重・京都	大野木橋 0.8 長田橋 1.1 岩倉橋 1.1 島ヶ原大橋 1.3 笹瀬橋 1.2 恭仁大橋 0.8 玉水橋 0.7 木津川御幸橋 0.7
いながわ ※猪名川	4	大阪・兵庫	呉服橋 0.7 軍行橋 0.9 猪名川橋 0.6 利倉 2.7
かこがわ 加古川	4	兵庫	大住橋 1.0 国包 1.7 池尻 1.4 相生橋 1.6
いぼがわ 揖保川	6	兵庫	曲里 0.5 山崎 0.5 嘴崎橋 0.6 龍野 0.6 上川原 0.8 本町橋 0.7
まるやまがわ 円山川	4	兵庫	府市場 0.6 立野 0.8 結和橋 1.0 港大橋 0.9
ゆらがわ 由良川	5	京都	音無瀬橋 0.8 筈巻橋 0.9 波美橋 0.6 由良川橋 0.7 以久田橋 0.6
きたがわ 北川	3	福井	上中橋 0.5 高塚 0.5 西津橋 0.6
くずりゅうがわ 九頭竜川	4	福井	中角 0.6 新布施田 0.7 高屋橋 0.8 九頭竜川河口 1.1
ひのがわ ※日野川	2	福井	深谷 1.0 日光橋 1.6

備考：※印は主要支川（直轄管理区間延長が概ね10km以上、かつ水質調査地点が2地点以上ある河川）

表-1.4 (1) 一級河川の主要地点BOD値による水質状況

注：◎ 印は環境基準地点
 地点番号は図-1.7に示す。
 地点名のアンダーラインは滋賀県調査
 環境基準状況：○印は達成
 無印は未達成
 -印は基準値の指示なし

地点番号	河川名	地点名	類型指定	BOD (mg/L)								基準値
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況 (75%値)		
				H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	
新宮川 (水系)												
1	川原樋川	◎川原樋川取水口	AA	0.5	欠測	0.5	欠測	0.5	欠測	○	-	1
2	熊野川	◎熊野大橋	A	0.5	0.5	<0.5	<0.5	0.5	0.5	○	○	2
3	市田川	◎市田川河口	D	2.8	2.1	2.9	2.4	6.1	2.9	○	○	8
4	熊野川	熊野川河口	A	0.6	0.5	<0.5	<0.5	0.7	0.5	○	○	2
紀の川 (水系)												
5	紀の川	◎大川橋	A	0.6	0.6	0.6	0.8	1.1	0.9	○	○	2
6	〃	御蔵橋	A	0.6	0.6	0.6	0.5	0.9	0.9	○	○	2
7	〃	◎恋野橋	A	0.6	0.6	0.6	0.6	1.0	0.9	○	○	2
8	〃	岸上橋	A	0.6	0.5	0.7	0.5	0.8	0.6	○	○	2
9	〃	三谷橋	A	0.7	0.6	0.6	0.5	0.9	0.7	○	○	2
10	〃	◎藤崎井堰	A	0.6	0.7	0.6	0.8	1.0	0.9	○	○	2
11	貴志川	高島橋	A	0.8	0.8	0.9	0.7	1.0	1.3	○	○	2
12	紀の川	◎船戸	A	0.7	0.8	0.6	0.9	1.2	1.4	○	○	2
13	〃	新六ヶ井堰	A	0.8	2.5	0.9	3.3	1.1	5.4	○		2
14	〃	紀の川大橋	A	0.8	1.2	0.7	1.6	1.5	1.9	○	○	2
15	〃	大滝ダム湖ダムサイト	AA	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.7	○	○	1
大和川 (水系)												
16	佐保川	井筒橋	C	2.4	3.4	2.4	3.7	3.3	4.4	○	○	5
17	初瀬川	上吐田	C	2.6	2.6	3.3	3.7	5.1	4.9	○	○	5
18	大和川	太子橋	C	3.2	3.3	3.4	3.6	5.2	4.6	○	○	5
19	曾我川	◎小柳橋	C	1.0	1.5	1.1	1.7	1.3	3.7	○	○	5
20	〃	保橋	C	2.2	2.4	2.5	2.5	3.1	3.1	○	○	5

表-1.4 (2) 一級河川の主要地点BOD値による水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型指定	BOD (mg/L)								基準値
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況 (75%値)		
				H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	
21	大和川	御幸大橋	C	2.6	2.9	2.7	3.0	4.0	5.4	○	○	5
22	〃	◎藤井	C	2.4	2.8	2.4	3.5	4.6	4.2	○	○	5
23	〃	国豊橋	C	2.1	2.2	2.4	2.7	3.9	3.0	○	○	5
24	石川	◎石川橋	B	0.8	1.1	1.0	1.3	1.2	2.1	○	○	3
25	大和川	◎河内橋	C	1.7	1.9	1.8	2.1	2.8	2.7	○	○	5
26	〃	◎浅香新取水口	C	1.7	1.8	1.6	2.1	2.9	2.4	○	○	5
27	〃	◎遠里小野橋	D	1.6	1.9	1.7	2.1	2.5	2.8	○	○	8
28	佐保川	◎額田部高橋	C	2.7	3.2	3.0	3.7	4.2	4.7	○	○	5
29	〃	郡界橋	C	2.3	2.9	2.5	3.4	3.0	3.8	○	○	5
淀川 (水系)												
30	瀬田川	洗堰下	A	1.3	0.9	1.6	1.0	2.1	1.5	○	○	2
31	〃	◎唐橋流心	A	1.0	0.6	1.0	<0.5	3.2	0.9	○	○	2
32	野洲川	石部	A	0.8	0.7	0.8	0.9	1.1	0.9	○	○	2
33	〃	◎服部	A	0.7	0.6	0.8	0.7	1.0	1.2	○	○	2
34	宇治川	大峰橋 (天ヶ瀬ダム)	A	1.0	0.7	1.2	0.7	2.1	1.3	○	○	2
35	〃	宇治橋	A	0.9	0.8	1.0	0.7	1.0	1.2	○	○	2
36	〃	◎隠元橋	A	0.9	0.7	1.0	0.8	1.6	1.1	○	○	2
37	山科川	中野橋	未指定	2.4	1.9	2.5	1.7	2.7	2.9	—	—	—
38	宇治川	観月橋	B	0.9	0.8	1.0	0.8	1.0	1.0	○	○	3
39	東高瀬川	三栖橋	未指定	1.0	1.7	1.0	1.4	1.6	3.5	—	—	—
40	宇治川	宇治川大橋	B	0.9	0.8	1.0	0.7	1.2	1.1	○	○	3
41	〃	◎宇治川御幸橋	B	1.0	0.9	1.1	0.9	1.6	1.6	○	○	3
42	木津川	◎大野木橋	A	0.7	0.8	0.9	0.8	1.3	1.9	○	○	2
43	〃	長田橋	A	1.0	1.1	1.0	1.2	1.5	1.5	○	○	2
44	服部川	◎伊賀上野橋	A	1.0	1.0	1.1	1.3	1.8	1.4	○	○	2
45	木津川	◎岩倉橋	A	1.1	1.1	1.4	1.5	2.4	1.8	○	○	2

表-1.4 (3) 一級河川の主要地点BOD値による水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型指定	BOD (mg/L)								基準値
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況 (75%値)		
				H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	
46	木津川	◎島ヶ原大橋	A	1.3	1.3	1.5	1.9	3.2	2.7	○	○	2
47	〃	◎笹瀬橋	A	1.5	1.2	1.4	1.3	4.5	2.4	○	○	2
48	青蓮寺川	青蓮寺ダム湖	未指定	0.9	0.7	1.0	0.8	1.6	1.0	-	-	-
49	名張川	新夏見橋	A	0.7	0.8	0.8	1.0	1.0	1.1	○	○	2
50	宇陀川	安部田	未指定	0.7	0.7	0.7	0.9	0.9	0.9	-	-	-
51	名張川	名張	A	0.8	0.9	0.8	1.0	1.2	1.0	○	○	2
52	〃	◎家野橋	A	0.7	0.9	0.8	1.1	1.1	1.4	○	○	2
53	〃	比奈知ダム湖	A	1.1	1.1	1.3	1.3	1.6	1.5	○	○	2
54	〃	高山ダム湖	未指定	0.9	1.2	1.1	1.4	1.7	2.7	-	-	-
55	〃	高山ダム下流	未指定	0.8	0.9	1.0	1.1	1.1	1.1	-	-	-
56	宇陀川	◎高倉橋	A	0.7	0.9	0.9	1.0	1.0	1.9	○	○	2
57	〃	◎辻堂橋	A	0.6	0.7	0.7	0.9	0.9	1.1	○	○	2
58	〃	室生路橋	A	0.6	0.7	0.7	0.6	0.8	1.0	○	○	2
59	木津川	◎恭仁大橋	A	0.8	0.8	0.8	0.9	1.9	1.1	○	○	2
60	〃	◎玉水橋	A	0.8	0.7	0.7	0.9	1.7	1.0	○	○	2
61	〃	◎木津川御幸橋	A	0.7	0.7	0.6	0.8	1.6	1.1	○	○	2
62	桂川	貯水池基準点 (日吉ダム)	A	0.6	0.8	<0.8	0.9	1.1	1.3	○	○	2
63	〃	◎渡月橋	A	0.7	0.6	0.7	0.7	1.0	0.8	○	○	2
64	〃	◎西大橋	A	0.7	0.6	0.7	0.6	1.1	0.9	○	○	2
65	〃	久世橋	A	0.7	0.6	0.8	0.6	0.9	0.7	○	○	2
66	〃	羽束師橋	A	0.9	1.1	1.0	1.1	1.2	1.7	○	○	2
67	〃	◎宮前橋	A	0.9	0.9	0.9	1.0	1.2	1.5	○	○	2
68	淀川	◎枚方大橋	B	1.0	0.8	1.0	0.9	1.7	1.2	○	○	3
69	〃	◎鳥飼大橋	B	1.0	0.8	1.2	0.9	1.6	1.5	○	○	3
70	〃	◎菅原城北大橋	B	1.3	0.9	1.3	1.1	3.6	1.6	○	○	3
71	〃	◎伝法大橋	C	1.8	4.4	2.1	5.4	4.9	12	○		5

表-1.4 (4) 一級河川の主要地点BOD値による水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型指定	BOD (mg/L)								基準値
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況 (75%値)		
				H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	
72	芥川	◎ 鷺打橋	A	0.7	0.8	0.8	0.9	1.1	1.3	○	○	2
73	一庫大路次川	一庫ダム	未指定	0.7	1.1	0.6	1.2	1.6	1.5	-	-	-
74	猪名川	◎ 銀橋	A	0.7	0.9	0.8	1.1	1.0	1.6	○	○	2
75	"	呉服橋	A	0.6	0.7	0.6	0.7	0.9	1.1	○	○	2
76	最明寺川	最明寺川流末	未指定	0.9	1.8	0.9	1.8	1.6	2.7	-	-	-
77	猪名川	◎ 軍行橋	A	0.7	0.9	0.8	1.0	1.1	1.4	○	○	2
78	内川	内川流末	未指定	1.3	0.9	1.4	1.1	1.5	1.1	-	-	-
79	駄六川	駄六川流末	未指定	1.0	0.9	0.9	1.0	1.6	1.4	-	-	-
80	猪名川	猪名川橋	D	0.6	0.6	0.7	0.6	1.3	1.0	○	○	8
81	猪名川	◎ 利倉	D	3.4	2.7	3.7	2.9	8.8	5.6	○	○	8
82	藻川	◎ 中園橋	B	0.8	1.0	0.9	1.3	1.7	1.4	○	○	3
加古川 (水系)												
83	加古川	◎ 板波	B	0.9	0.9	0.8	1.0	2.3	1.7	○	○	3
84	"	大住橋	B	0.8	1.0	0.7	0.9	1.2	1.3	○	○	3
85	"	国包	B	1.3	1.7	1.3	2.6	3.0	4.3	○	○	3
86	"	◎ 池尻	B	1.2	1.4	1.1	1.8	3.4	3.4	○	○	3
87	"	相生橋	B	1.2	1.6	1.4	2.0	2.3	3.2	○	○	3
88	東条川	古川橋	未指定	1.1	1.4	1.1	1.5	1.3	1.5	-	-	-
89	万願寺川	西脇橋	未指定	1.2	1.2	1.0	1.2	1.7	1.5	-	-	-
揖保川 (水系)												
90	揖保川	曲里	A	0.6	0.5	0.6	<0.5	0.7	0.6	○	○	2
91	"	◎ 山崎	A	0.6	0.5	0.5	0.5	1.0	0.8	○	○	2
92	"	嘴崎橋	A	1.0	0.6	1.1	0.5	1.7	0.7	○	○	2
93	"	◎ 龍野	A	0.7	0.6	0.7	0.6	1.2	1.0	○	○	2
94	"	◎ 上川原	B	0.7	0.8	0.8	0.7	1.1	1.4	○	○	3
95	"	本町橋	B	0.9	0.7	0.8	0.9	1.7	0.9	○	○	3
96	林田川	構	未指定	0.8	0.9	1.0	1.0	1.2	1.1	-	-	-

表-1.4 (5) 一級河川の主要地点BOD値による水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型指定	BOD (mg/L)								基準値
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況(75%値)		
				H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	
九頭竜川 (水系)												
97	九頭竜川	◎九頭竜ダム湖	AA	0.9	1.0	1.0	1.0	1.8	2.1	○	○	1
98	真名川ダム湖	真名川ダム湖	未指定	0.9	0.9	1.0	0.9	1.6	1.9	—	—	—
99	九頭竜川	◎中角	A	0.6	0.6	0.7	0.5	0.8	1.0	○	○	2
100	〃	高屋橋	A	0.7	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	○	○	2
101	日野川	◎深谷	B	0.9	1.0	1.0	0.9	1.6	2.2	○	○	3
102	〃	日光橋	B	1.2	1.6	1.2	1.6	1.8	2.8	○	○	3
103	九頭竜川	◎新布施田	B	0.7	0.7	0.9	0.8	1.2	1.2	○	○	3
104	〃	九頭竜川河口	B	1.4	1.1	0.9	0.7	3.5	2.3	○	○	3
北川 (水系)												
105	北川	上中橋	A	0.6	0.5	<0.5	0.5	0.7	0.6	○	○	2
106	〃	◎高塚	A	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	○	○	2
107	〃	西津橋	A	0.5	0.6	<0.5	0.6	0.5	0.9	○	○	2
由良川 (水系)												
108	土師川	◎土師橋	A	0.8	0.7	0.9	0.7	1.4	1.2	○	○	2
109	由良川	◎以久田橋	A	0.7	0.6	0.8	0.6	1.1	0.8	○	○	2
110	〃	◎音無瀬橋	A	0.8	0.8	0.9	0.8	1.3	1.4	○	○	2
111	〃	筈巻橋	A	0.8	0.9	0.8	0.8	1.1	1.6	○	○	2
112	〃	◎波美橋	A	0.6	0.6	0.7	0.7	1.1	0.8	○	○	2
113	〃	◎由良川橋	A	1.0	0.7	1.1	0.8	2.1	1.1	○	○	2
円山川 (水系)												
114	円山川	◎府市場	A	0.6	0.6	0.6	0.5	0.8	0.8	○	○	2
115	出石川	弘原	未指定	0.6	0.5	<0.5	0.5	0.9	0.6	—	—	—
116	円山川	◎立野	B	0.6	0.8	0.7	0.7	1.0	2.2	○	○	3
117	〃	結和橋	B	1.2	1.0	0.7	1.1	3.1	1.2	○	○	3
118	〃	港大橋	B	0.9	0.9	1.1	1.0	1.5	1.2	○	○	3

表-1.5 (1) 一級河川(湖沼)の主要地点COD値による水質状況

注：◎ 印は環境基準地点
 ○ 印は環境基準地点 (N・P)
 地点番号は図-1.7 および図-1.8 に示す。
 地点名のアンダーラインは滋賀県調査
 環境基準状況：○印は達成
 無印は未達成

地点番号	河川名	地点名	類型指定	COD (mg/L)								基準値
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況 (75%値)		
				H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	
新宮川 (水系)												
119	熊野川	◎ 猿谷ダム湖中央	A	1.7	1.6	2.0	2.1	2.9	2.4	○	○	3
淀川 (水系)												
120	琵琶湖 (南湖)	栗津沖中央	AA	3.4	2.9	3.2	3.0	6.1	3.7			1
121		三保ヶ崎沖	AA	3.4	2.9	3.1	3.1	8.3	3.8			1
122		◎ 浜大津沖	AA	3.4	2.9	3.1	3.2	6.8	3.6			1
123		浜大津沖中央	AA	3.1	2.7	3.0	2.9	6.0	3.4			1
124		柳ヶ崎沖	AA	3.4	2.9	3.3	3.1	8.4	3.8			1
125		柳ヶ崎沖中央	AA	3.4	2.6	3.1	2.8	8.4	3.6			1
126		山田港沖	AA	3.6	3.2	3.5	3.7	7.9	4.2			1
127		○ 唐崎沖	AA	3.3	3.3	3.3	3.4	6.0	6.6			1
128		◎ 唐崎沖中央	AA	3.5	2.8	3.0	3.0	7.4	3.8			1
129		伊佐々川沖	AA	3.8	3.1	3.6	3.2	6.7	3.8			1
130		大宮川沖	AA	3.1	2.9	3.2	3.1	5.4	3.9			1
131		大宮川沖中央	AA	3.6	2.8	2.9	2.9	8.5	3.6			1
132		志那沖	AA	3.5	2.9	3.2	3.0	6.8	3.9			1
133		雄琴沖	AA	2.9	2.8	2.8	2.9	4.9	4.1			1
134		雄琴沖中央	AA	3.9	2.7	3.2	2.9	11.0	3.6			1
135		◎ 新杉江港沖	AA	4.1	3.9	4.2	4.1	8.0	5.3			1
136		堅田沖	AA	2.7	2.7	2.7	2.7	3.7	3.4			1
137		◎ 堅田沖中央	AA	2.8	2.8	2.9	2.9	3.4	3.4			1
138	木ノ浜沖	AA	3.0	2.7	3.1	2.7	5.6	4.2			1	
南湖平均				3.4	3.4	3.2	3.2	6.8	6.8			
139	琵琶湖 (北湖)	丹出川沖	AA	2.2	2.5	2.3	2.7	2.8	3.0			1
140		丹出川沖中央	AA	2.3	2.4	2.5	2.5	2.9	3.0			1
141		吉川港沖	AA	2.4	2.6	2.7	2.6	2.8	3.4			1
142		ほうらい沖	AA	2.3	2.4	2.5	2.6	3.0	2.9			1

表-1.5 (2) 一級河川(湖沼)の主要地点COD値による水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型指定	COD (mg/L)								基準値
				平均値		75%値		最大値		環境基準達成状況(75%値)		
				H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	
143	琵琶湖 (北湖)	ほうらい沖中央	AA	2.2	2.3	2.2	2.5	2.9	2.6			1
144		日野川沖	AA	2.7	2.7	3.2	3.1	3.6	3.3			1
145		南比良沖	AA	2.1	2.3	2.2	2.5	2.6	2.7			1
146		○南比良沖中央	AA	2.4	2.5	2.7	2.7	3.2	3.2			1
147		長命寺沖	AA	2.3	2.6	2.6	2.6	2.8	3.6			1
148		◎北小松沖	AA	2.4	2.4	2.6	2.7	2.9	2.8			1
149		北小松沖中央	AA	2.2	2.2	2.3	2.4	2.6	2.6			1
150		◎愛知川沖	AA	2.4	2.6	2.6	2.7	2.8	3.6			1
151		大溝沖	AA	2.3	2.3	2.5	2.5	3.0	2.7			1
152		大溝沖中央	AA	2.2	2.2	2.4	2.4	2.7	2.5			1
153		石寺沖	AA	2.2	2.4	2.3	2.4	2.8	3.6			1
154		安曇川沖	AA	2.2	2.3	2.5	2.6	2.9	2.8			1
155		○安曇川沖中央	AA	2.2	2.4	2.3	2.7	2.7	2.9			1
156		彦根港沖	AA	2.4	2.5	2.5	2.7	2.8	2.9			1
157		外ヶ浜沖	AA	2.1	2.1	2.2	2.4	2.6	2.5			1
158		外ヶ浜沖中央	AA	2.1	2.2	2.2	2.3	2.6	2.4			1
159		天野川沖	AA	2.3	2.3	2.4	2.6	2.8	2.7			1
160		◎今津沖	AA	2.2	2.4	2.3	2.6	2.6	2.9			1
161	○今津沖中央	AA	2.3	2.5	2.5	2.7	2.8	2.9			1	
162	姉川沖	AA	2.2	2.2	2.3	2.5	2.8	2.7			1	
163	◎長浜沖	AA	2.4	2.6	2.6	2.9	2.9	3.3			1	
164	知内川沖	AA	2.2	2.2	2.3	2.4	3.0	2.7			1	
165	知内川沖中央	AA	2.3	2.2	2.5	2.5	2.8	2.7			1	
166	早崎港沖	AA	2.1	2.1	2.2	2.3	2.7	2.6			1	
北湖平均				2.3	2.3	2.4	2.4	2.8	2.8			
167	布目川	◎布目ダム	A	3.7	3.9	4.2	4.1	4.8	5.0			3
168	宇陀川	◎室生ダム湖	A	2.8	3.3	3.1	4.0	4.0	6.0			3
169	〃	◎県営水道取水口	A	3.1	3.7	3.4	4.7	4.2	5.9			3

1. 5 主要河川の地点別水質経年変化

表-1.3の地点ごとに、BOD年平均値の経年変化を以下に示す。

① 熊野川

熊野川の2地点のうち、熊野大橋は近年、0.5mg/L前後で横ばいの傾向であり、熊野川河口は平成22年頃までは変動が大きかったが、近年は1.0mg/L未満の間で推移している。

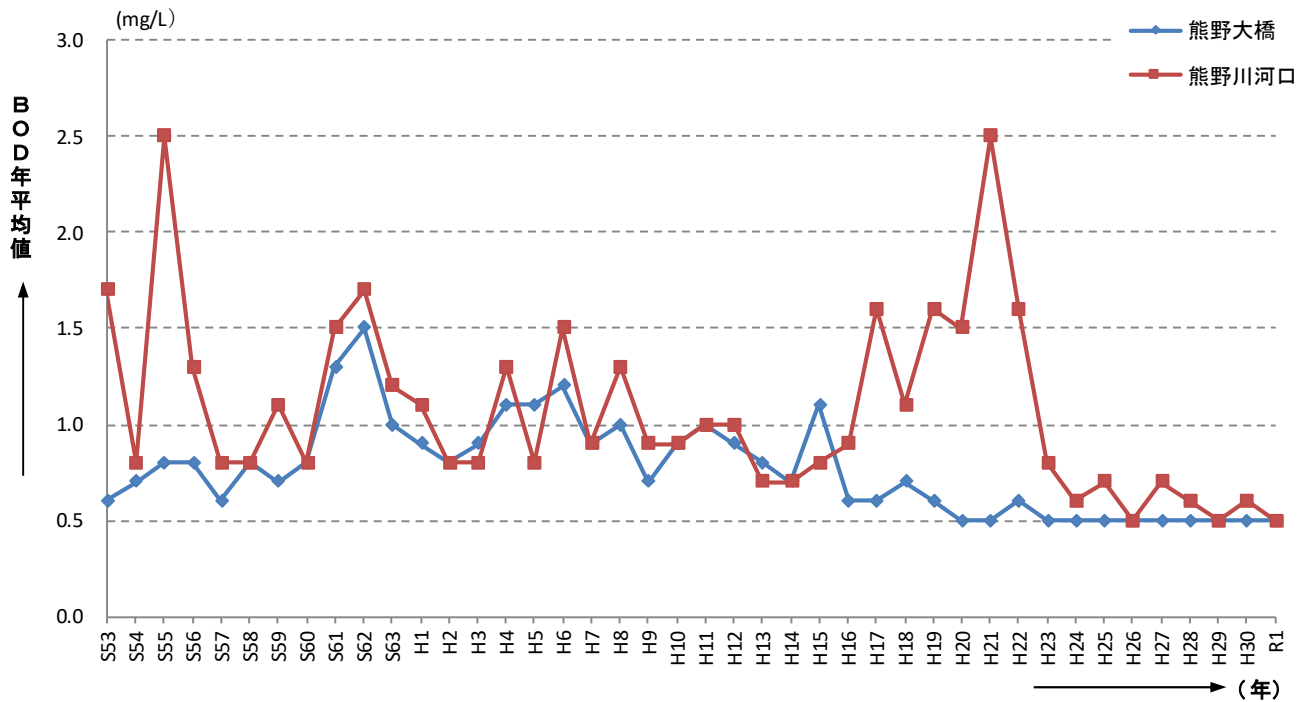


図-1.9 熊野川の水質経年変化 (BOD年平均値)

② 紀の川

紀の川(上流)の各地点は、いずれも平成6年頃から平成21年頃までは減少傾向にあるが、近年は概ね0.5～1.0mg/Lの間で推移している。紀の川(下流)の各地点は変動が大きく、藤崎井堰や船戸では平成6年頃から平成15年頃までは減少傾向にあるが、近年は1.0mg/L未満で推移している。

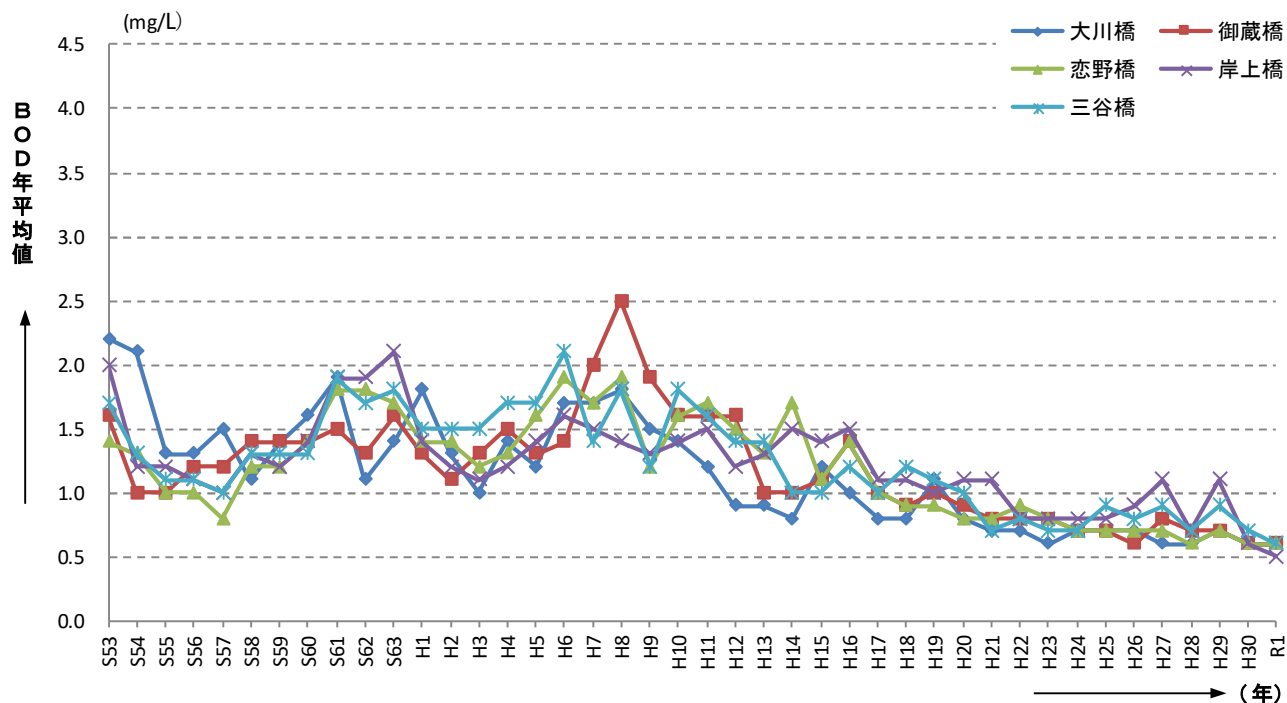


図-1.10 紀の川（上流）の水質経年変化（BOD年平均値）

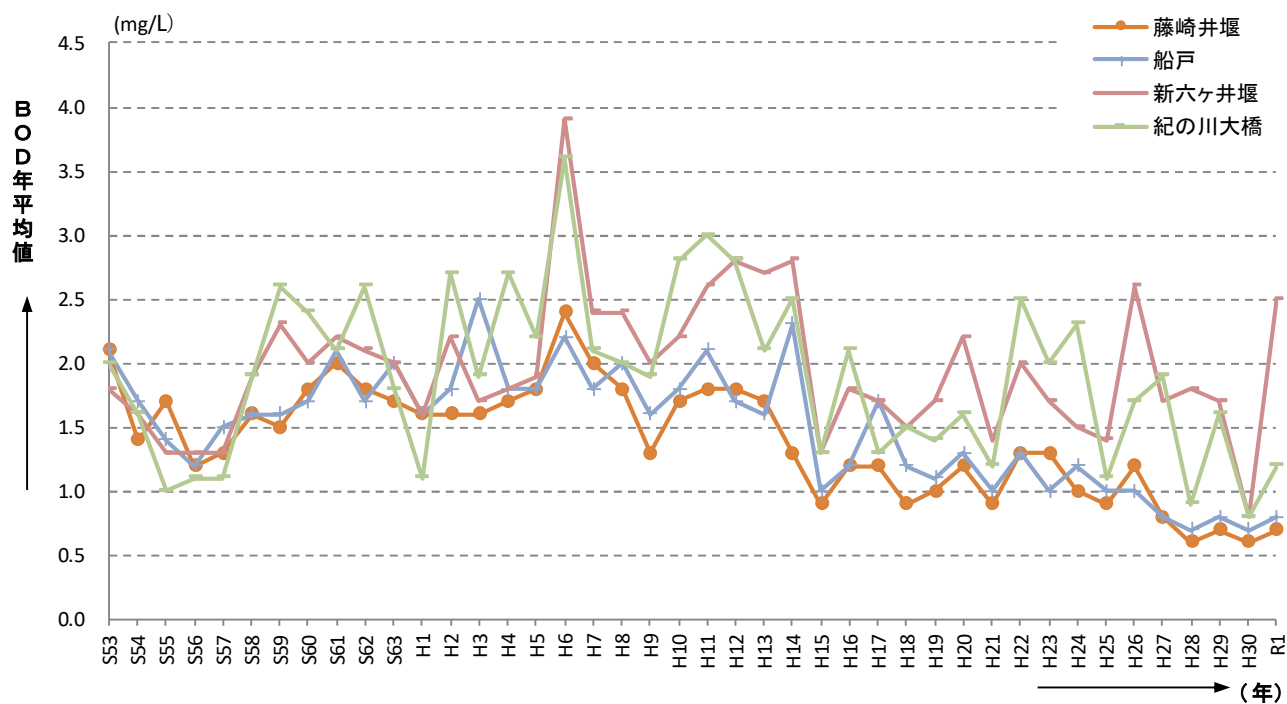


図-1.11 紀の川（下流）の水質経年変化（BOD年平均値）

③ 大和川

大和川では、二期にわたる「水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンス21、Ⅱ）」における河川浄化事業、下水道の整備や、啓発活動等の効果により近年着実に水質が改善され、年々、減少傾向にある。平成18年以降は大和川(奈良県)及び大和川(大阪府)のいずれの地点も、概ね5.0mg/Lを下回っている。

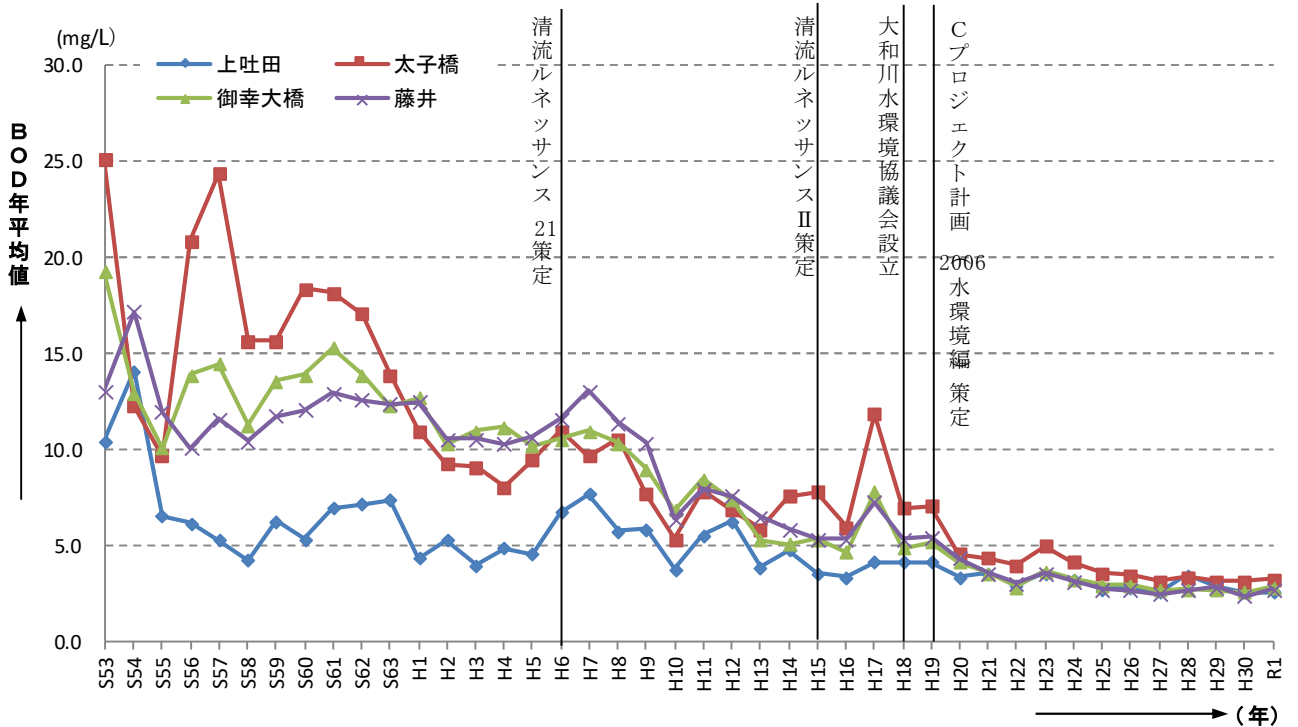


図-1.12 大和川(奈良県)の水質経年変化(BOD年平均値)

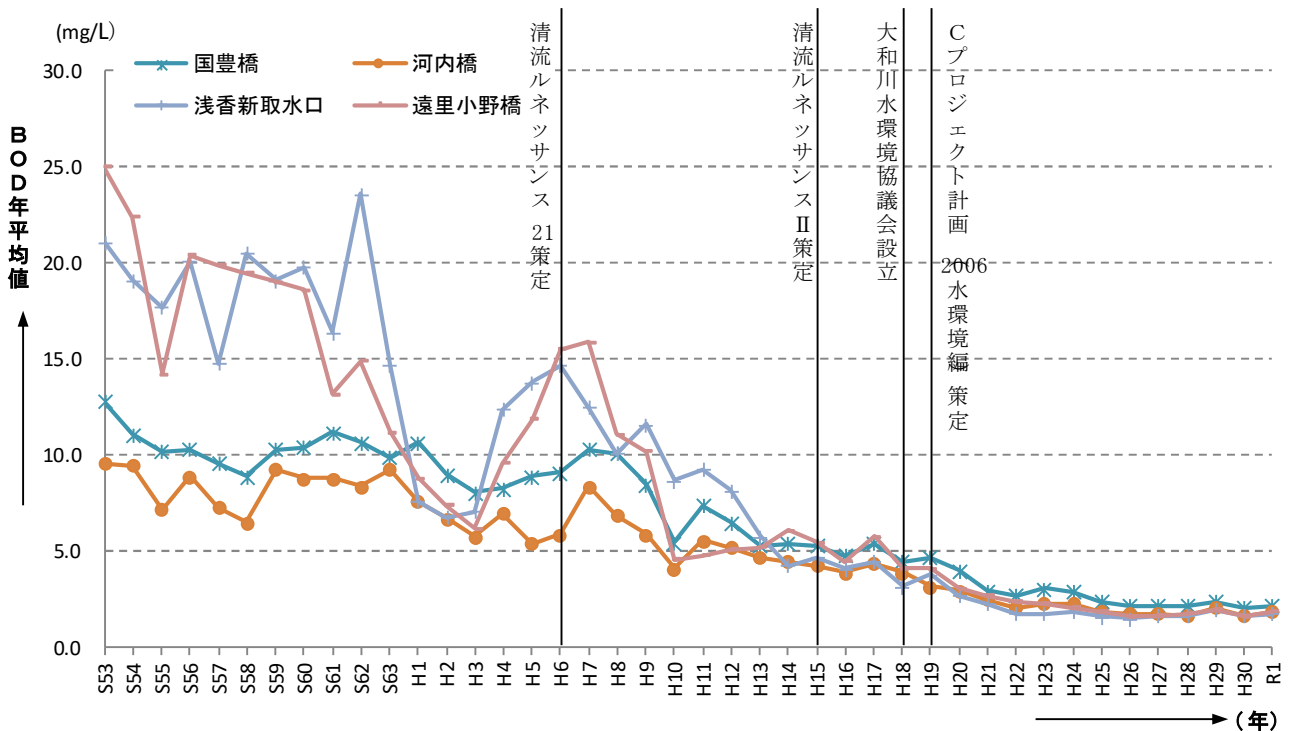
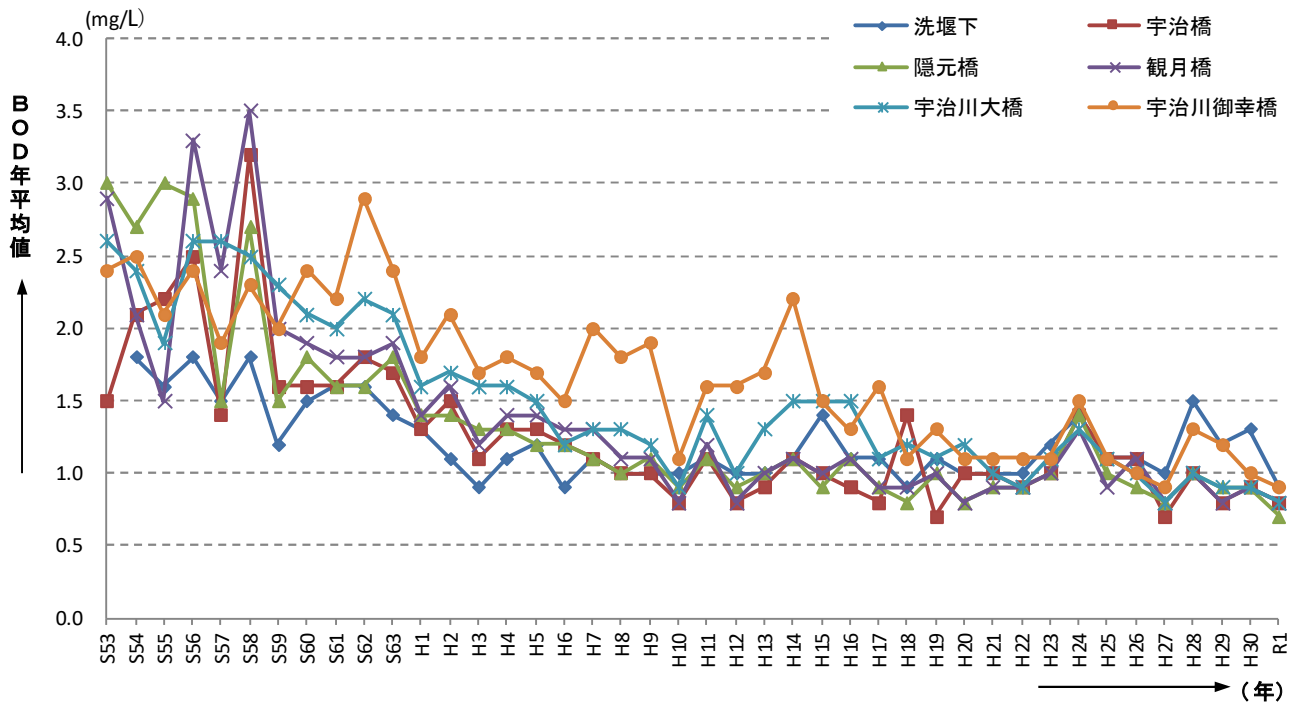


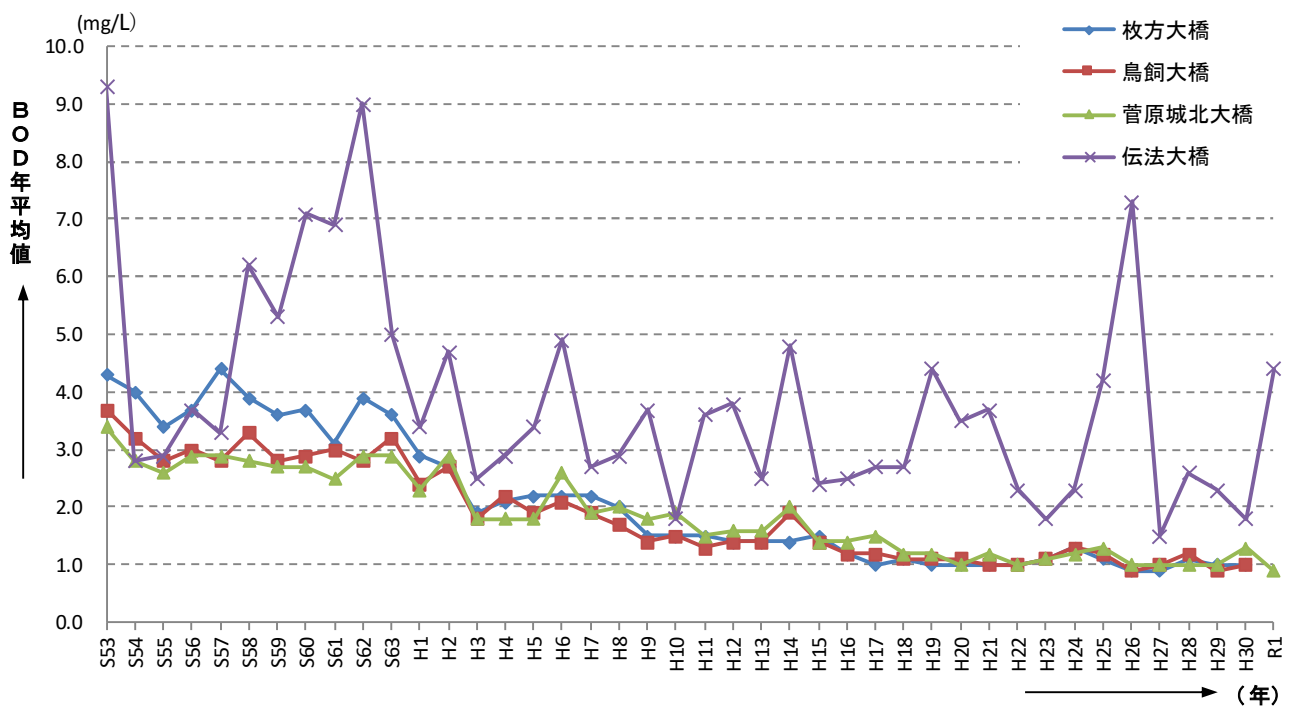
図-1.13 大和川(大阪府)の水質経年変化(BOD年平均値)

④ 淀川

淀川本川(三川合流点上流)のいずれの地点も年々、概ね減少傾向にあり、平成18年以降は概ね1.5mg/L以下で推移している。淀川本川(三川合流点下流)では、最下流の伝法大橋は海水遡上の影響で他の地点よりやや高めで推移しているが、その他の地点は年々、減少傾向にあり、平成18年以降は1.0mg/L前後で推移している。



図一.14 淀川本川（三川合流点上流）平均水質の経年変化（BOD年平均値）



図一.15 淀川本川（三川合流点下流）平均水質の経年変化（BOD年平均値）

⑤ 野洲川

野洲川の2地点では平成18年以降、水質が改善され概ね0.5~1.0mg/Lの間で推移している。

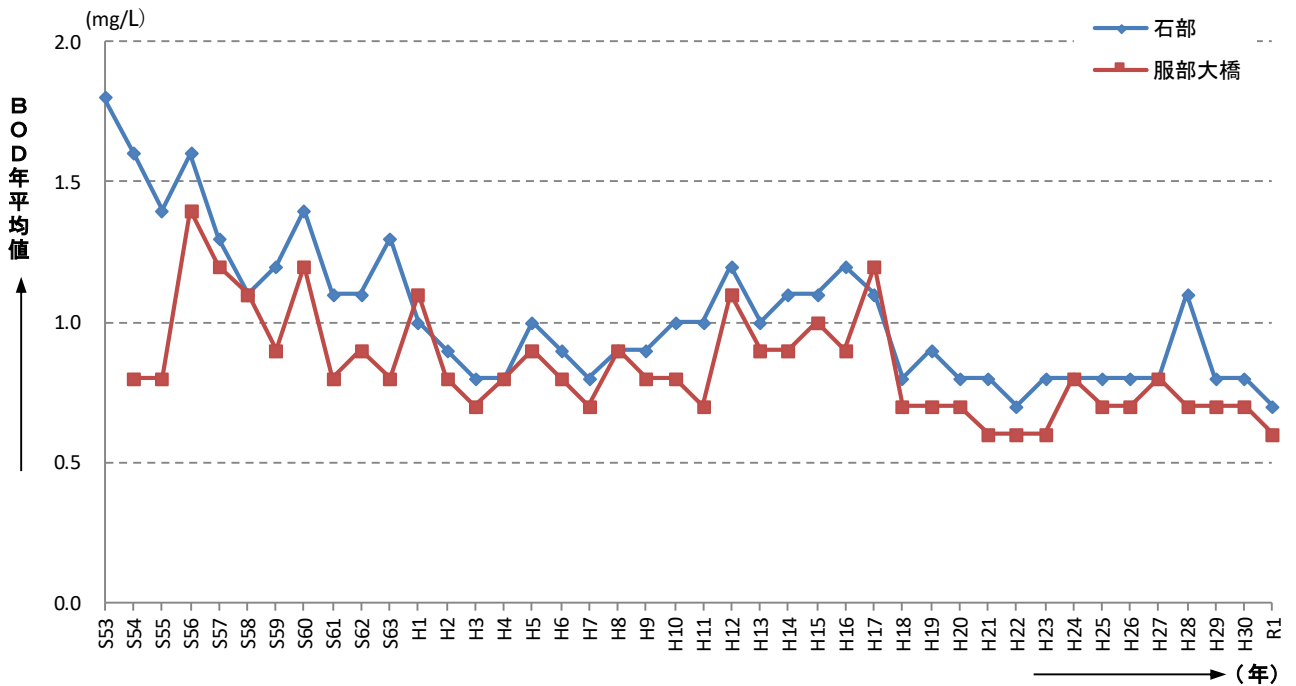


図-1.16 野洲川の水質経年変化 (BOD年平均値)

⑥ 桂川

いずれの地点も減少傾向にあり、水質は改善されている。平成10年までは地点ごとの差が大きい、平成10年以降は地点ごとの差が小さくなり、いずれの地点も概ね1.0mg/L前後で推移している。

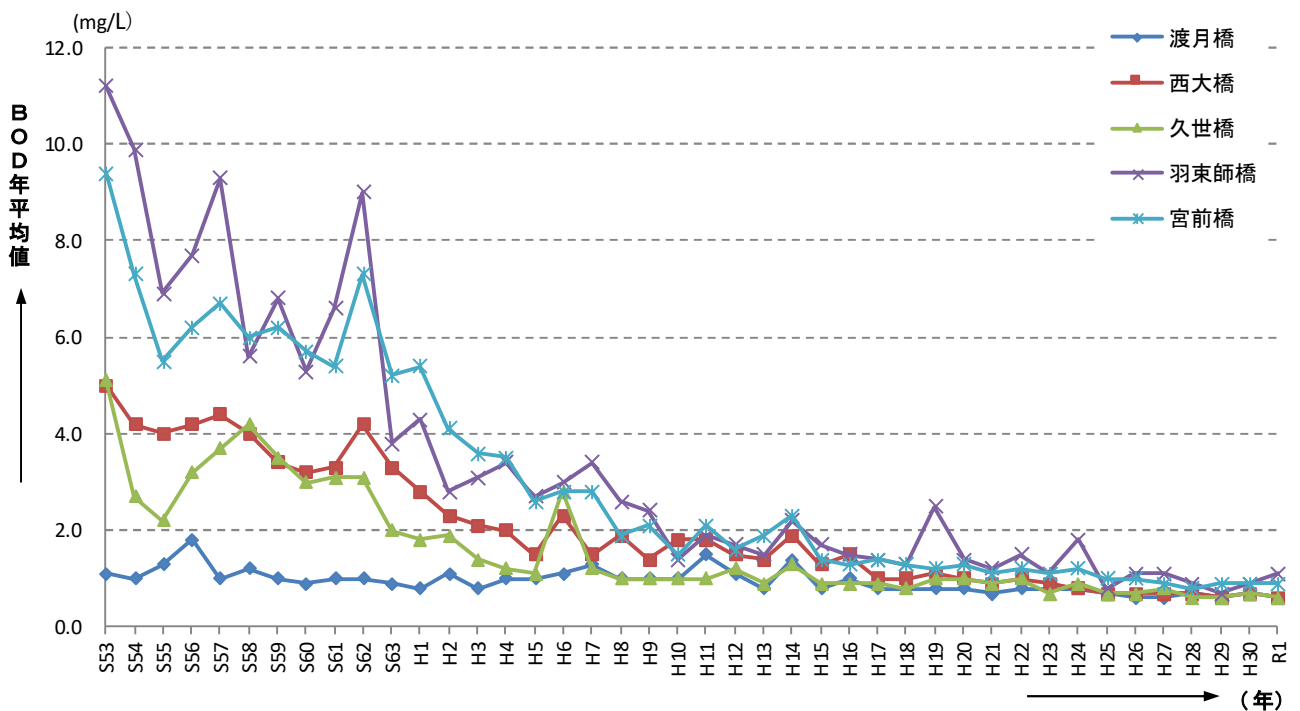


図-1.17 桂川の水質経年変化 (BOD年平均値)

⑦ 宇陀川

高倉橋は平成9年頃まで高い値を示していたが、それ以降は概ね、1.5mg/L以下で減少傾向にある。近年では、いずれの地点も1.0mg/L前後で推移している

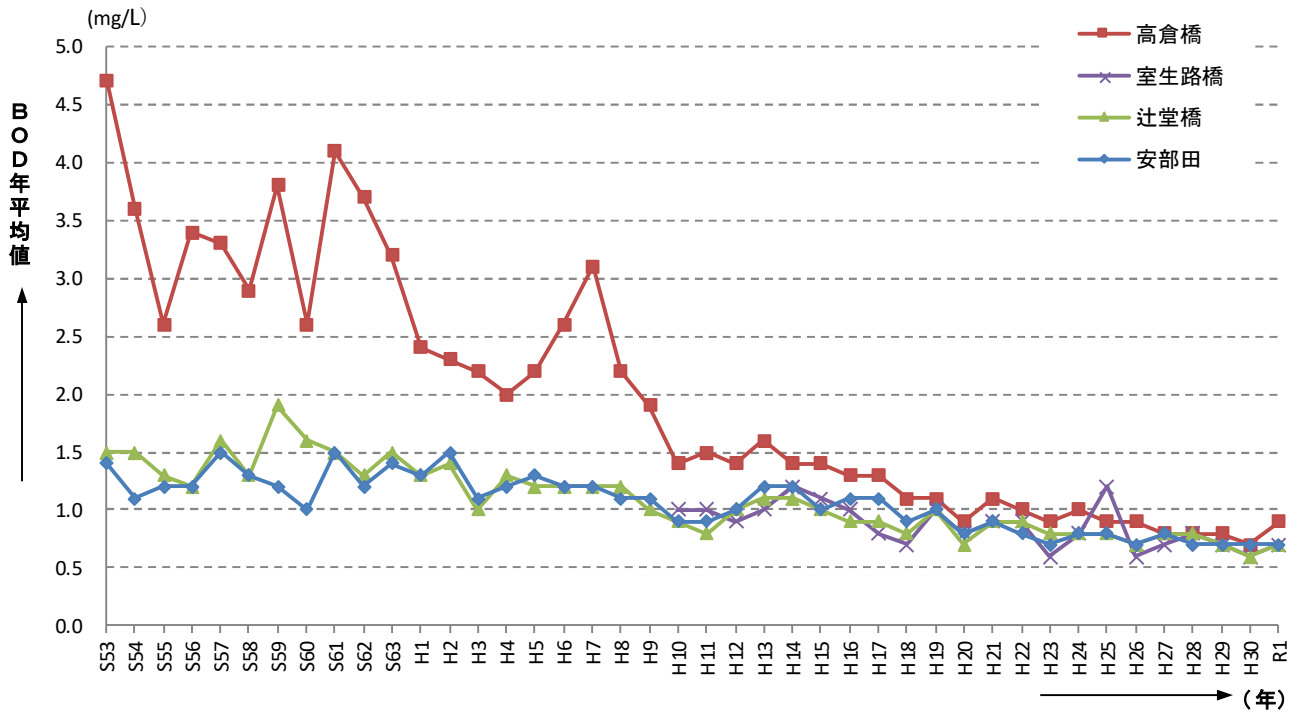


図-1.18 宇陀川の水質経年変化（BOD年平均値）

⑧ 名張川

いずれの地点も平成16年頃まで変動が大きいですが、それ以降、概ね減少傾向にあり、近年は1.0mg/L前後で推移している。

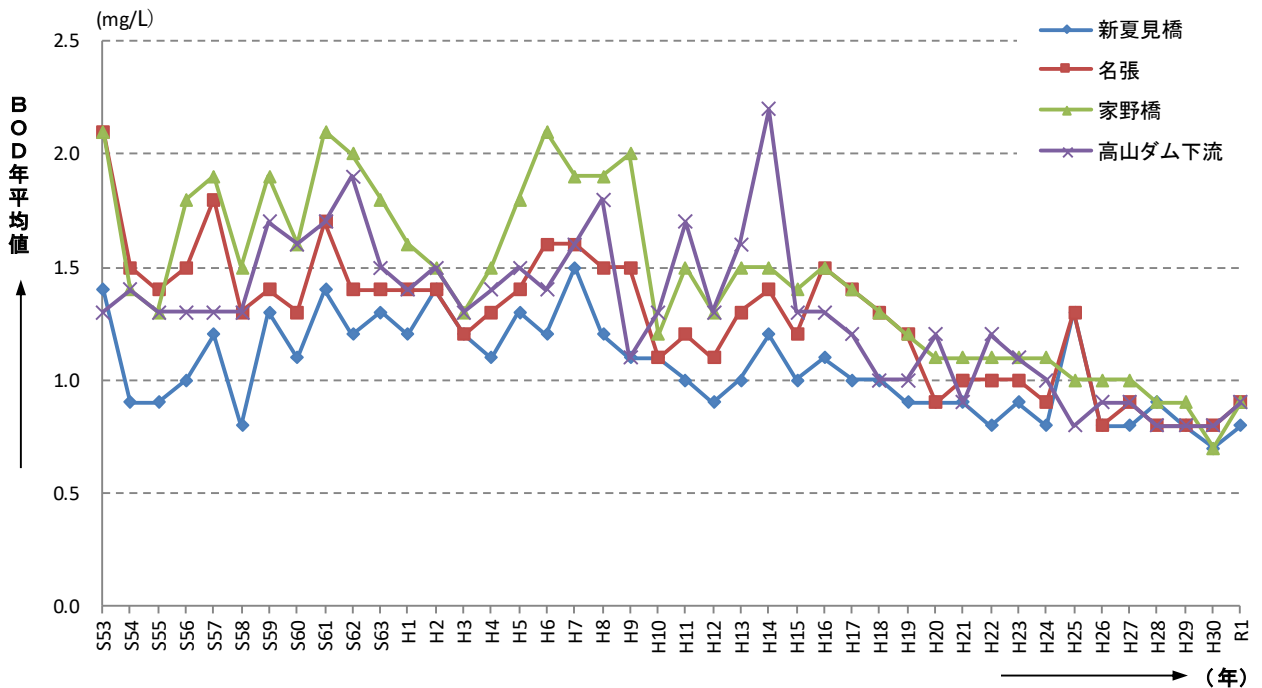


図-1.19 名張川の水質経年変化（BOD年平均値）

⑨ 木津川

木津川(上流)の各地点は、平成12年以降、概ね減少傾向にある。木津川(下流)の3地点の水質はほぼ同レベルの濃度で同様の変動を示し、近年は1.0mg/Lを下回っている。

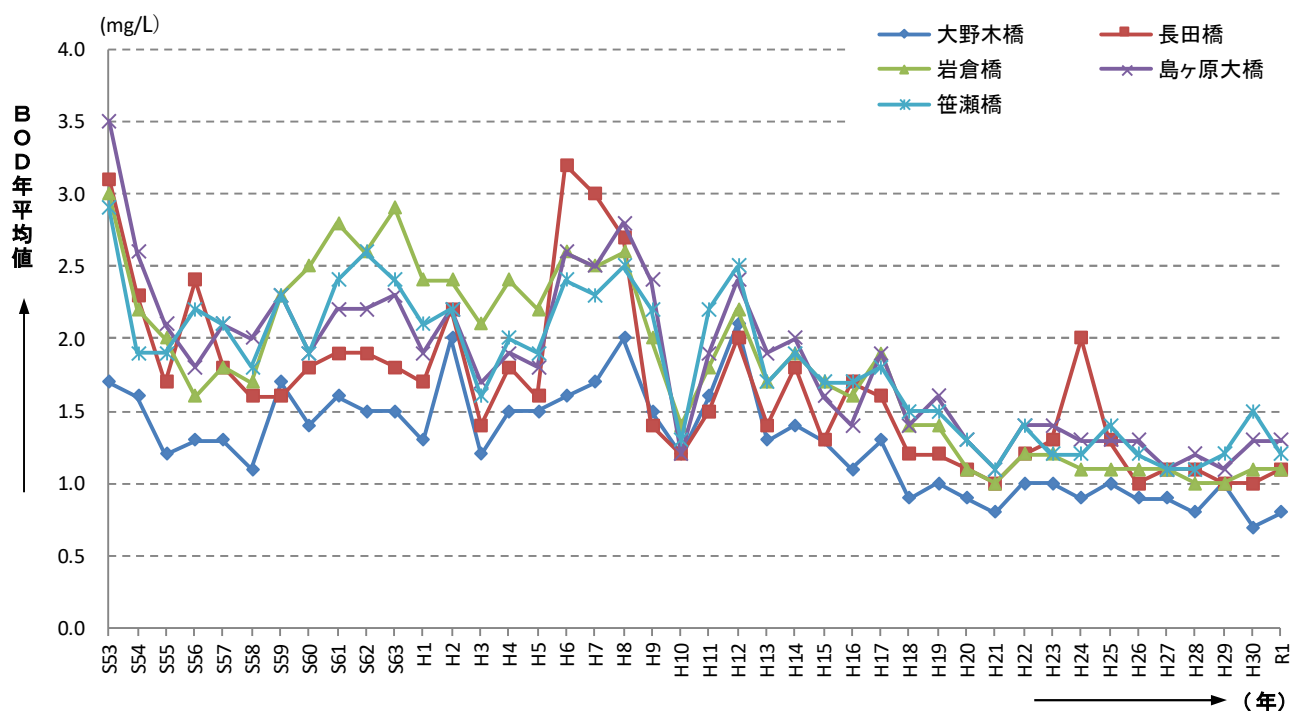


図-1.20 木津川(上流)の水質経年変化(BOD年平均値)

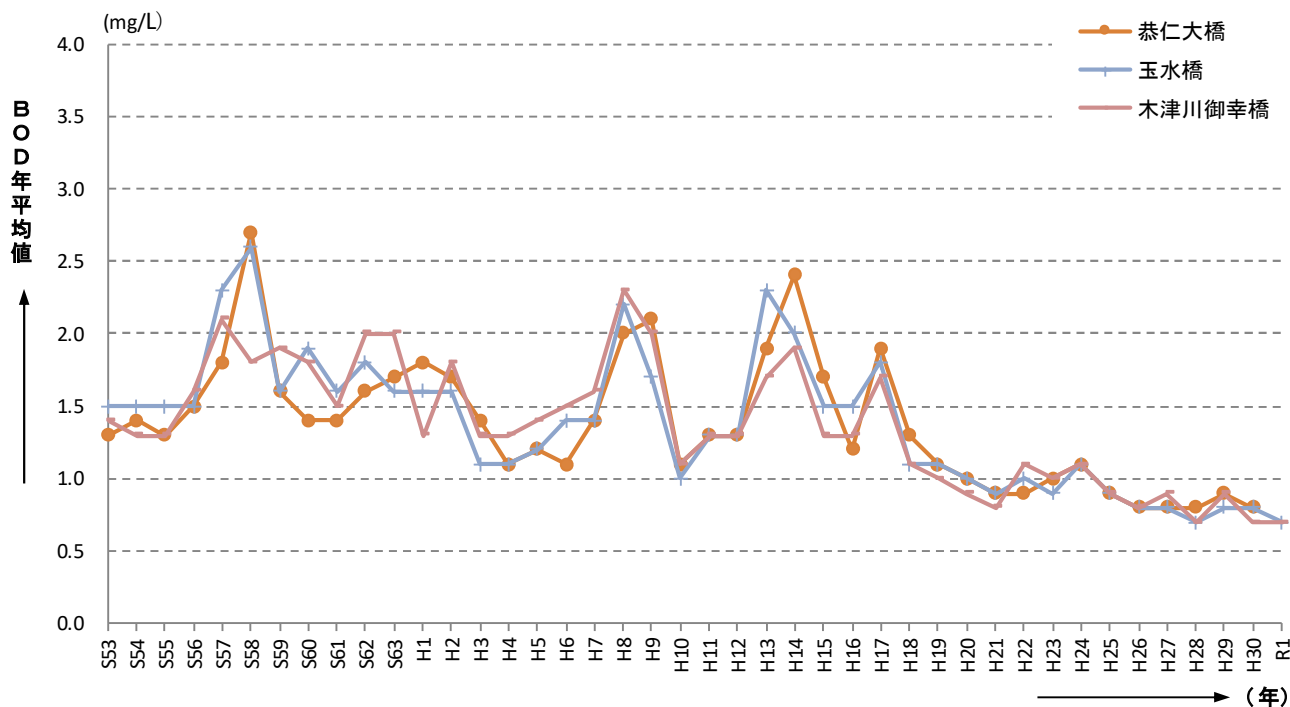


図-1.21 木津川(下流)の水質経年変化(BOD年平均値)

⑩ 猪名川

猪名川中・上流域の水質は良好で、平成10年頃からは1.0mg/L前後で推移しているが、下流域の利倉は毎年、他の地点に比べて高い値で推移しているが、近年は急激に低下している。

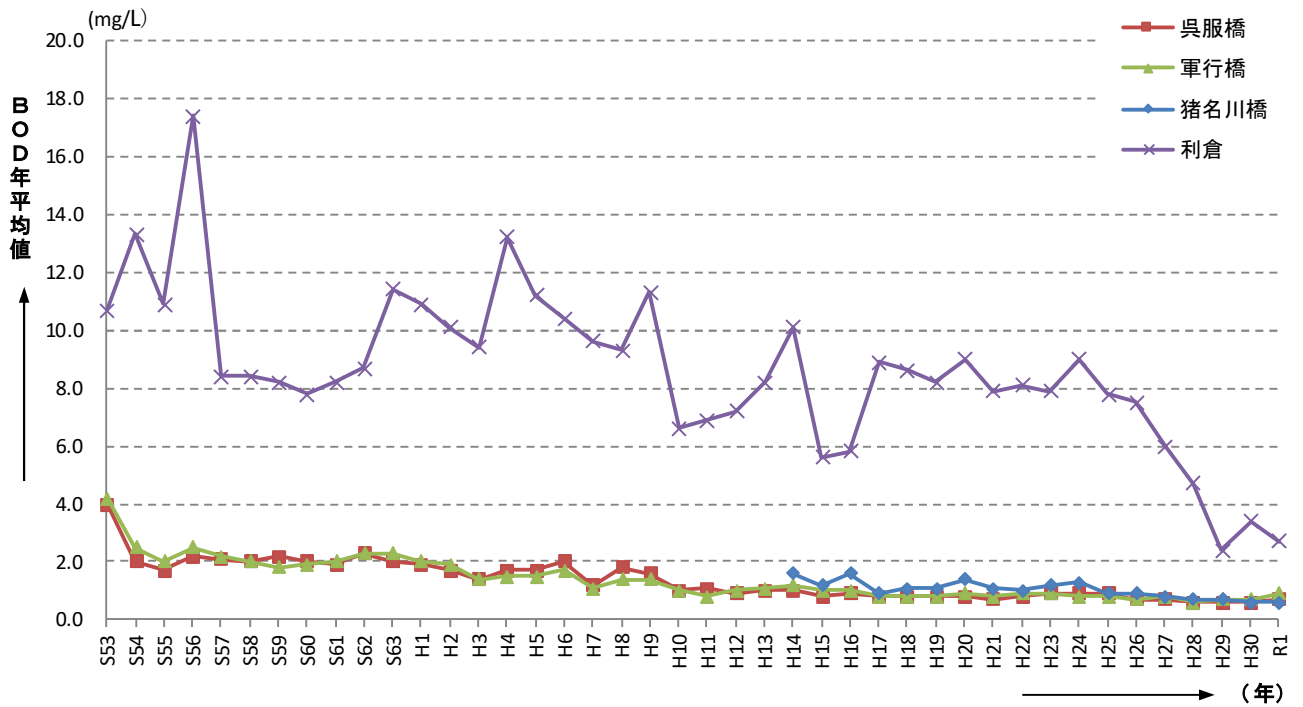


図-1.22 猪名川の水質経年変化 (BOD年平均値)

⑪ 加古川

各地点とも変動があるものの、概ね減少傾向にあり、近年は1.0~1.5mg/Lの間で推移していたが、平成30年、令和元年とやや増加傾向に転じている。

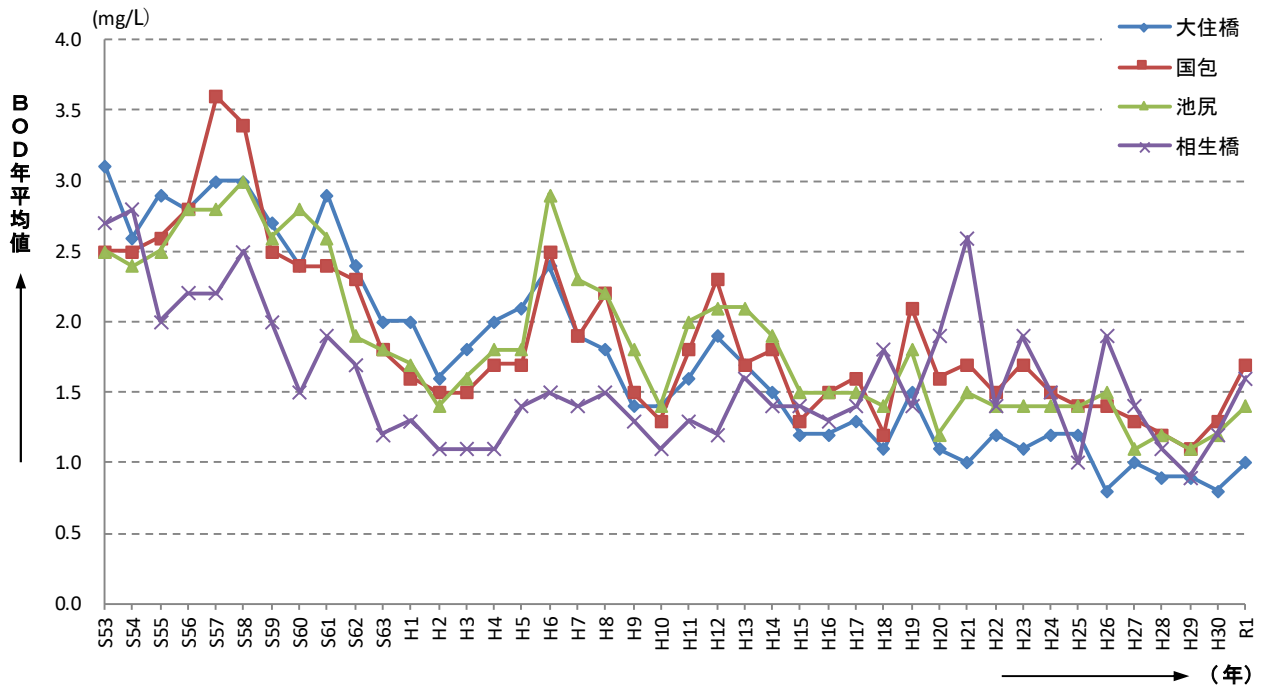


図-1.23 加古川の水質経年変化 (BOD年平均値)

⑫ 揖保川

平成5年頃までは上川原及び本町橋で10mg/Lを上回る値となっていたが、流域における下水道事業、河川浄化事業（汚泥浚渫等）などにより水質が改善され、平成7年以降は、他の地点とともに1.0mg/L程度で推移している。

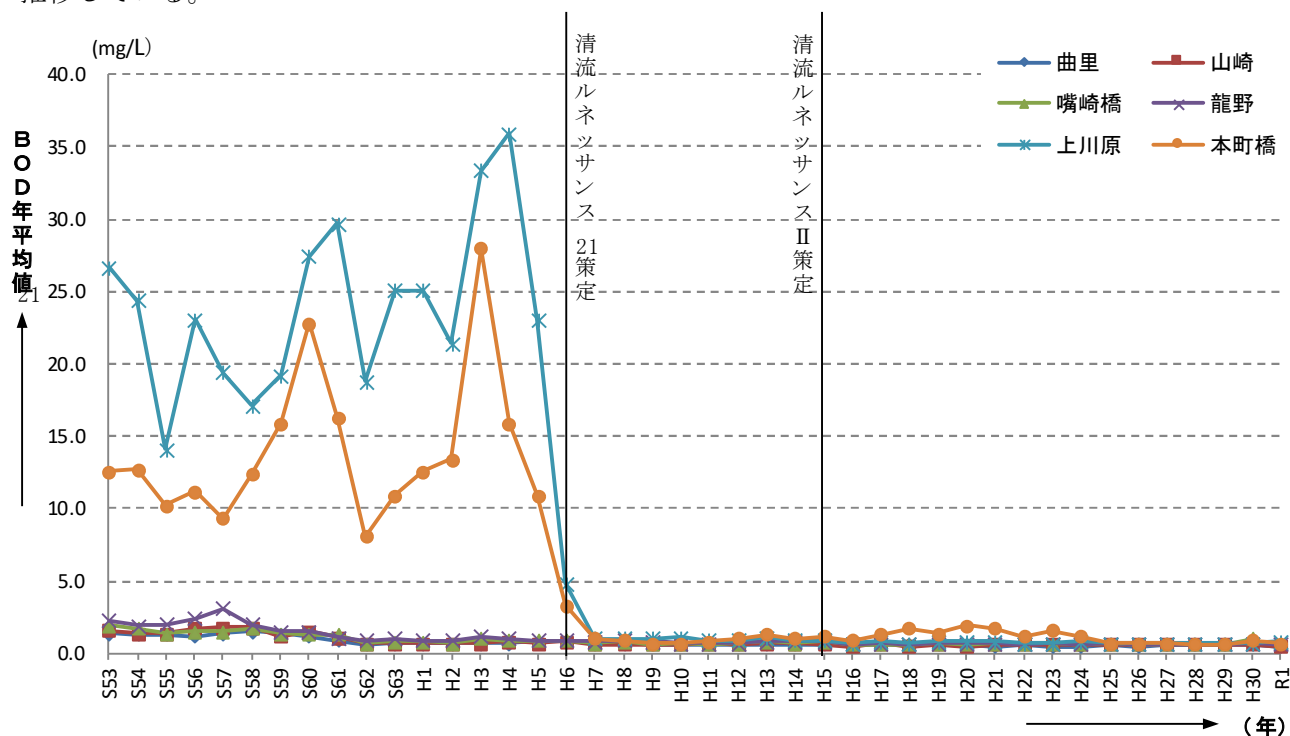


図-1.24 揖保川の水質経年変化（BOD年平均值）

⑬ 円山川

結和橋は海水遡上のため2.0mg/Lを上回る年があるが、その他の地点は概ね2.0mg/L未満で推移している。

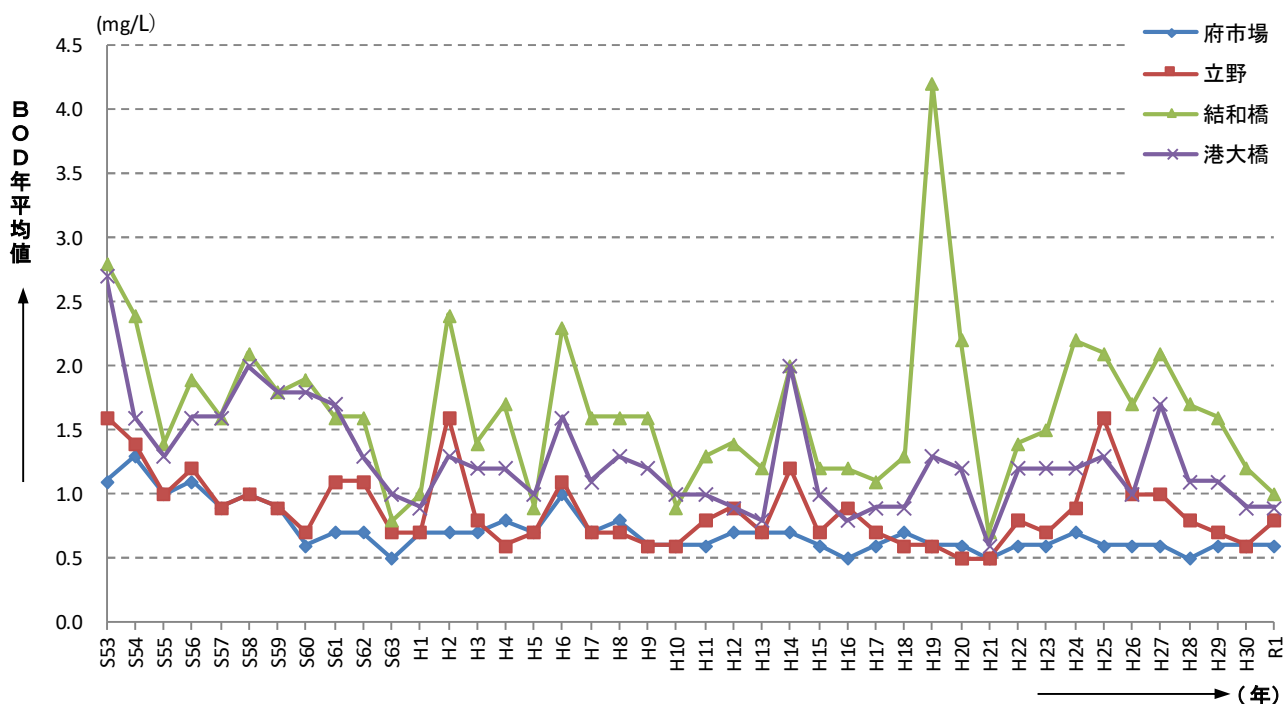


図-1.25 円山川の水質経年変化（BOD年平均值）

⑭ 由良川

平成27年以降は、いずれの地点も概ね0.5～1.0mg/Lの間で推移している。

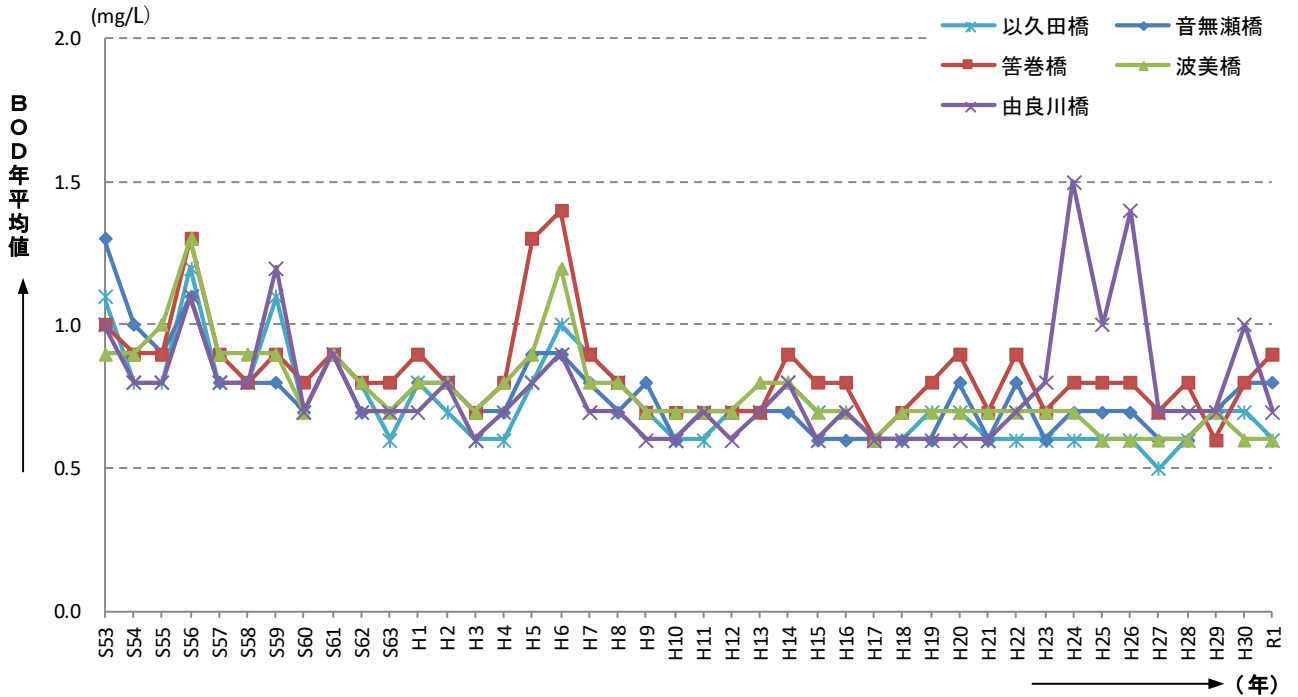


図-1.26 由良川の水質経年変化（BOD年平均値）

⑮ 北川

各地点とも昭和62年以降0.6mg/L前後で推移しており、良好な水質を維持している。

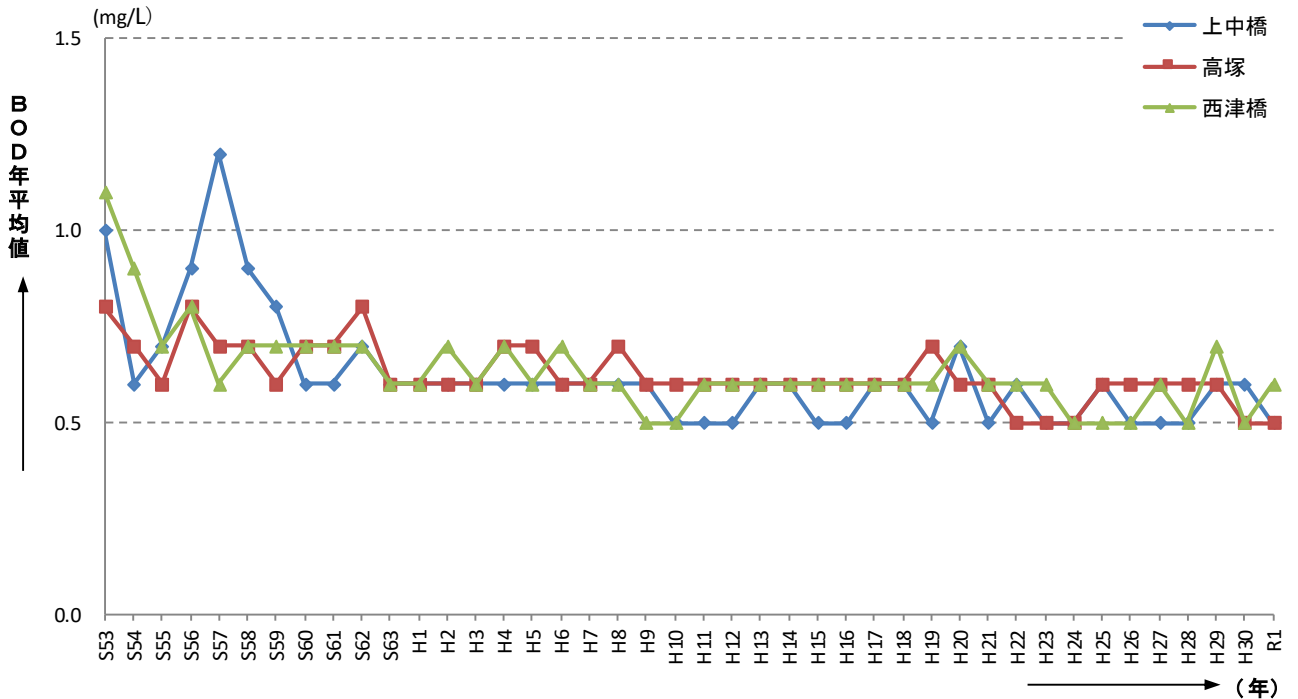
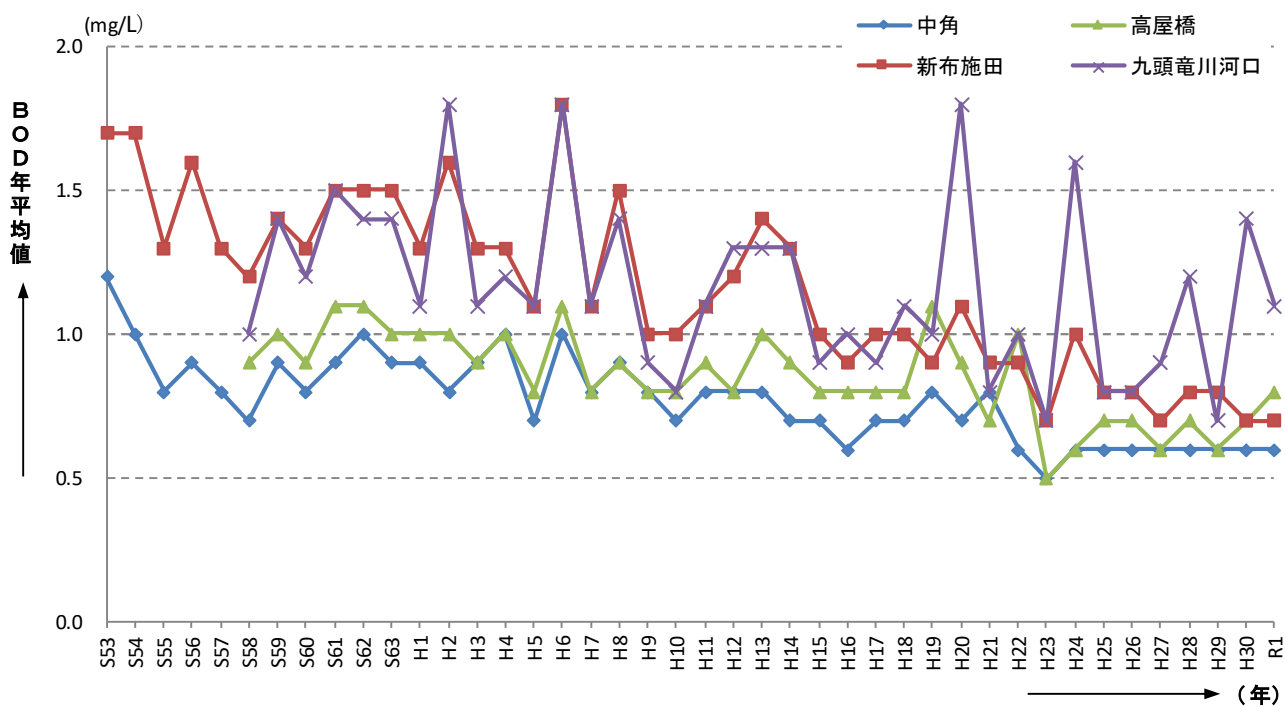


図-1.27 北川の水質経年変化（BOD年平均値）

⑩ 九頭竜川

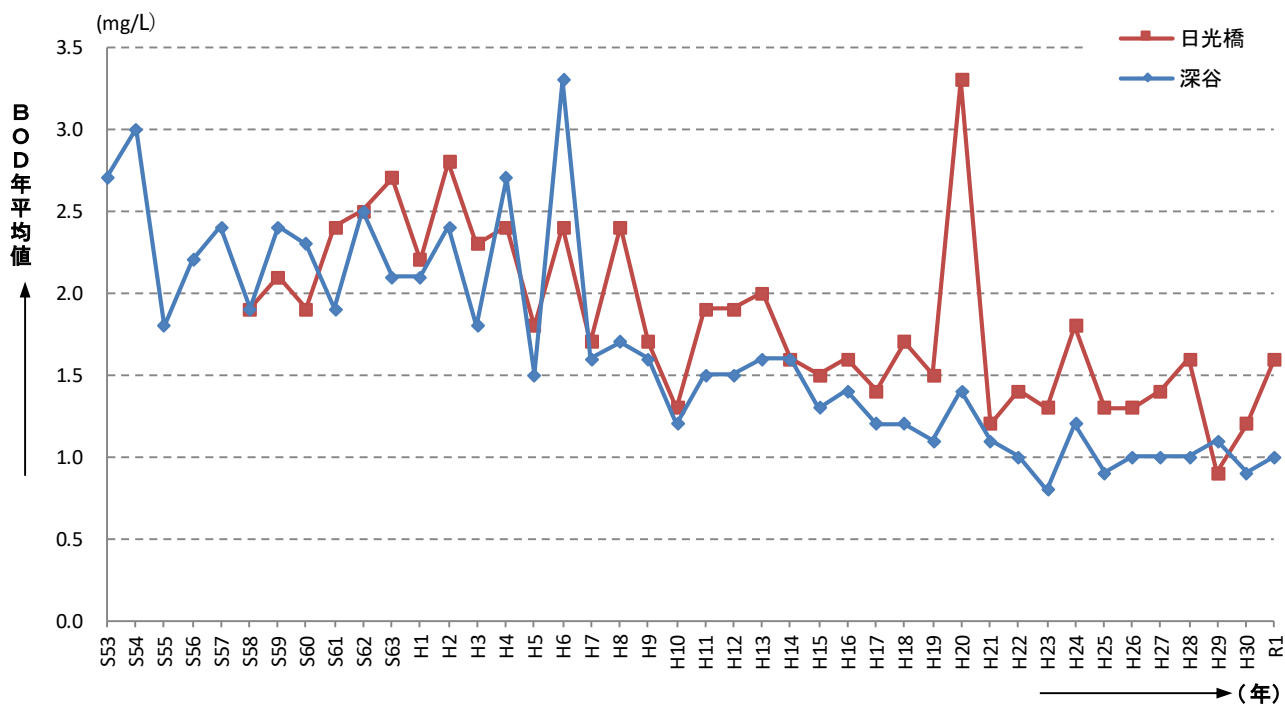
九頭竜川河口を除く各地点は、平成15年頃からは概ね0.5～1.0mg/L程度で推移し、良好な水質である。九頭竜川河口は変動が大きい。



図一.28 九頭竜川の水質経年変化 (BOD年平均値)

⑪ 日野川 (九頭竜川水系)

2地点とも平成6年頃から概ね減少傾向にある。



図一.29 日野川の水質経年変化 (BOD年平均値)

1. 6 水系別の水質概況

① 新宮川

熊野大橋地点でみると、令和元年のBOD75%値は<0.5mg/Lであり、環境基準（A類型:2.0mg/L以下）を満足する水質を維持している。

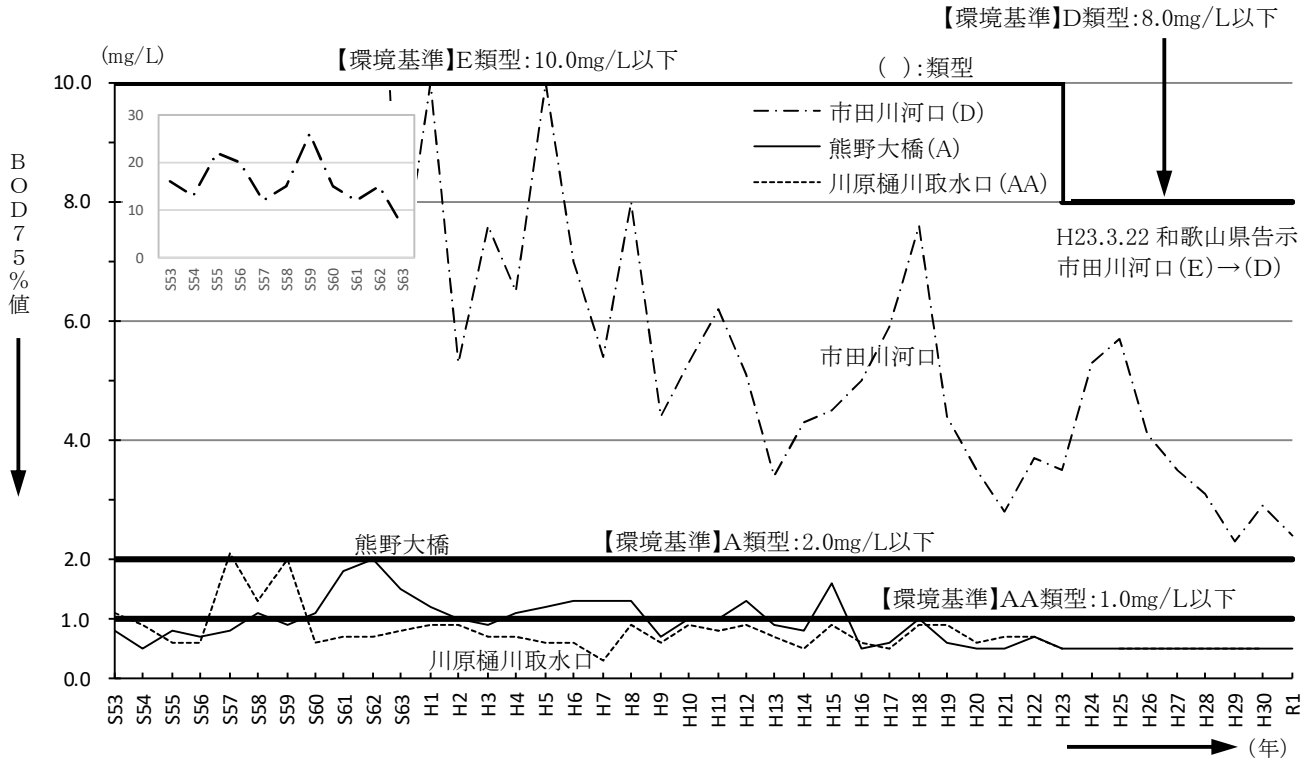


図-1.30 新宮川水系の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

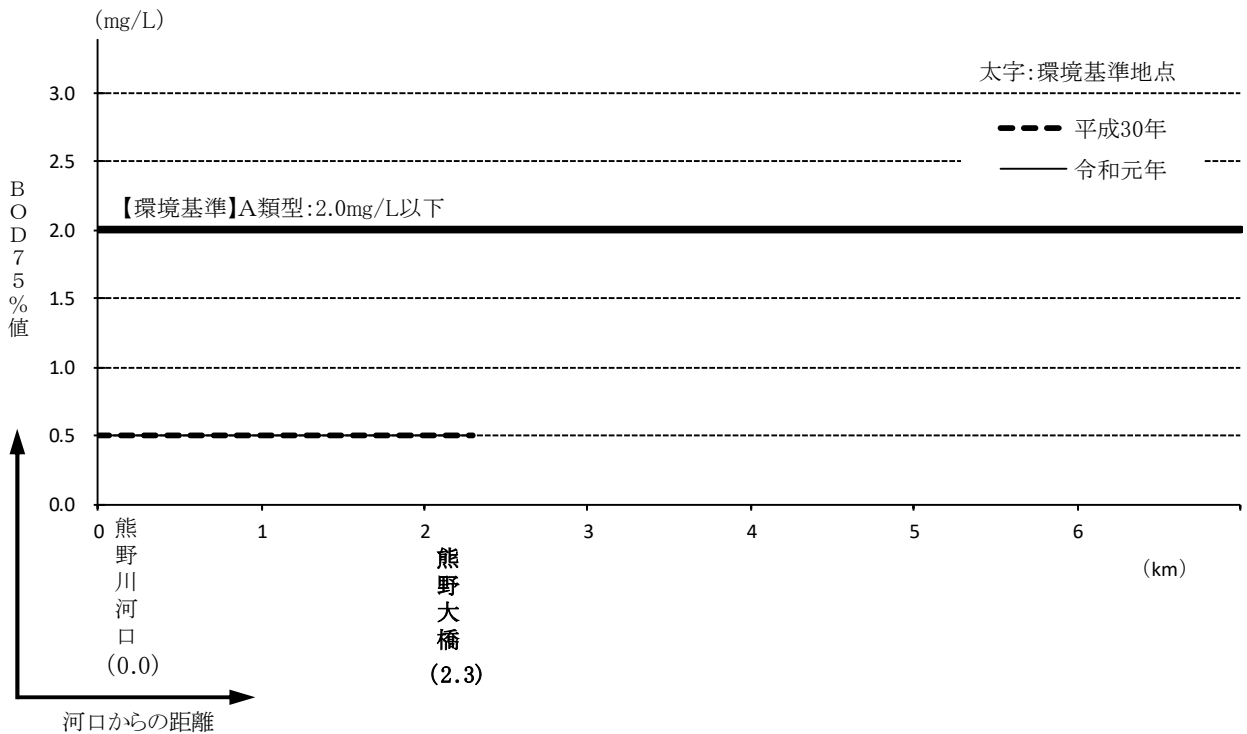


図-1.31 熊野川の水質縦断図（BOD75%値）

② 紀の川

船戸地点でみると、平成2年より、環境基準（A類型:2.0mg/L以下）を上回る水質となっていたが、平成14年から環境基準を満足する水質を維持しており、令和元年のBOD75%値は0.9mg/Lである。

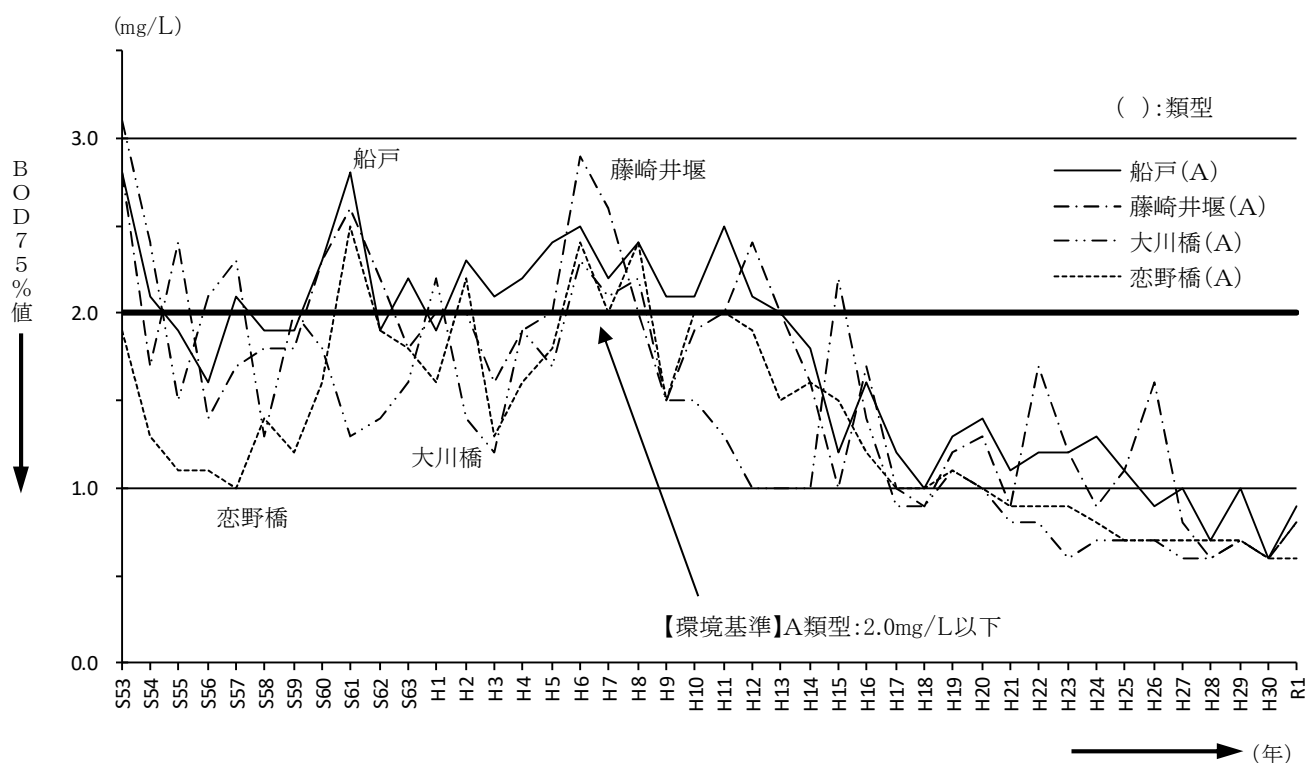


図-1.32 紀の川水系の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

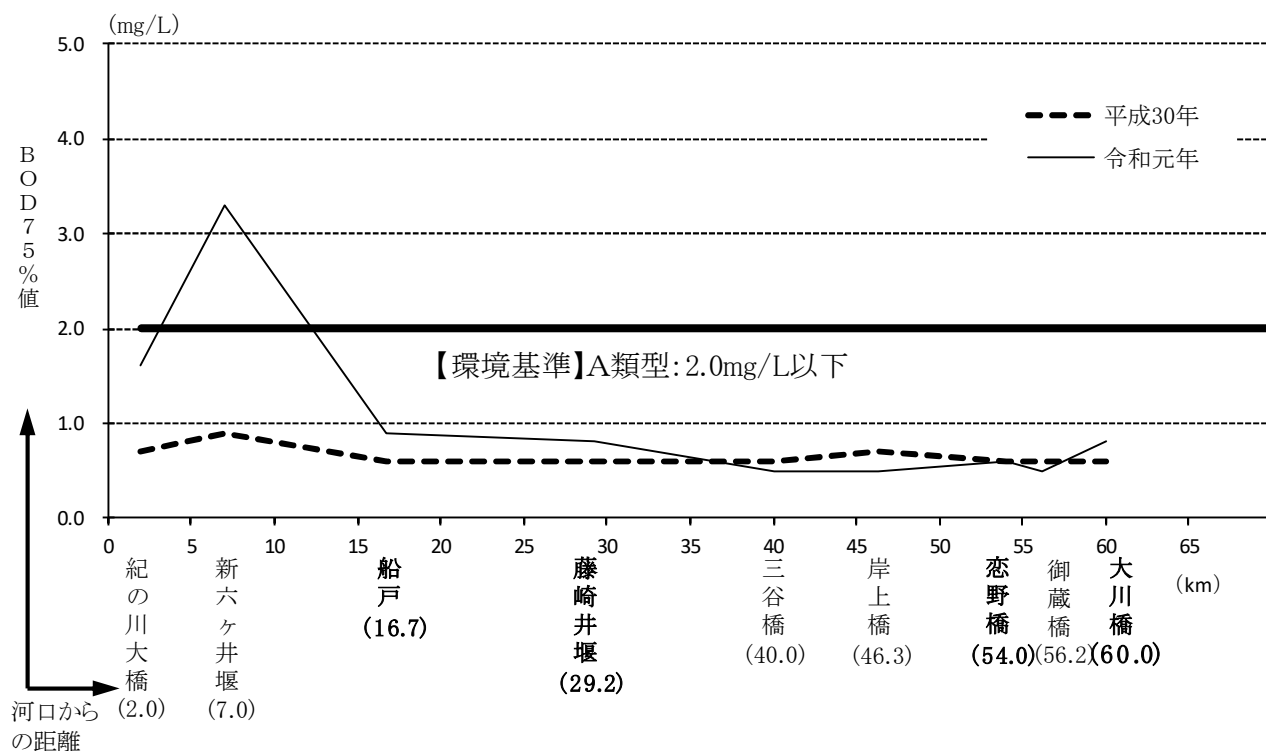


図-1.33 紀の川の水質縦断面図（BOD75%値）

③ 大和川

浅香新取水口地点でみると、平成7年以降水質は改善されている。令和元年のBOD75%値は2.1mg/Lとなり、環境基準（C類型:5.0mg/L以下）を下回る水質となった。

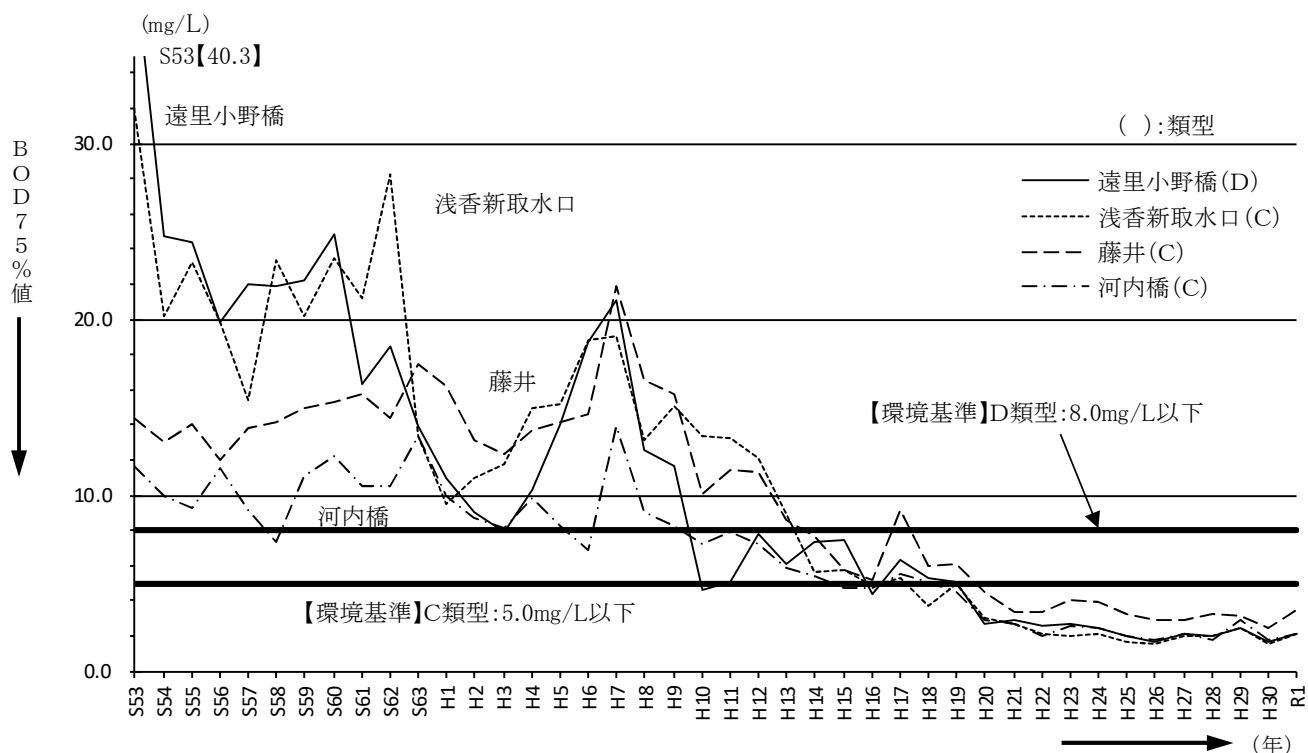


図-1.34 大和川水系（大和川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

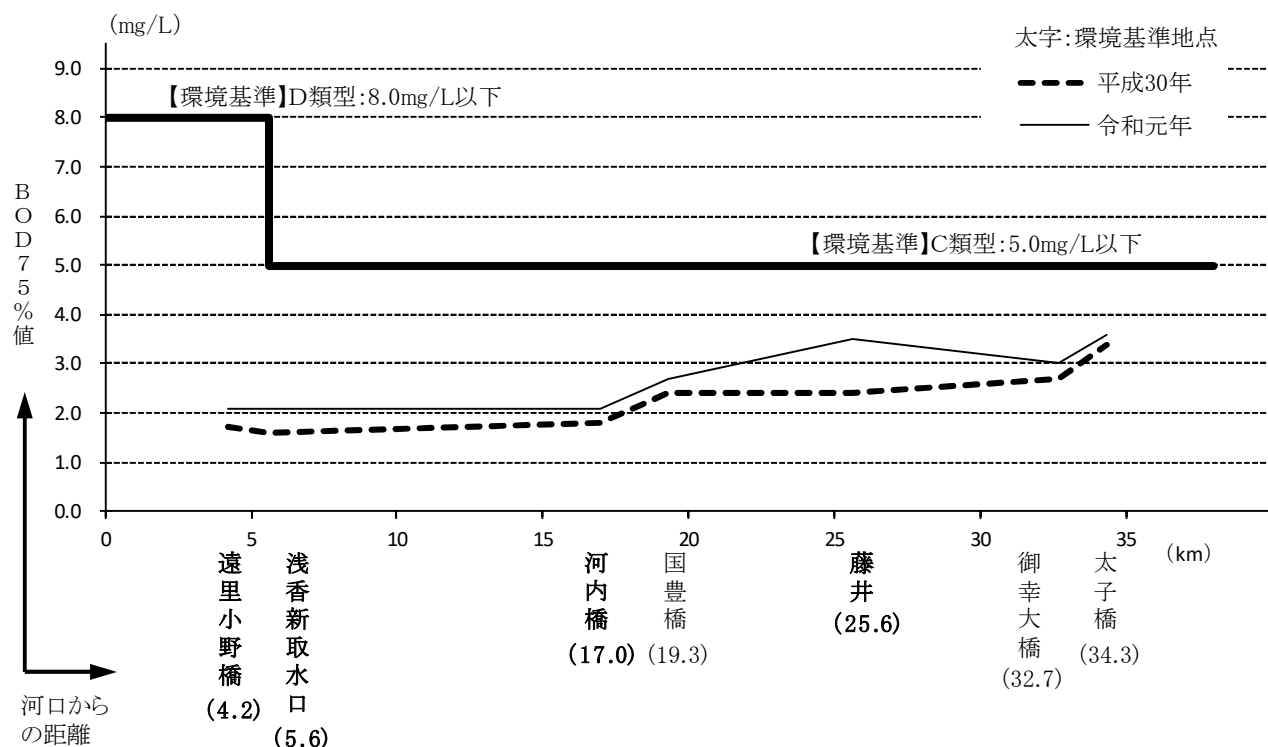


図-1.35 大和川の水質縦断図（BOD75%値）

④ 淀 川

淀川本川三川合流点下流の枚方大橋地点でみると、平成3年よりBOD75%値は環境基準（B類型:3.0mg/L以下）を満足しており、令和元年は0.9mg/Lとなっている。

宇治川（三川合流前）の宇治川御幸橋地点でみると、昭和63年よりBOD75%値は環境基準（B類型:3.0mg/L以下）を満足しており、令和元年は0.9mg/Lとなっている。

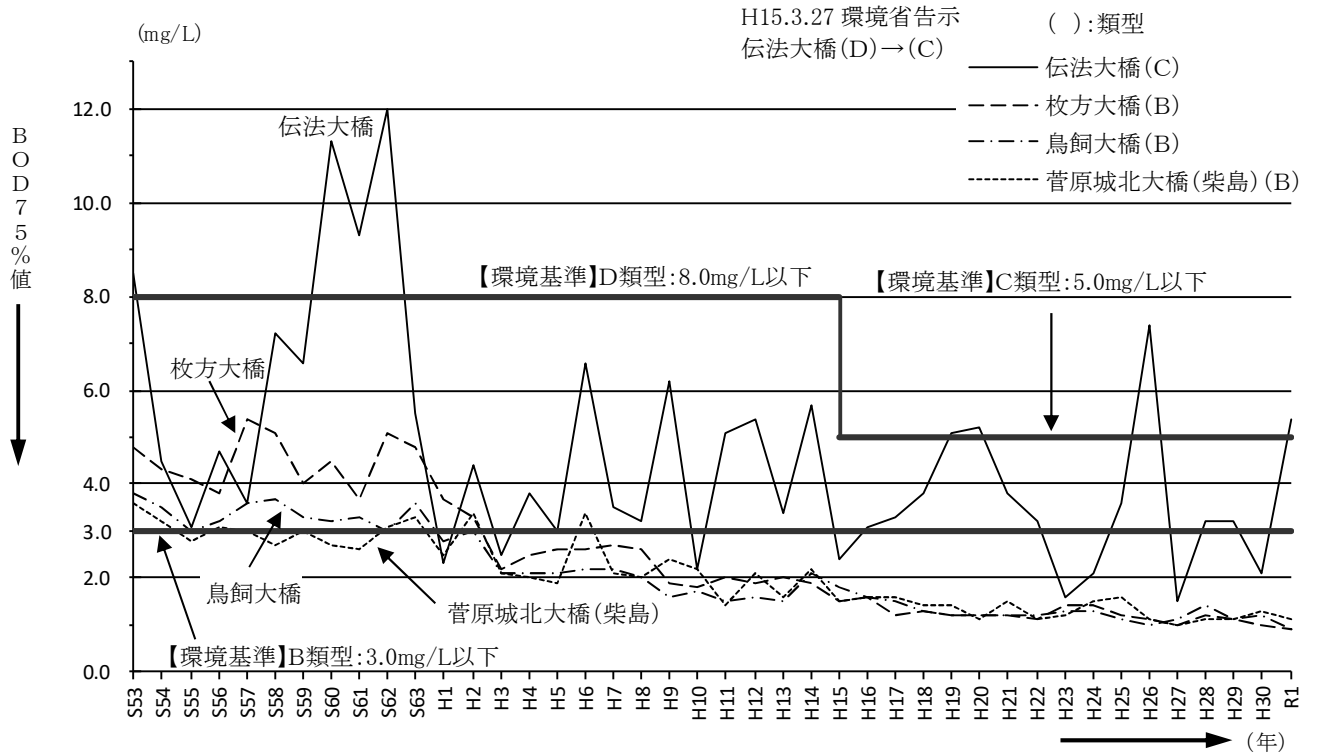


図-1.36 淀川水系（三川合流点下流）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

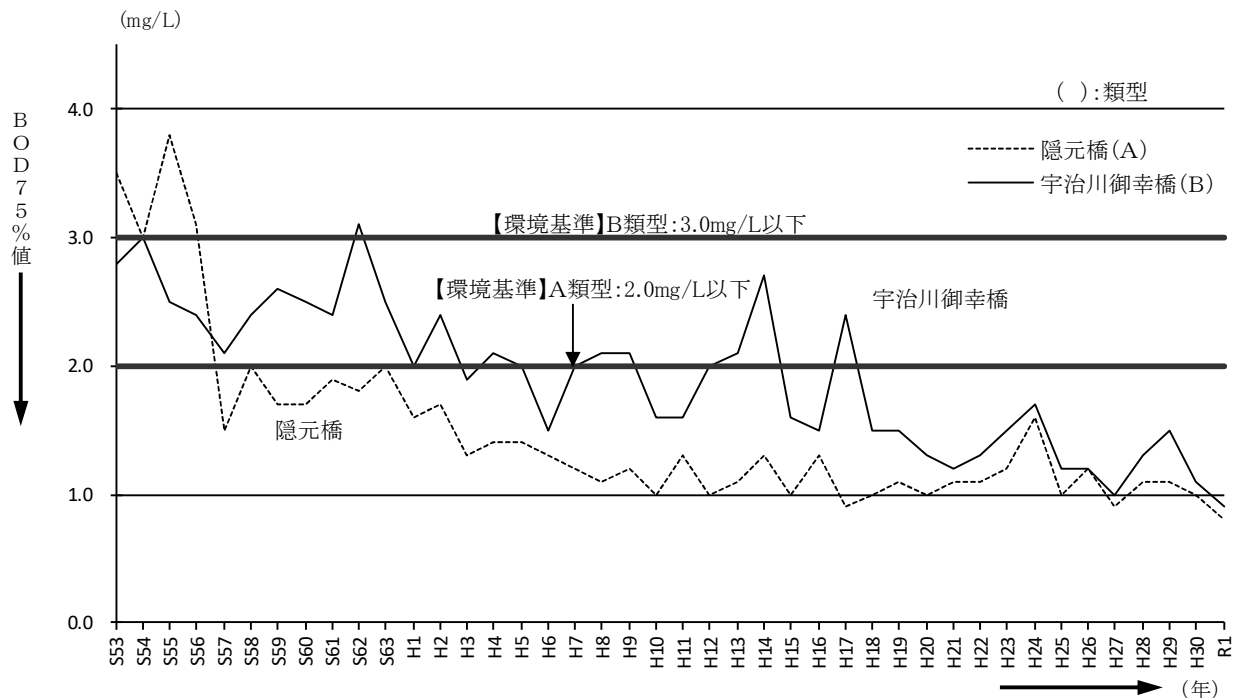


図-1.37 淀川水系（宇治川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

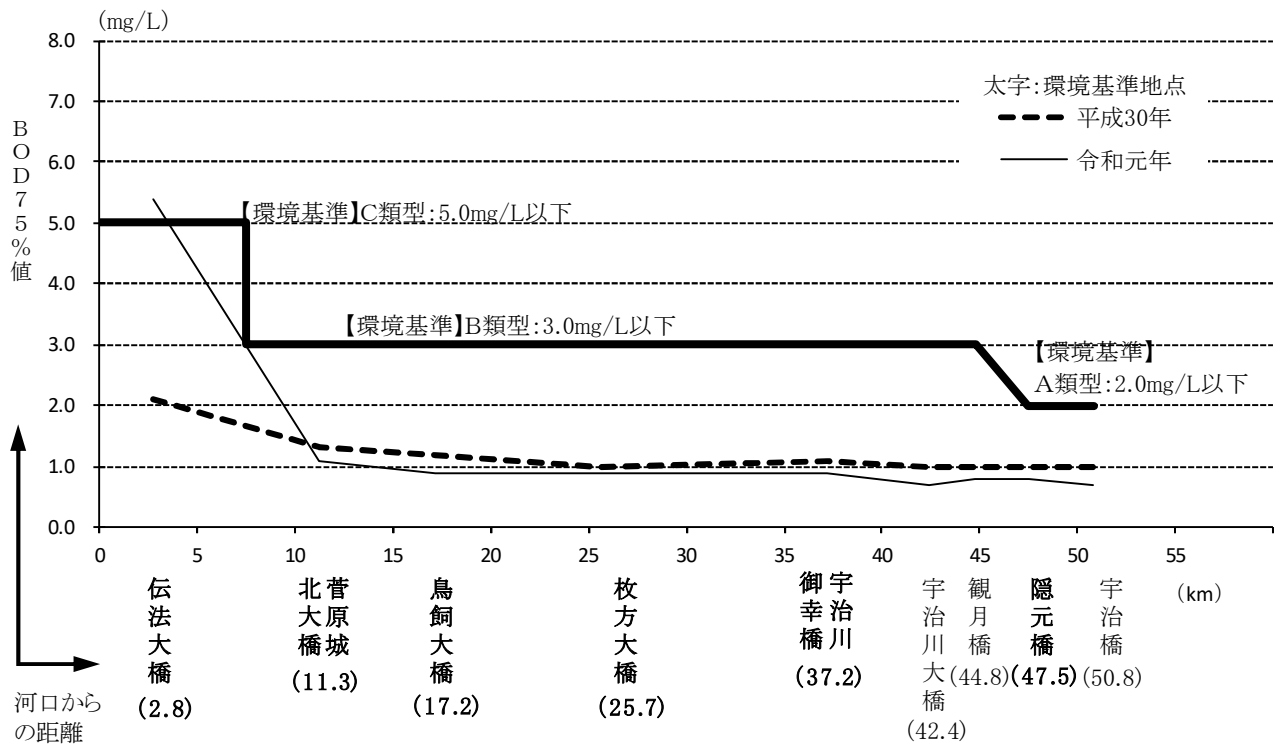


図-1.38 淀川（本川、宇治川）の水質縦断図（BOD75%値）

桂川の宮前橋地点でみると、令和元年のBOD75%値は1.0mg/Lであり、平成8年以降は環境基準（A類型:2.0mg/L以下）を満足する水質を維持している。

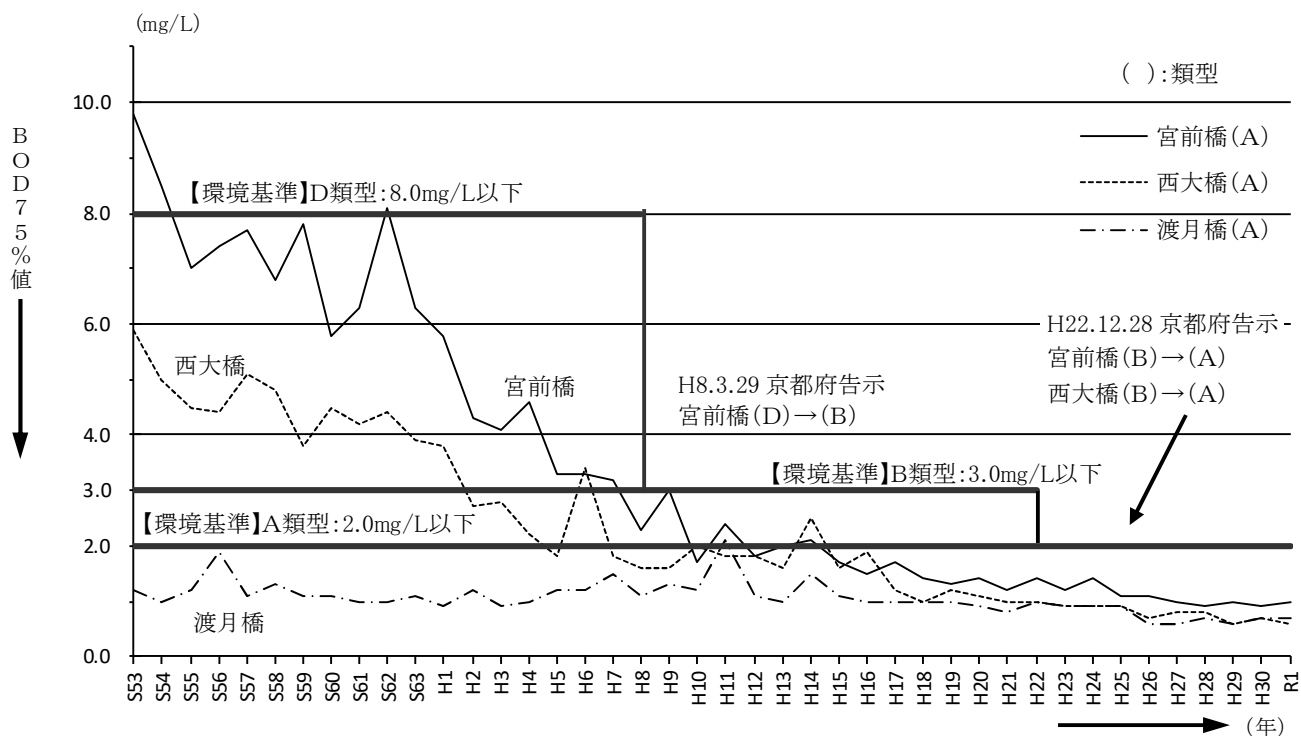


図-1.39 淀川水系（桂川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

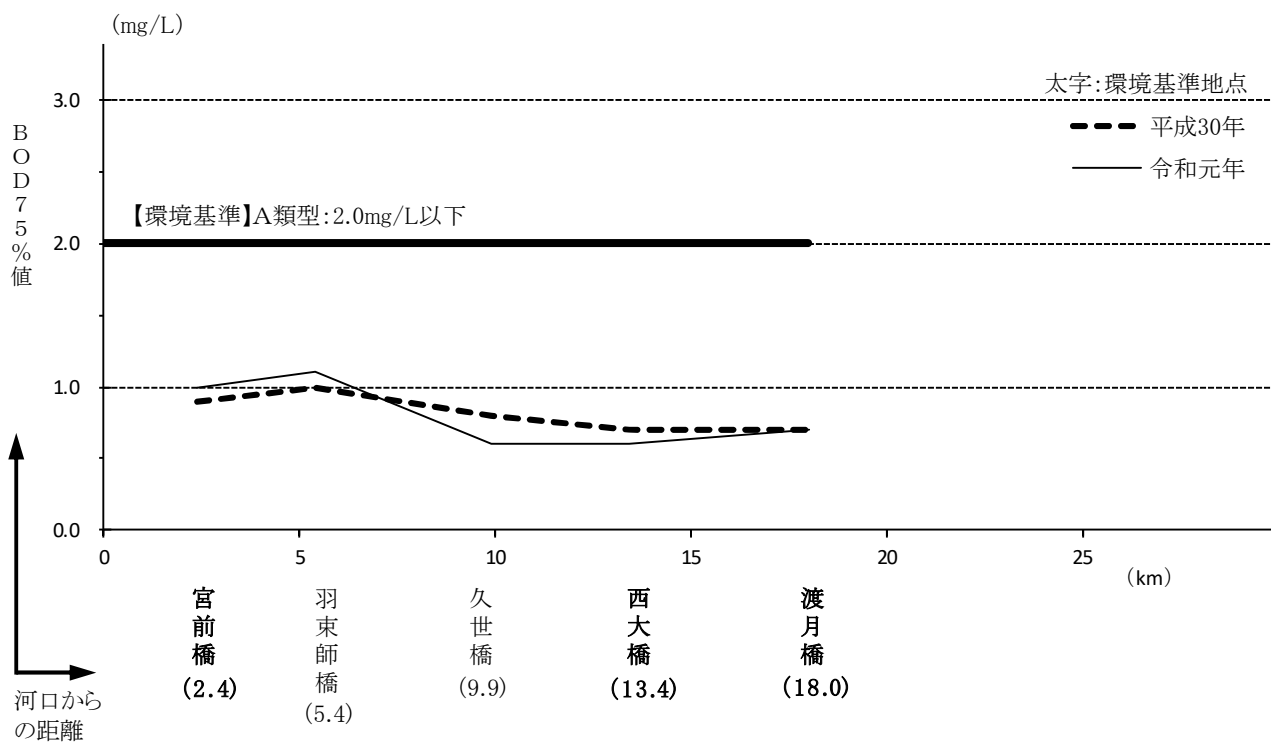


図-1.40 桂川の水質縦断図（BOD75%値）

木津川の各調査地点でみると、近年、BOD75%値は2.0mg/L以下で推移し、令和元年は平成29年と同じく全地点で環境基準（A類型:2.0mg/L以下）を満足する水質となった。また、最下流の木津川御幸橋においても、令和元年のBOD75%値は0.8mg/Lと、環境基準（A類型:2.0mg/L以下）を満足する水質となっている。

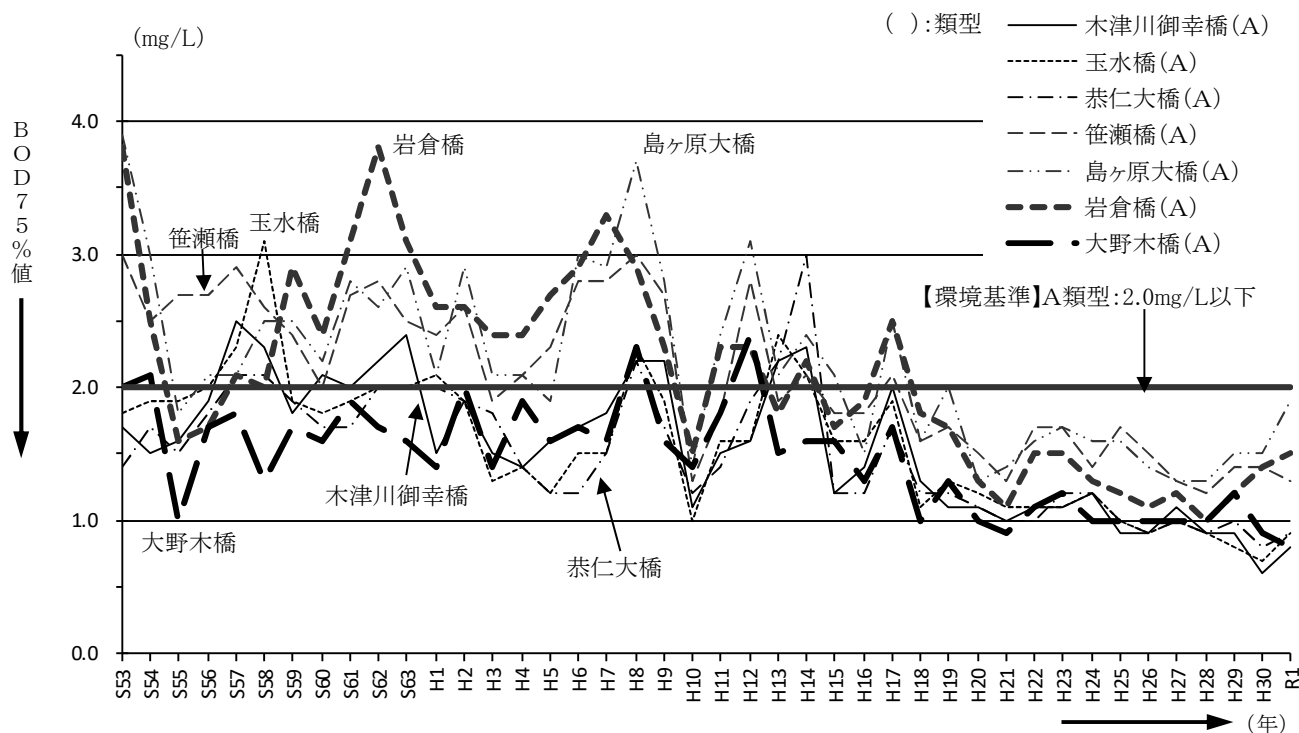


図-1.41 淀川水系（木津川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

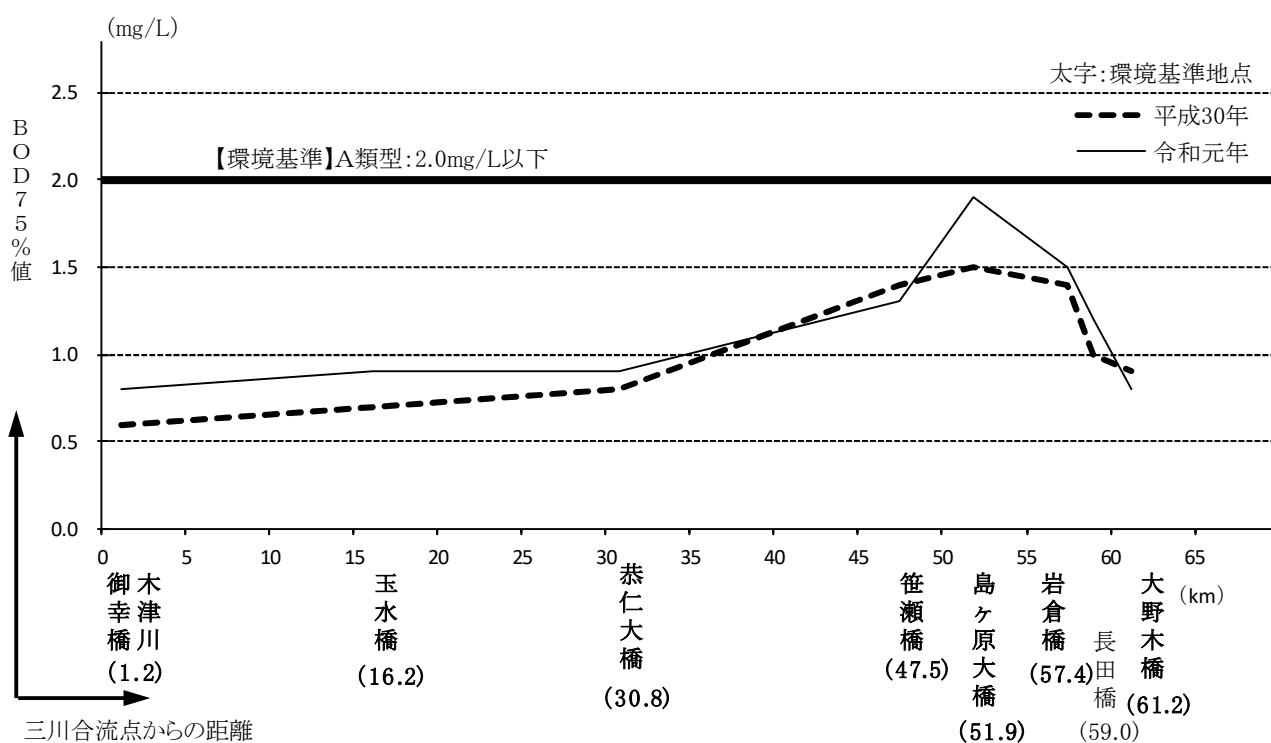


図-1.42 木津川の水質縦断図（BOD75%値）

淀川水系の右派川神崎川右支川である猪名川の水質を軍行橋地点でみると、令和元年のBOD75%値は1.0mg/Lであり、昭和50年代よりBOD75%値は環境基準（B類型:3.0mg/L以下）を満足する水質を維持し、平成10年以降は1.0mg/L前後の水質となっている。

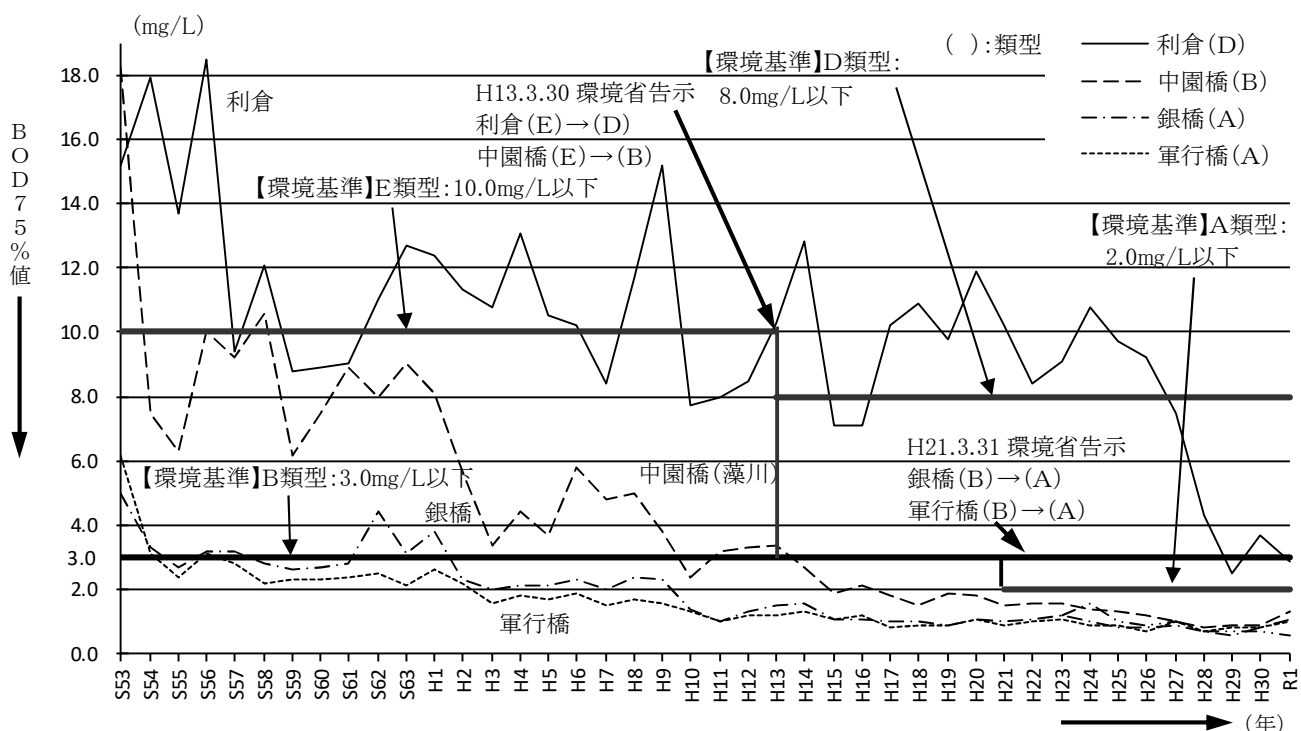


図-1.43 淀川水系（猪名川、藻川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

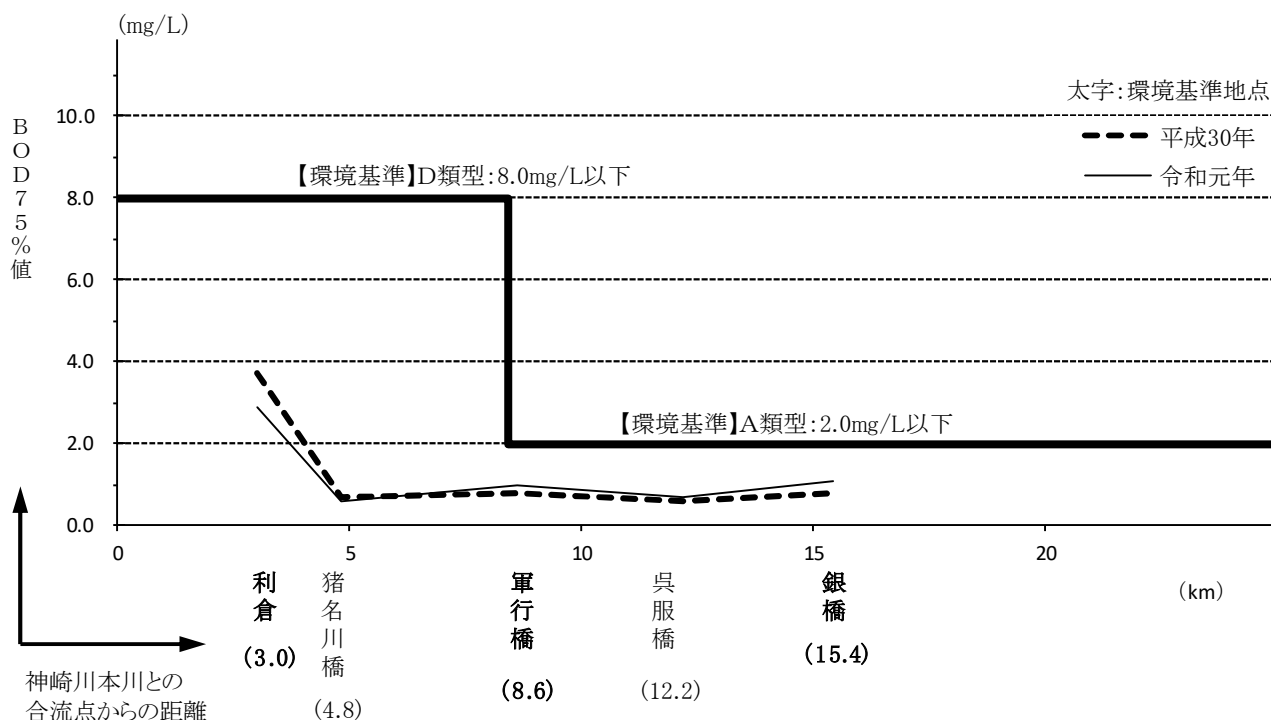


図-1.44 猪名川の水質縦断図（BOD75%値）

⑤ 加古川

板波^{いたば}地点でみると、令和元年のBOD75%値は1.0mg/Lであり、平成13年以降は環境基準（B類型:3.0mg/L以下）を満足する水質を維持している。

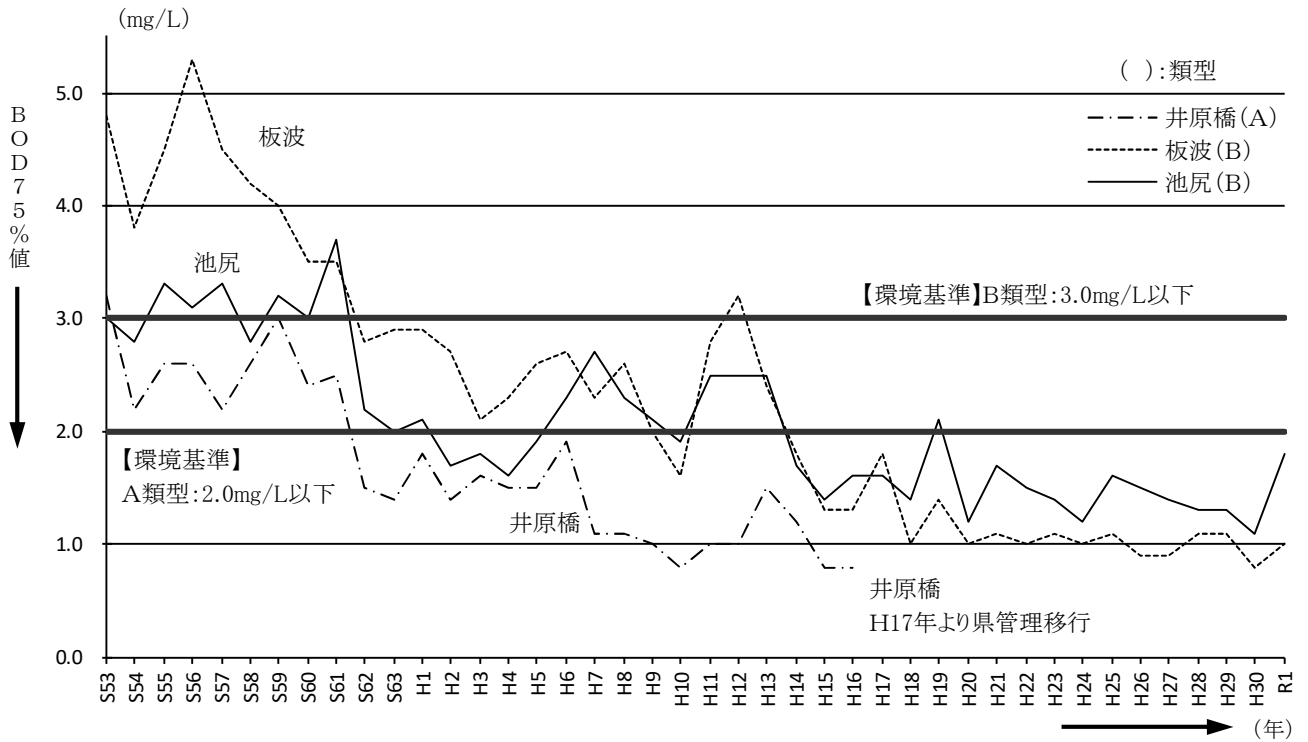


図-1.45 加古川水系の環境基準地点の水質経年変化 (BOD75%値)

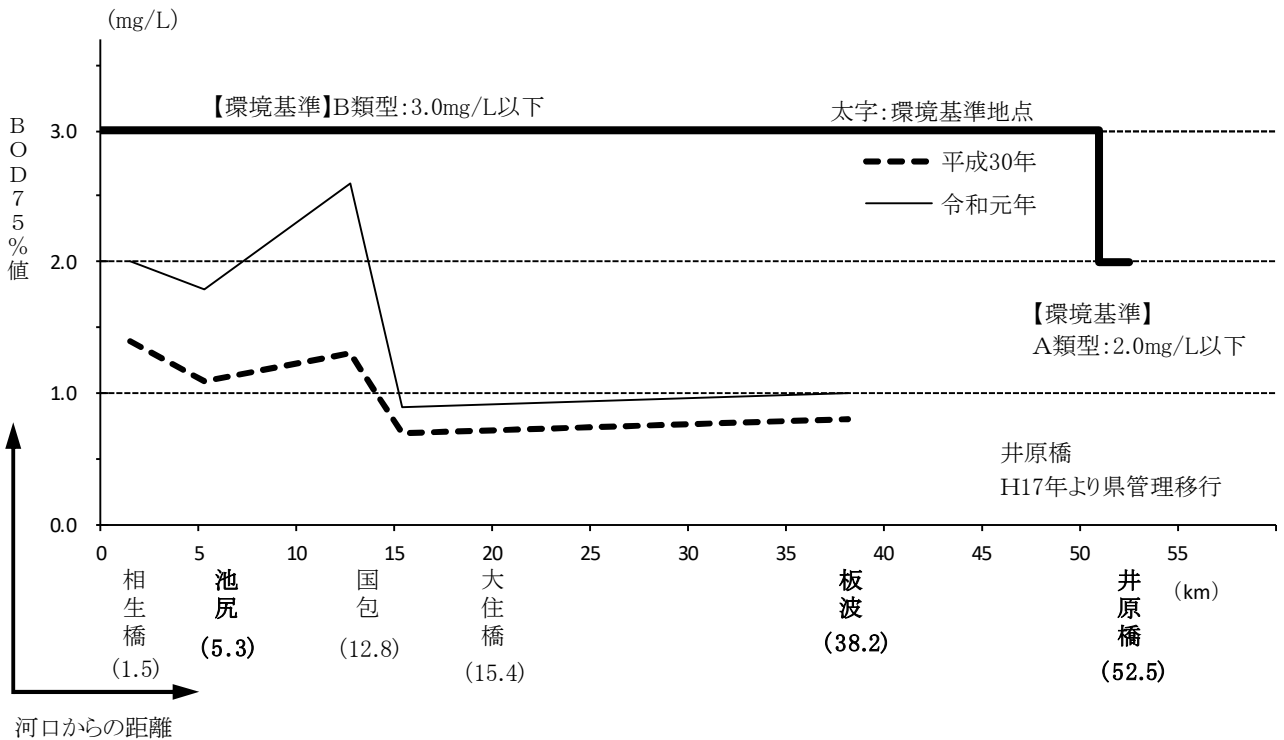


図-1.46 加古川の水質縦断面図 (BOD75%値)

⑥ 揖保川

龍野地点でみると、令和元年のBOD75%値は0.6mg/Lであり、環境基準（A類型:2.0mg/L以下）を満足する水質である。また、林田川合流後の上川原地点でみると、令和元年のBOD75%値が0.7mg/Lとなり、平成7年以降環境基準（B類型:3.0mg/L以下）を満足する水質を維持している。

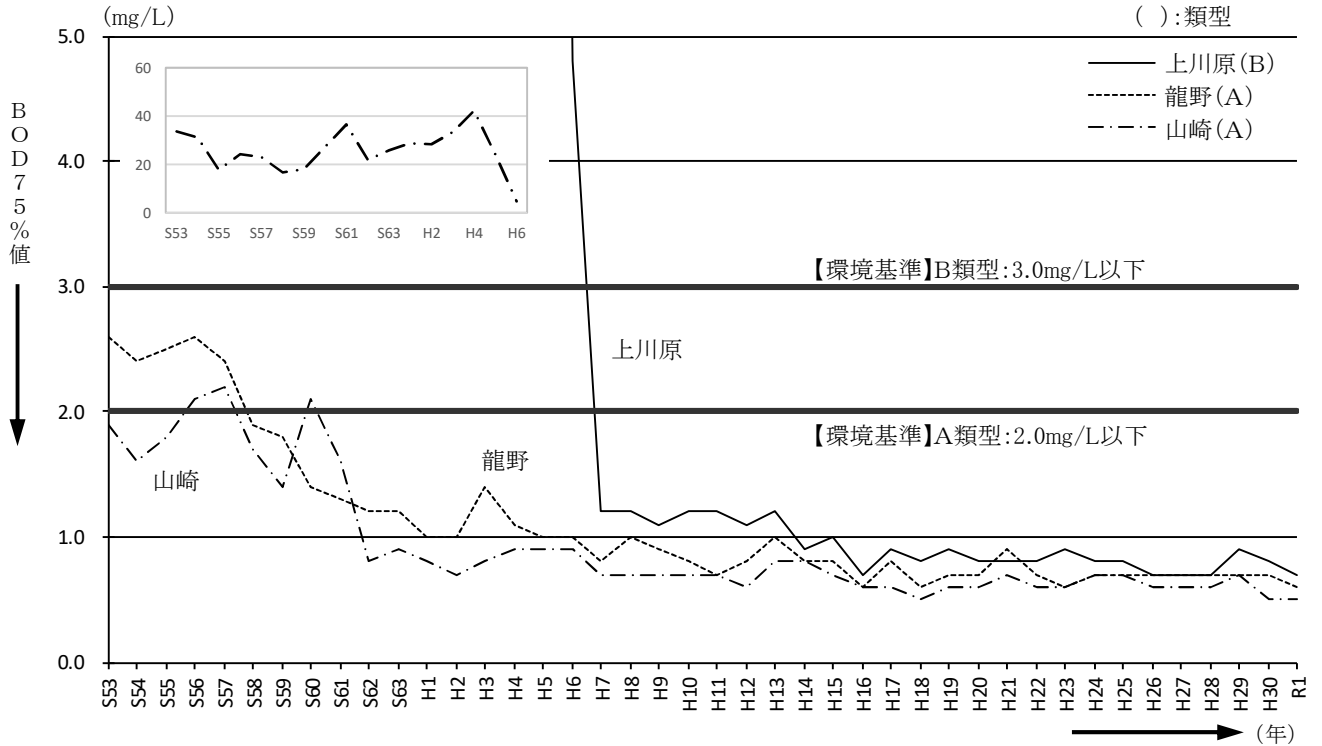


図-1.47 揖保川水系の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

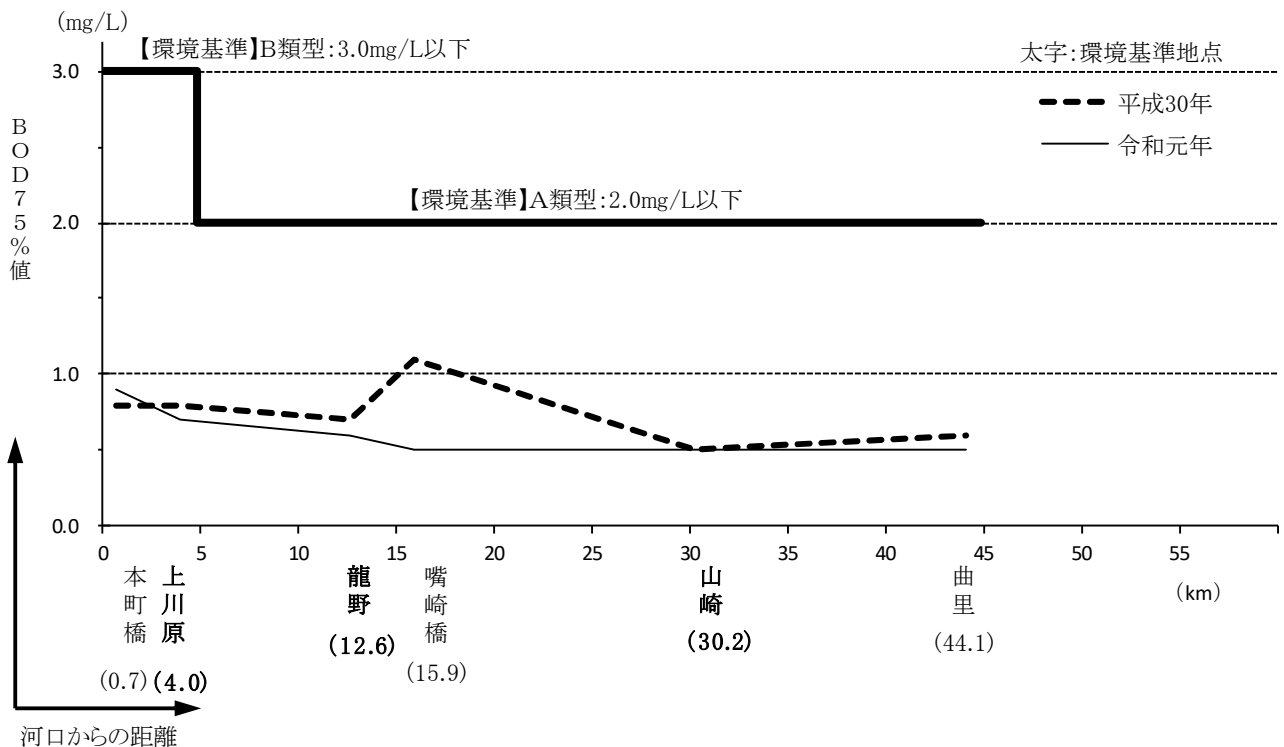


図-1.48 揖保川の水質縦断面図（BOD75%値）

⑦ 九頭竜川

なかつの
中角地点でみると、環境基準（A類型：2.0mg/L以下）を満足する水質を維持している。ここ10数年、1.0 mg/Lを下回り、やや漸減傾向にある。令和元年のBOD75%値は0.5mg/Lであった。

支川日野川下流の深谷地点でみると、令和元年のBOD75%値は0.9mg/Lであり、平成7年以降は環境基準（B類型：3.0mg/L以下）を満足する水質を維持している。

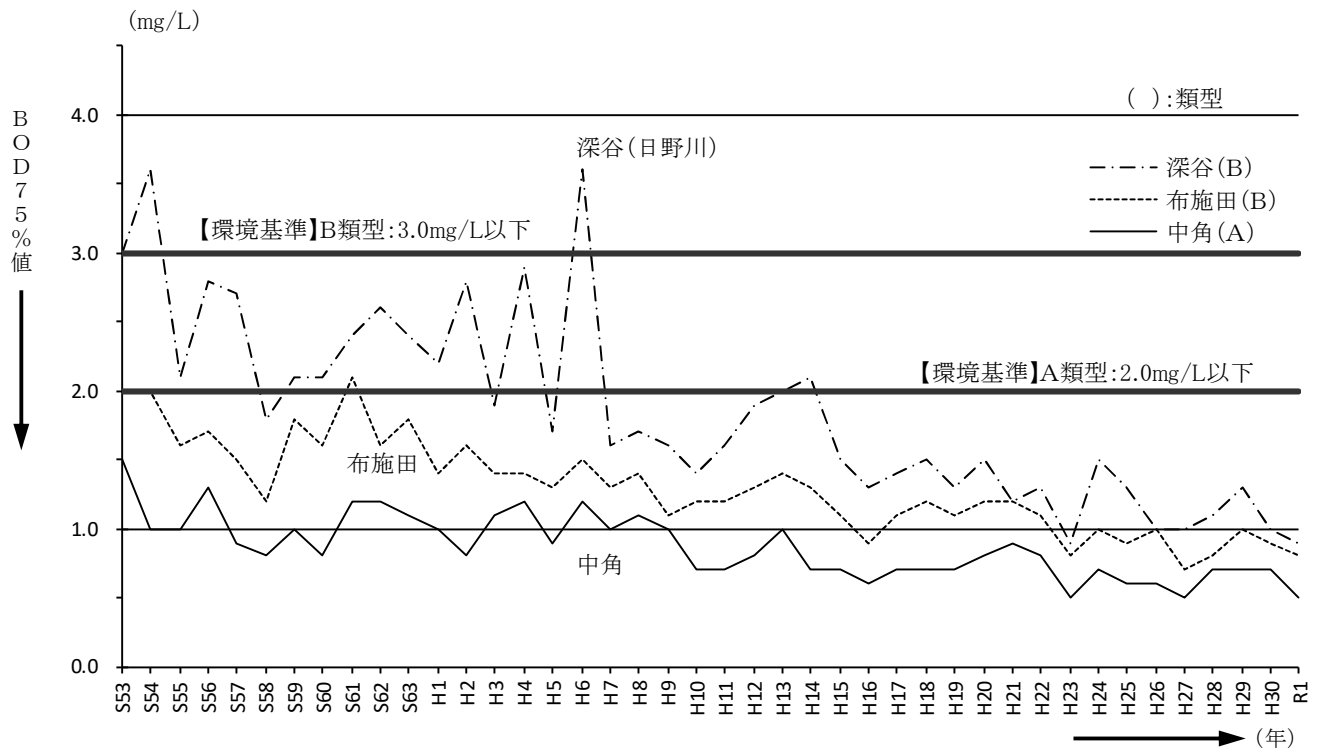


図-1.49 九頭竜川水系の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

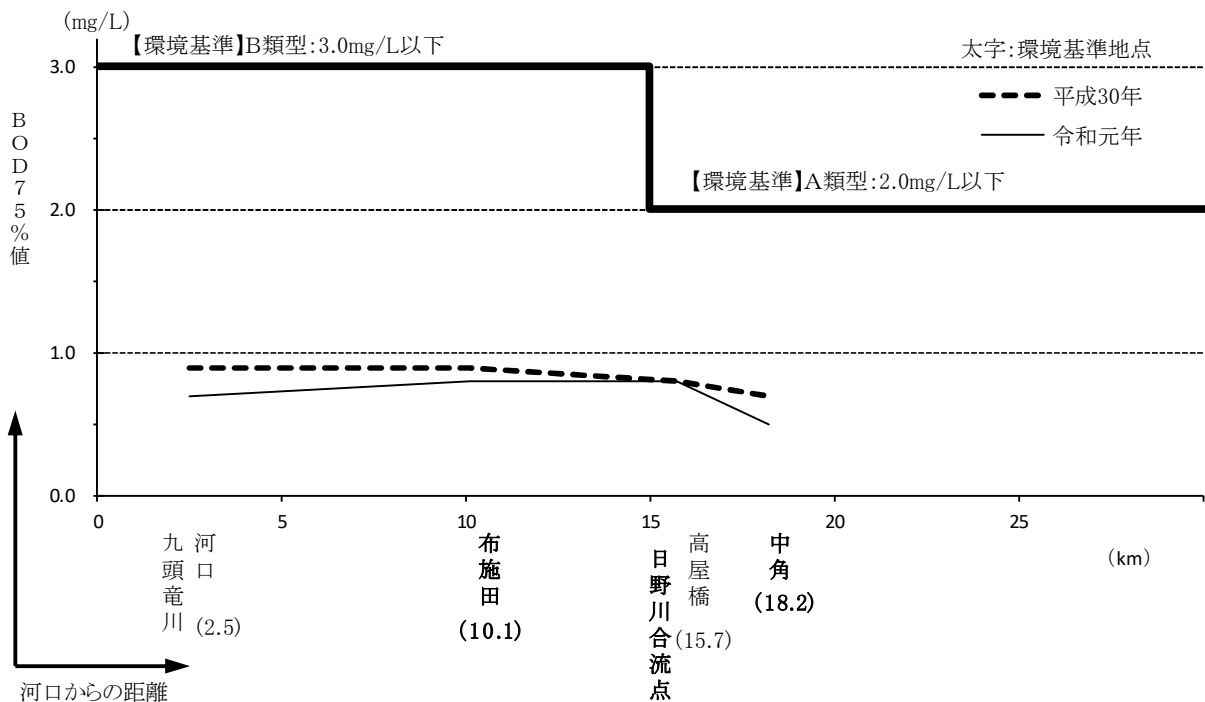


図-1.50 九頭竜川の水質縦断面図（BOD75%値）

⑧ 北 川

高塚^{たかつか}地点は、昭和53年以降1.0mg/Lを下回る値で推移しており、環境基準（A類型:2.0mg/L以下）を満足する水質を維持している。令和元年のBOD75%値は0.6mg/Lであった。

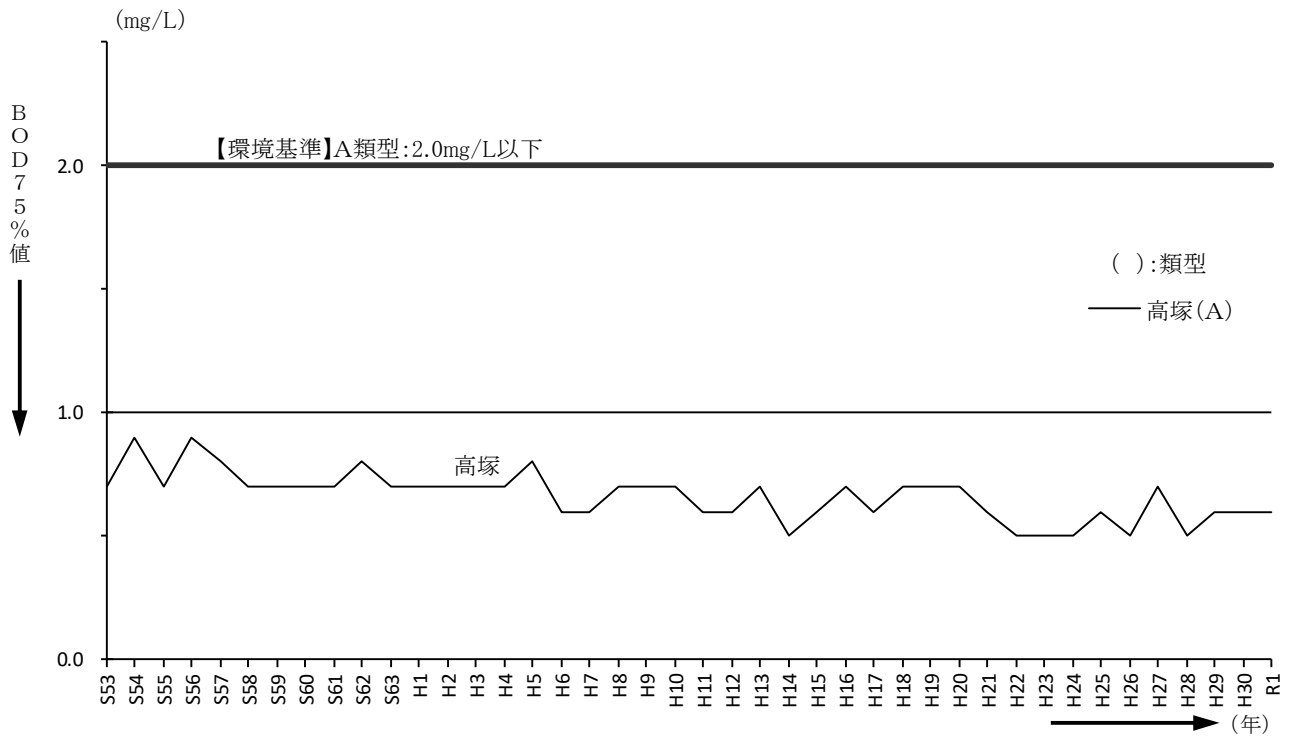


図-1.51 北川水系の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

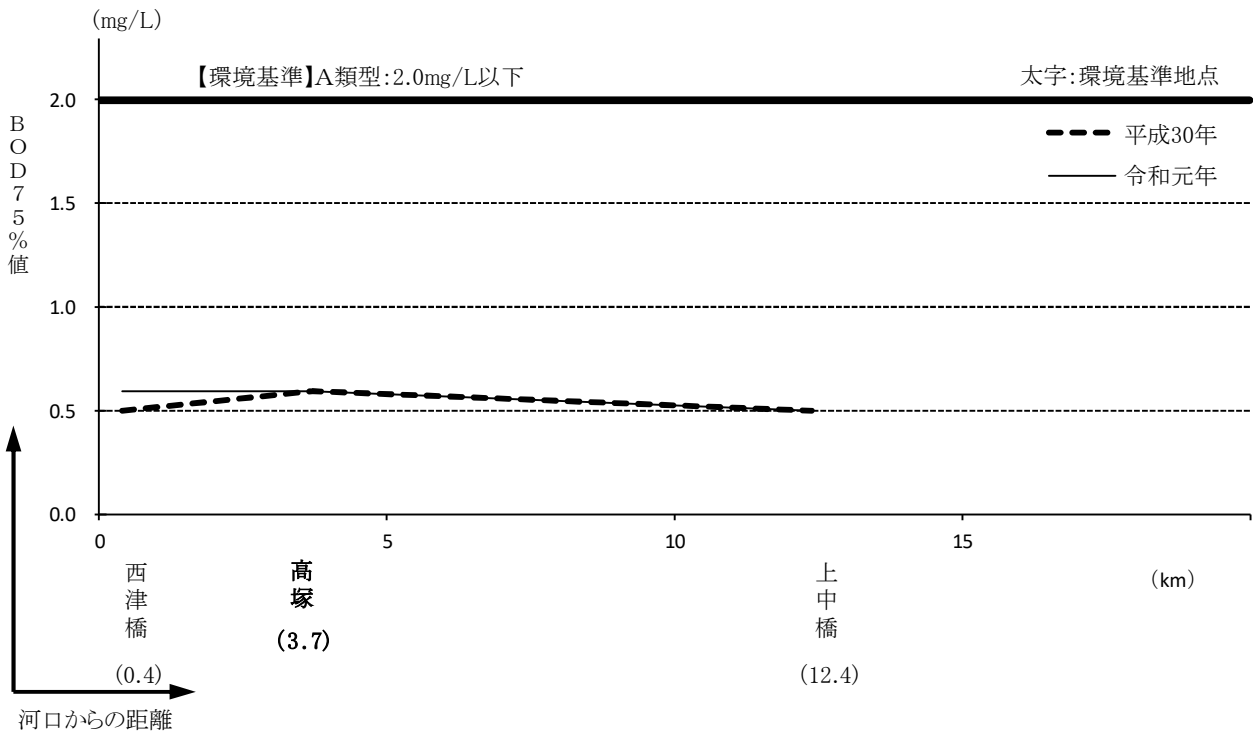


図-1.52 北川の水質縦断面図（BOD75%値）

⑨ 由良川

波美橋地点でみると、昭和53年以降、環境基準（A類型：2.0mg/L以下）を満足する水質を維持しており、令和元年のBOD75%値は0.7mg/Lであった。

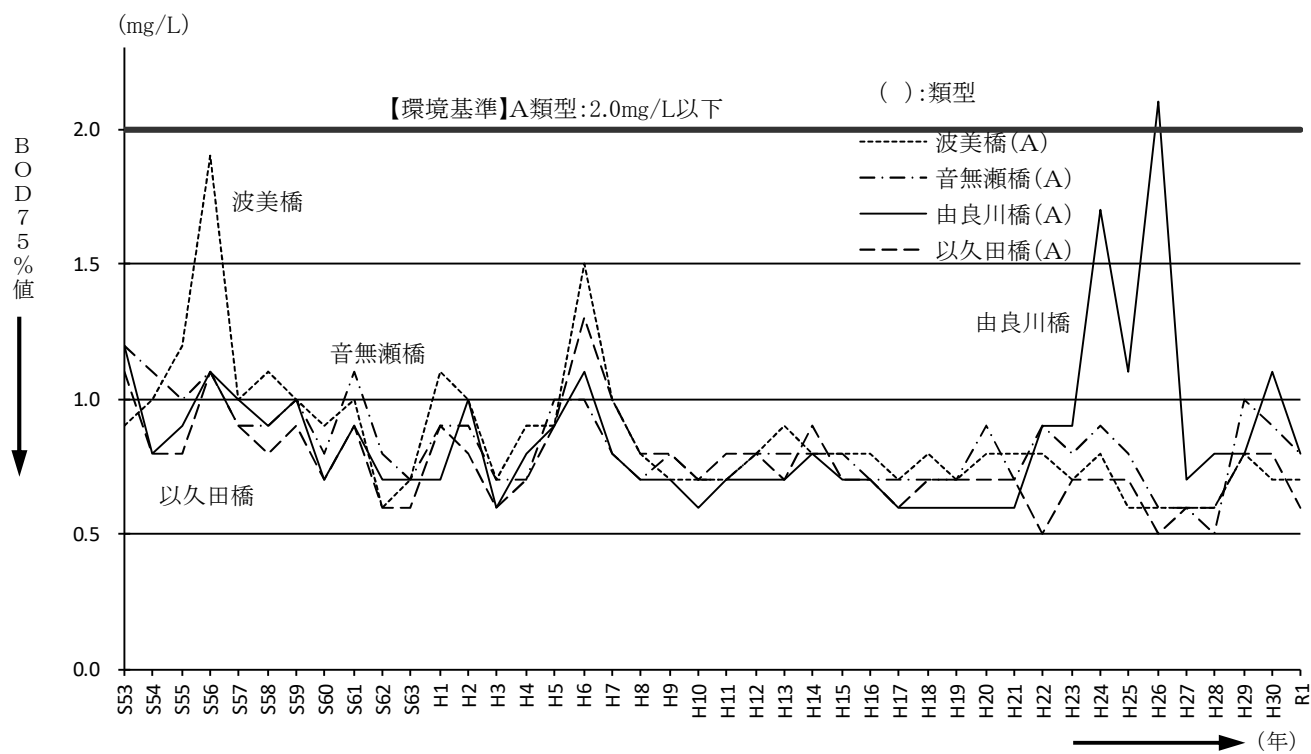


図-1.53 由良川水系（由良川）の環境基準地点の水質経年変化（BOD75%値）

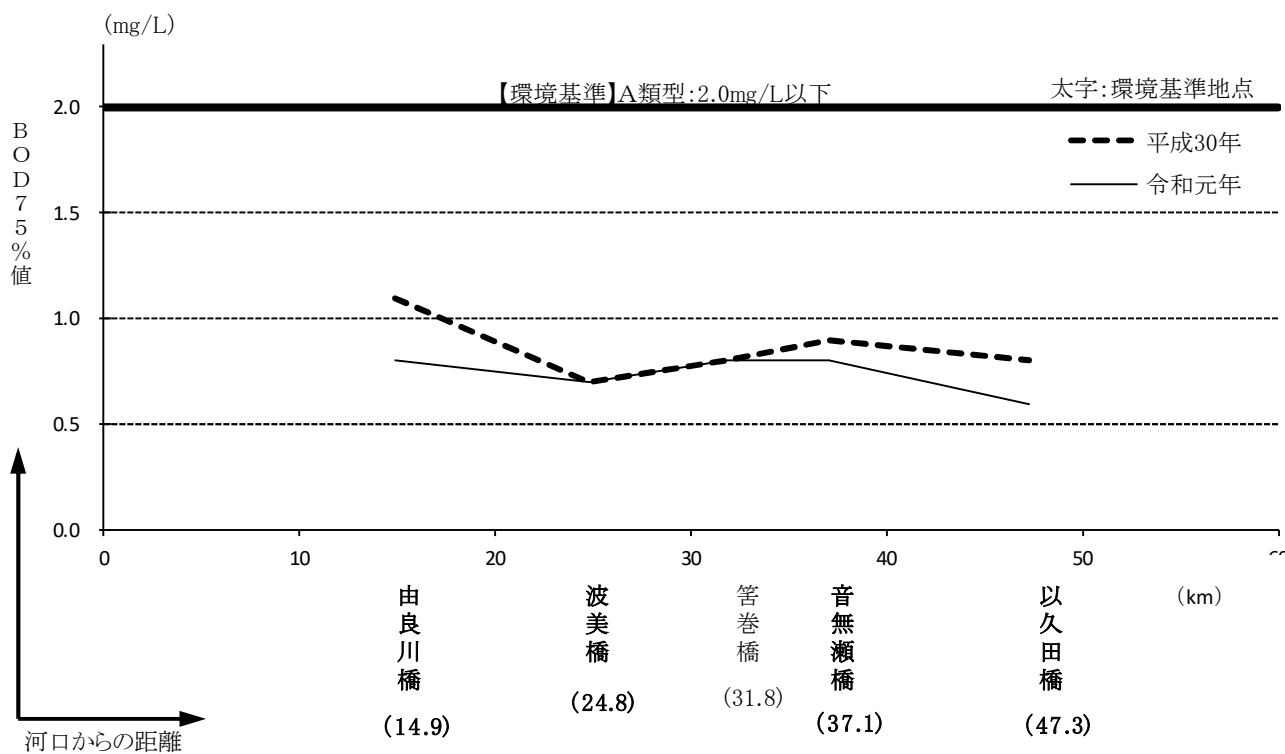


図-1.54 由良川の水質縦断面図（BOD75%値）

⑩ 円山川

立野地点でみると、昭和53年以降、環境基準（B類型:3.0mg/L以下）を満足する水質を維持しており、平成3年以降は0.5~1.5mg/Lの間で推移している。令和元年のBOD75%値は0.7mg/Lであった。

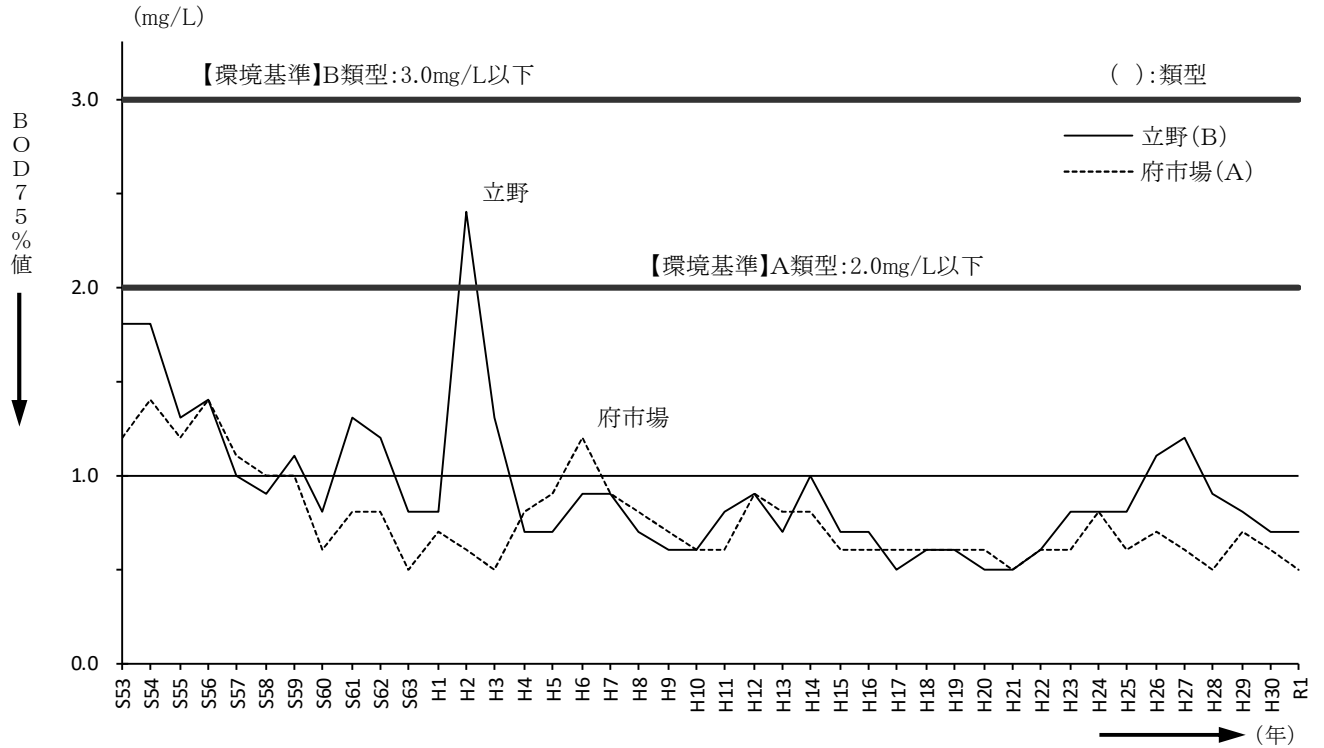


図-1.55 円山川水系の水質経年変化（BOD75%値）

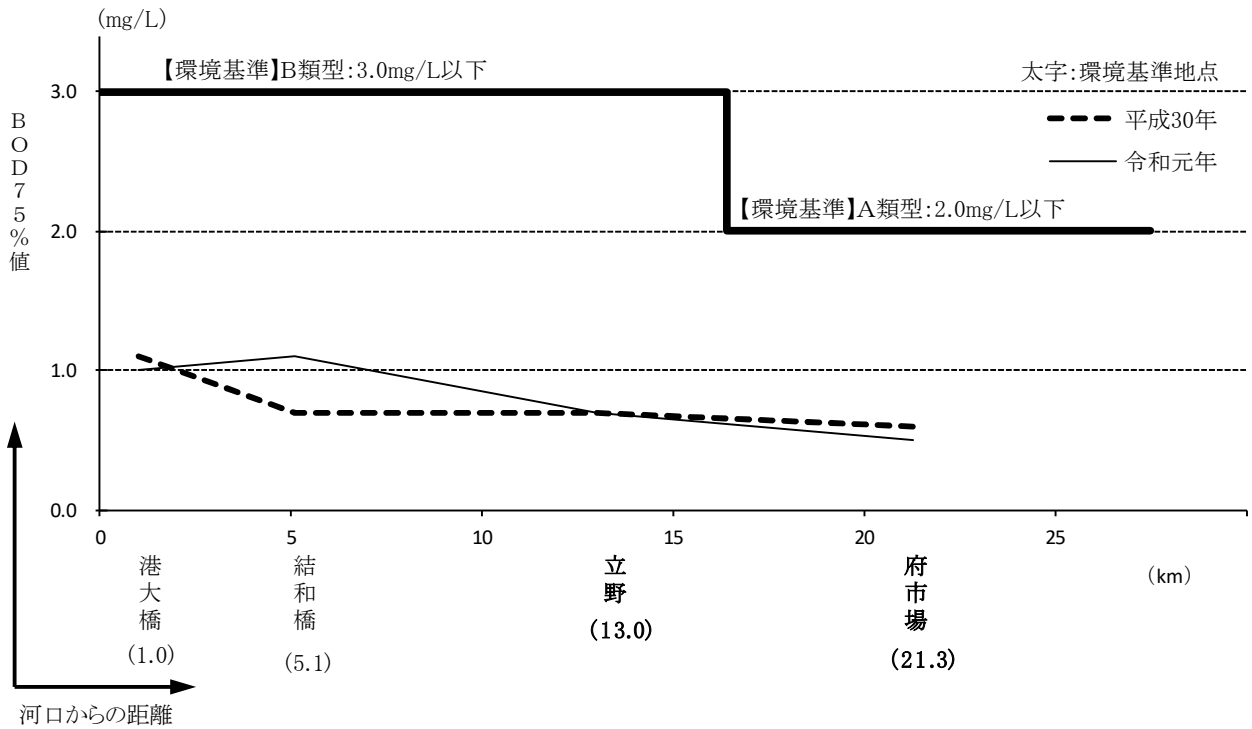


図-1.56 円山川の水質縦断面図（BOD75%値）

1. 7 人と川のふれあいからみた水質状況

表-1.6 水系別におけるランク別地点数（糞便性大腸菌群数）

判定	糞便性大腸菌群数 (個/100mℓ)	水系別該当地点数																				計	
		新宮川水系		紀の川水系		大和川水系		淀川水系		加古川水系		揖保川水系		九頭竜川水系		北川水系		由良川水系		円山川水系			
		H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1
適	2以下	1	0	0	1	0	0	14	28	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	16	31
	3~100	2	3	1	6	0	0	41	22	1	3	4	3	3	3	2	3	3	4	0	1	57	48
可	101~400	0	0	8	2	1	4	3	5	4	2	2	3	3	3	1	0	3	2	2	1	27	22
	401~1000	0	0	1	2	8	5	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	12	7
不適	1001以上	2	1	1	0	5	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	6
合計		5	4	11	11	14	14	63	55	5	5	6	6	8	8	3	3	6	6	2	2	123	114

表-1.7 (1) 一級河川の主要地点水質状況

注：◎ 印は環境基準地点
 地点番号は図-1.7に示す。
 判定は水浴場水質判定基準（環境省）

地点番号	河川名	地点名	類型指定	糞便性大腸菌群数 (個/100mℓ)		判定*
				平均値		
				R1		R1
新宮川（水系）						
1	川原樋川	◎川原樋川取水口	AA	-		-
2	熊野川	◎熊野大橋	A	8		適
3	市田川	市田川河口	D	1867		不適
4	熊野川	熊野川河口	A	26		適
紀の川（水系）						
5	紀の川	◎大川橋	A	77		適
6	〃	御蔵橋	A	71		適
7	〃	◎恋野橋	A	104		可
8	〃	岸上橋	A	47		適
9	〃	三谷橋	A	55		適
10	〃	◎藤崎井堰	A	256		可
11	貴志川	高島橋	A	962		可
12	紀の川	◎船戸	A	609		可
13	〃	新六ヶ井堰	A	50		適
14	〃	紀の川大橋	A	75		適
15	〃	大滝ダム湖ダムサイト	AA	2		適

*判定：「適」=100個/100mℓ以下、「可」=1000個/100mℓ以下、「不適」=1000個/100mℓを超えるもの

表-1.7 (2) 一級河川の主要地点水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型 指定	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)	判定*
				平均値	
				R1	R1
大和川 (水系)					
16	佐保川	井筒橋	C	1500	不適
17	初瀬川	上吐田	C	157	可
18	大和川	太子橋	C	510	可
19	曾我川	◎小柳橋	C	226	可
20	〃	保橋	C	538	可
21	大和川	御幸大橋	C	629	可
22	〃	◎藤井	C	959	可
23	〃	国豊橋	C	1224	不適
24	石川	◎石川橋	B	302	可
25	大和川	◎河内橋	C	749	可
26	〃	◎浅香新取水口	C	297	可
27	〃	◎遠里小野橋	D	2344	不適
28	佐保川	◎額田部高橋	C	1174	不適
29	〃	郡界橋	C	12398	不適
淀川 (水系)					
30	瀬田川	洗堰下	A	15	適
31	〃	◎唐橋流心	A	11	適
32	野洲川	石部	A	-	-
33	〃	◎服部	A	32	適
34	宇治川	大峰橋 (天ヶ瀬ダム)	A	24	適
35	〃	宇治橋	A	-	-
36	〃	◎隠元橋	A	-	-
37	山科川	中野橋	未	-	-
38	宇治川	観月橋	B	-	-
39	東高瀬川	三栖橋	未	-	-
40	宇治川	宇治川大橋	B	-	-
41	〃	◎宇治川御幸橋	B	-	-
42	木津川	◎大野木橋	A	-	-
43	〃	長田橋	A	-	-
44	服部川	◎伊賀上野橋	A	-	-
45	木津川	◎岩倉橋	A	-	-

*判定: 「適」=100個/100mL以下、「可」=1000個/100mL以下、「不適」=1000個/100mLを超えるもの

表-1.7 (3) 一級河川の主要地点水質状況

地点 番号	河 川 名	地 点 名	類 型 指 定	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)	判 定*
				平 均 値	
				R1	R1
46	木 津 川	◎島ヶ原大橋	A	-	-
47	〃	◎笹瀬橋	A	-	-
48	青蓮寺川	青蓮寺ダム湖	未	21	適
49	名張川	新夏見橋	A	-	-
50	宇陀川	安部田	未	-	-
51	名張川	名張	A	-	-
52	〃	家野橋	A	-	-
53	〃	比奈知ダム湖	A	3	適
54	〃	高山ダム湖	未	143	可
55	〃	高山ダム下流	未	-	-
56	宇陀川	高倉橋	A	-	-
57	〃	辻堂橋	A	-	-
58	〃	室生路橋	A	-	-
59	木津川	◎恭仁大橋	A	-	-
60	〃	◎玉水橋	A	-	-
61	〃	◎木津川御幸橋	A	-	-
62	桂川	貯水池基準点 (日吉ダム)	A	16	適
63	〃	◎渡月橋	A	-	-
64	〃	◎西大橋	A	-	-
65	〃	久世橋	A	-	-
66	〃	羽東師橋	A	-	-
67	〃	◎宮前橋	A	-	-
68	淀川	◎枚方大橋	B	-	-
69	〃	◎鳥飼大橋	B	-	-
70	〃	◎菅原城北大橋	B	-	-
71	〃	◎伝法大橋	C	-	-
72	芥川	◎鷺打橋	A	-	-

*判定：「適」=100個/100mL以下、「可」=1000個/100mL以下、「不適」=1000個/100mLを超えるもの

表-1.7 (4) 一級河川の主要地点水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型 指定	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)	判定*
				平均値	
				R1	R1
73	一庫大路次川	一庫ダム	未	9	適
74	猪名川	◎銀橋	A	36	適
75	〃	呉服橋	A	103	可
76	最明寺川	最明寺川流末	未	40	適
77	猪名川	◎軍行橋	A	38	適
78	内川	内川流末	未	67	適
79	駄六川	駄六川流末	未	106	可
80	猪名川	猪名川橋	D	48	適
81	〃	◎利倉	D	115	可
82	藻川	◎中園橋	B	66	適
加古川 (水系)					
83	加古川	◎板波	B	221	可
84	〃	大住橋	B	83	適
85	〃	国包	B	109	可
86	〃	◎池尻	B	72	適
87	〃	相生橋	B	51	適
88	東条川	古川橋	未	-	-
89	万願寺川	西脇橋	未	-	-
揖保川 (水系)					
90	揖保川	曲里	A	54	適
91	〃	◎山崎	A	71	適
92	〃	嘴崎橋	A	191	可
93	〃	◎龍野	A	86	適
94	〃	◎上川原	B	102	可
95	〃	本町橋	B	117	可
96	林田川	構	未	-	-

*判定：「適」=100個/100mL以下、「可」=1000個/100mL以下、「不適」=1000個/100mLを超えるもの

表-1.7 (5) 一級河川の主要地点水質状況

地点 番号	河 川 名	地 点 名	類 型 指 定	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)	判 定*
				平 均 値	
				R1	R1
九 頭 竜 川 (水系)					
97	九 頭 竜 川	◎九 頭 竜 ダ ム 湖	AA	1	適
98	真名川ダム湖	真 名 川 ダ ム 湖	未	1	適
99	九 頭 竜 川	◎中 角	A	57	適
100	〃	高 屋 橋	A	46	適
101	日 野 川	◎深 谷	B	180	可
102	〃	日 光 橋	B	163	可
103	九 頭 竜 川	◎新 布 施 田	B	115	可
104	〃	九 頭 竜 川 河 口	B	75	適
北 川 (水系)					
105	北 川	上 中 橋	A	41	適
106	〃	◎高 塚	A	45	適
107	〃	西 津 橋	A	28	適
由 良 川 (水系)					
108	土 師 川	◎土 師 橋	A	95	適
109	由 良 川	◎以 久 田 橋	A	63	適
110	〃	◎音 無 瀬 橋	A	96	適
111	〃	筈 卷 橋	A	218	可
112	〃	◎波 美 橋	A	120	可
113	〃	◎由 良 川 橋	A	98	適
円 山 川 (水系)					
114	円 山 川	◎府 市 場	A	104	可
115	出 石 川	弘 原	未	-	-
116	円 山 川	◎立 野	B	86	適
117	〃	結 和 橋	B	-	-
118	〃	港 大 橋	B	-	-

*判定：「適」=100個/100mL以下、「可」=1000個/100mL以下、「不適」=1000個/100mLを超えるもの

表-1.8 (1) 一級河川（湖沼）の主要地点水質状況

注：◎ 印は環境基準地点

○ 印は環境基準地点（N・P）

地点番号は図-1.7および図-1.8に示す。

判定は水浴場水質判定基準（環境省）

地点番号	河川名	地点名	類型指定	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)	判定*
				平均値	
				R1	R1
新 宮 川 (水系)					
119	熊野川	◎猿谷ダム湖中央	A	3	適
淀 川 (水系)					
120	琵琶湖(南湖)	粟津沖中央	AA	32	適
121	〃	三保ヶ崎沖	AA	2	適
122	〃	◎浜大津沖	AA	6	適
123	〃	浜大津沖中央	AA	2	適
124	〃	柳ヶ崎沖	AA	1	適
125	〃	柳ヶ崎沖中央	AA	1	適
126	〃	山田港沖	AA	-	-
127	〃	○唐崎沖	AA	1	適
128	〃	◎唐崎沖中央	AA	1	適
129	〃	伊佐々川沖	AA	8	適
130	〃	大宮川沖	AA	-	-
131	〃	大宮川沖中央	AA	-	-
132	〃	志那沖	AA	-	-
133	〃	雄琴沖	AA	1	適
134	〃	雄琴沖中央	AA	1	適
135	〃	◎新杉江港沖	AA	5	適
136	〃	堅田沖	AA	2	適
137	〃	◎堅田沖中央	AA	1	適
138	〃	木ノ浜沖	AA	1	適
139	琵琶湖(北湖)	丹出川沖	AA	1	適
140	〃	丹出川沖中央	AA	1	適
141	〃	吉川港沖	AA	5	適
142	〃	ほうらい沖	AA	-	-

*判定：「適」=100個/100mL以下、「可」=1000個/100mL以下、「不適」=1000個/100mLを超えるもの

表-1.8 (2) 一級河川（湖沼）の主要地点水質状況

地点番号	河川名	地点名	類型 指定	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)	判定*
				平均値	
				R1	R1
143	琵琶湖(北湖)	ほうらい沖中央	AA	1	適
144	〃	日野川沖	AA	-	-
145	〃	南比良沖	AA	1	適
146	〃	○南比良沖中央	AA	1	適
147	〃	長命寺沖	AA	3	適
148	〃	◎北小松沖	AA	1	適
149	〃	北小松沖中央	AA	1	適
150	〃	◎愛知川沖	AA	1	適
151	〃	大溝沖	AA	-	-
152	〃	大溝沖中央	AA	1	適
153	〃	石寺沖	AA	2	適
154	〃	安曇川沖	AA	-	-
155	〃	○安曇川沖中央	AA	1	適
156	〃	彦根港沖	AA	-	-
157	〃	外ヶ浜沖	AA	1	適
158	〃	外ヶ浜沖中央	AA	1	適
159	〃	天野川沖	AA	-	-
160	〃	◎今津沖	AA	1	適
161	〃	○今津沖中央	AA	2	適
162	〃	姉川沖	AA	-	-
163	〃	◎長浜沖	AA	3	適
164	〃	知内川沖	AA	-	-
165	〃	知内川沖中央	AA	-	-
166	〃	早崎港沖	AA	1	適
167	布目川	◎布目ダム	A	58	適
168	宇陀川	◎室生ダム湖	A	299	可
169	〃	◎県営水道取水口	A	1	適

*判定：「適」=100 個/100mL 以下、「可」=1000 個/100mL 以下、「不適」=1000 個/100mL を超えるもの

2. 今後の河川水質管理の指標について

2. 1 今後の河川水質管理の指標の概要

「今後の河川水質管理の指標」¹は、①人と河川の豊かなふれあいの確保、②豊かな生態系の確保、③利用しやすい水質の確保、④下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保、の4つの視点からなり、河川水質の確保すべき機能に関連する指標項目を表-2.1のとおり設定している。

表-2.1 今後の河川水質管理の指標項目

河川の水質管理の視点	今後の河川水質管理の指標項目（案）	
	住民との協働による測定項目	河川管理者による測定項目
人と河川の豊かなふれあいの確保	ゴミの量, 透視度, 川底の感触, 水の臭い, DO*, COD*	糞便性大腸菌群数, S S, BOD, DO, 濁度, T-N, T-P, 河床付着物のクロロフィル a
豊かな生態系の確保	水生生物の生息, 水温, pH*, DO*, COD*, NH ₄ -N*	DO, NH₄-N, 水生生物の生息, pH, BOD, S S, T-N, T-P
利用しやすい水質の確保	—	トリハロメタン生成能, 2-MIB, ジオスミン, NH₄-N, pH, S S, 濁度, TOC, 糞便性大腸菌群数
下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保	PO ₄ *	T-N, T-P

太字は水質管理上重点的に評価を行う項目を示す。

※ バック方式などの簡易な方法による測定を行う項目。

2. 2 近畿地方整備局管内の調査地点について

近畿地方整備局管内では、9水系35地点において調査を実施し、このうち、24地点において住民との協働により調査を実施している。各水系別の調査地点数を表-2.2に示す。

表-2.2 水系別調査地点数

	新宮川水系	紀の川水系	大和川水系	淀川水系	加古川水系	円山川水系	由良川水系	北川水系	九頭竜川水系	計
人と河川の豊かなふれあいの確保	0 (0)	4 (4)	4 (4)	7 (7)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	2 (2)	5 (5)	24 (24)
豊かな生態系の確保	0 (0)	4 (4)	4 (0)	7 (7)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (2)	5 (5)	23 (18)
利用しやすい水質の確保	0 —	5 —	0 —	12 —	0 —	1 —	0 —	0 —	0 —	18 —

※下段（ ）書きは、調査地点数のうち、住民との協働調査実施地点数。

¹ 平成28年までは通称である「新しい水質指標」が使用されてきたが、指標（案）設定から、10年以上が経過し、「新しい」という表現が現状にそぐわないことから、平成29年以降は「今後の河川水質管理の指標」として表記することとしている。

2. 3 令和元年調査結果

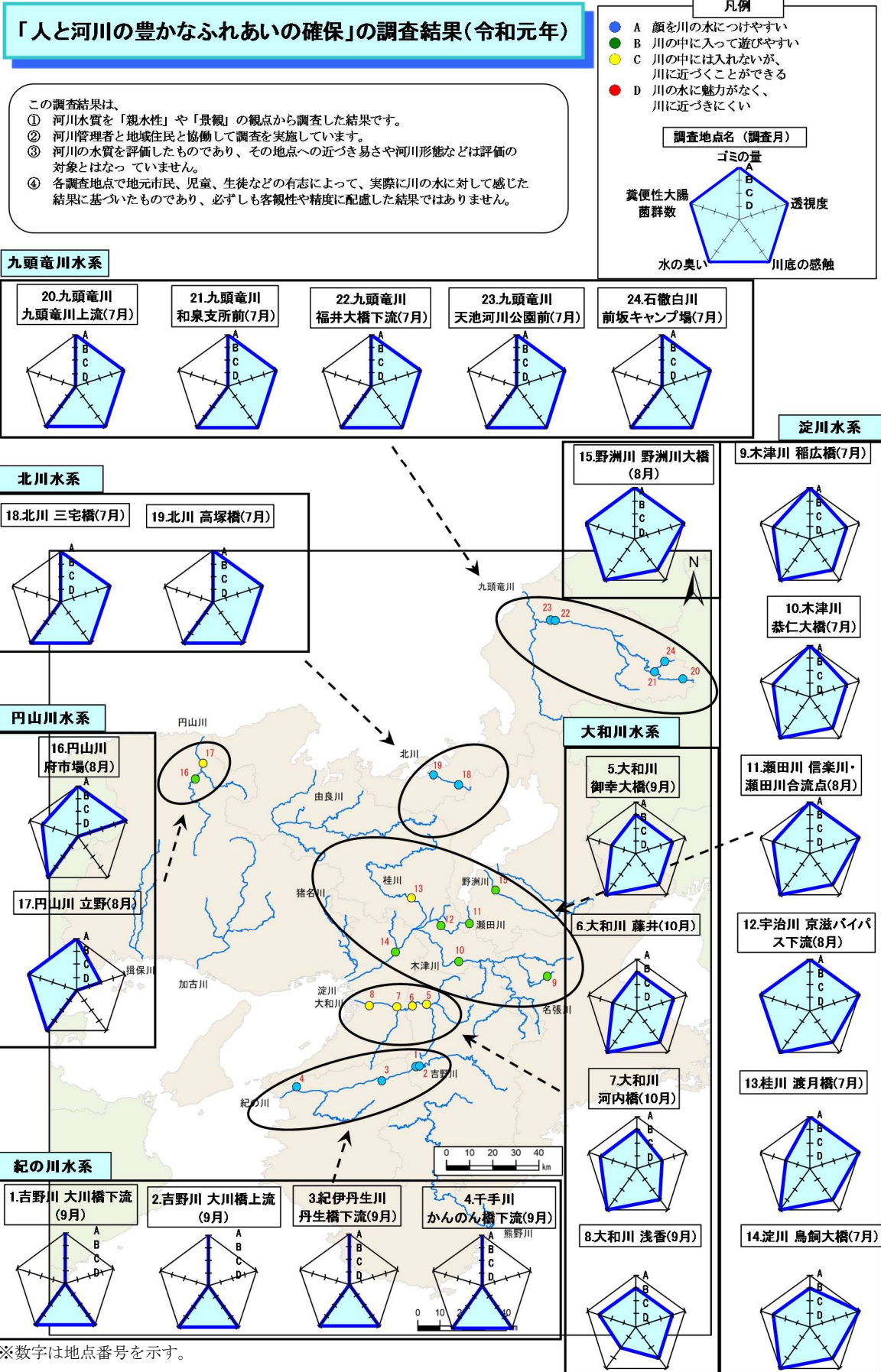


図-2.1 「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点による調査結果

表-2.3 「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点による評価結果一覧

地点番号	水系名	河川名	調査地点名	調査日	水質管理上重点的に評価を行う項目							地点評価	地点の年間評価
					糞便性大腸菌群数		住民との協働による測定						
					測定値 (個/100mL)	評価	ゴミの量	透視度		川底の 感触	水の におい		
								測定値 (cm)	評価				
1	紀の川	吉野川	大川橋下流	R1.9.24			A			A	A	A	A
2	紀の川	吉野川	大川橋上流	R1.9.25			A			A	A	A	A
3	紀の川	紀伊丹生川	丹生橋下流	R1.9.5			A			A	A	A	A
4	紀の川	千手川	かんのん橋下流	R1.9.20			A			A	A	A	A
5	大和川	大和川	御幸大橋	R1.9.8	1500	C	B	70	B	B	A	C	C
6	大和川	大和川	藤井	R1.10.17	1400	C	B	91	B	B	A	C	C
7	大和川	大和川	河内橋	R1.10.4	650	B	B	55	C	B	A	C	C
8	大和川	大和川	浅香	R1.9.27	580	B	B	78	B	B	C	C	C
9	淀川	木津川	稲広橋	R1.7.15	320	B	A	85	B	B	A	B	B
10	淀川	木津川	恭仁大橋	R1.7.26	160	B	A	72	B	B	A	B	B
11	淀川	瀬田川	信楽川・瀬田川合流点	R1.8.13	110	B	A	100	A	B	A	B	B
12	淀川	宇治川	京滋バイパス下流	R1.8.6	38	A	A	>100	A	B	A	B	B
13	淀川	桂川	渡月橋	R1.7.30	1700	C	A	100	A	B	A	C	C
14	淀川	淀川	鳥飼大橋	R1.7.29	260	B	B	>100	A	B	A	B	B
15	淀川	野洲川	野洲川大橋	R1.8.13	36	A	A	100	A	B	A	B	B
16	円山川	円山川	府市場	R1.8.6	150	B	A	>100	A		A	B	B
17	円山川	円山川	立野	R1.8.6	71	A	A	50	C		A	C	C
18	北川	北川	三宅橋	R1.7.31			A	>100	A	A	A	A	A
19	北川	北川	高塚橋	R1.7.31			A	>100	A	A	A	A	A
20	九頭竜川	九頭竜川	九頭竜川上流	R1.7.23			A	>100	A	A	A	A	A
21	九頭竜川	九頭竜川	和泉支所前	R1.7.23			A	>100	A	A	A	A	A
22	九頭竜川	九頭竜川	福井大橋下流	R1.7.26			A	>100	A	A	A	A	A
23	九頭竜川	九頭竜川	天池河川公園前	R1.7.26			A	>100	A	A	A	A	A
24	九頭竜川	石徹白川	前坂キャンプ場	R1.7.24			A	>100	A	A	A	A	A

- 地点の評価については、各評価の最も低いランクを地点のランクとしている。
(例：ゴミの量B、川底の感触B、水のおいAであれば、地点評価はBとなる)
- 地点の年間評価については、地点評価の最も低いランクを年間評価としている。
(例：地点評価B及びCがある場合、年間の評価はCとなる)

「豊かな生態系の確保」の調査結果(令和元年)

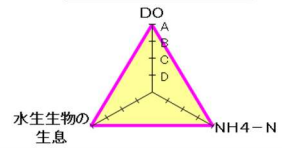
この調査結果は、

- ① 河川水質を「水生生物」の生息環境から調査した結果です。
- ② 河川管理者と地域住民と協働して調査を実施しています。
- ③ 河川の水質を評価したものであり、その地点の水量や河川形態などは評価の対象とはなっていません。
- ④ 各調査地点で地元市民、児童、生徒などの有志によって、実際に川の水に対して感じた結果に基づいたものであり、必ずしも客観性や精度に配慮した結果ではありません。

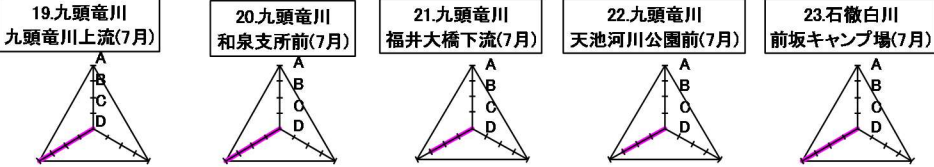
凡例

- A 生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好
- B 生物の生息・生育・繁殖環境として良好
- C 生物の生息・生育・繁殖環境として良好とはいえない
- D 生物の生息・生育・繁殖しにくい

調査地点名(調査月)

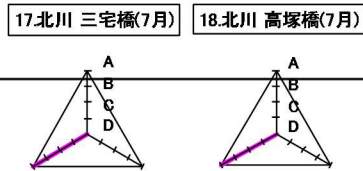


九頭竜川水系

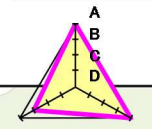


淀川水系

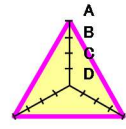
北川水系



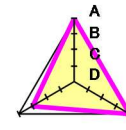
野洲川



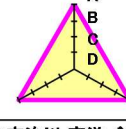
9.木津川 稲広橋(7月)



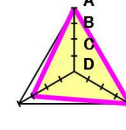
10.木津川 恭仁大橋(7月)



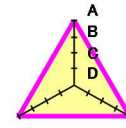
11.瀬田川 信楽川・瀬田川合流点(8月)



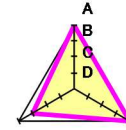
12.宇治川 京滋バイパス下流(8月)



13.桂川 渡月橋(7月)

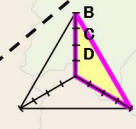


14.淀川 鳥飼大橋(7月)

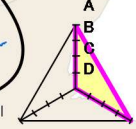


大和川水系

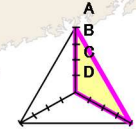
5.大和川 御幸大橋(9月)



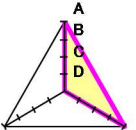
6.大和川 藤井(9月)



7.大和川 河内橋(10月)



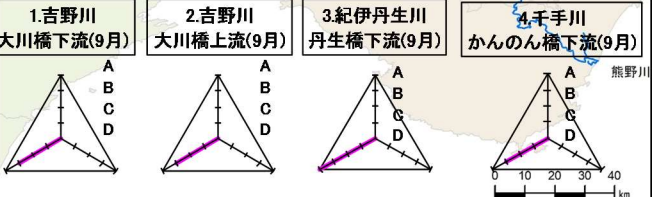
8.大和川 浅香(9月)



円山川水系



紀の川水系



※数字は地点番号を示す。

図-2.2 「豊かな生態系の確保」の視点による調査結果

表-2.4 「豊かな生態系の確保」の視点による評価結果一覧

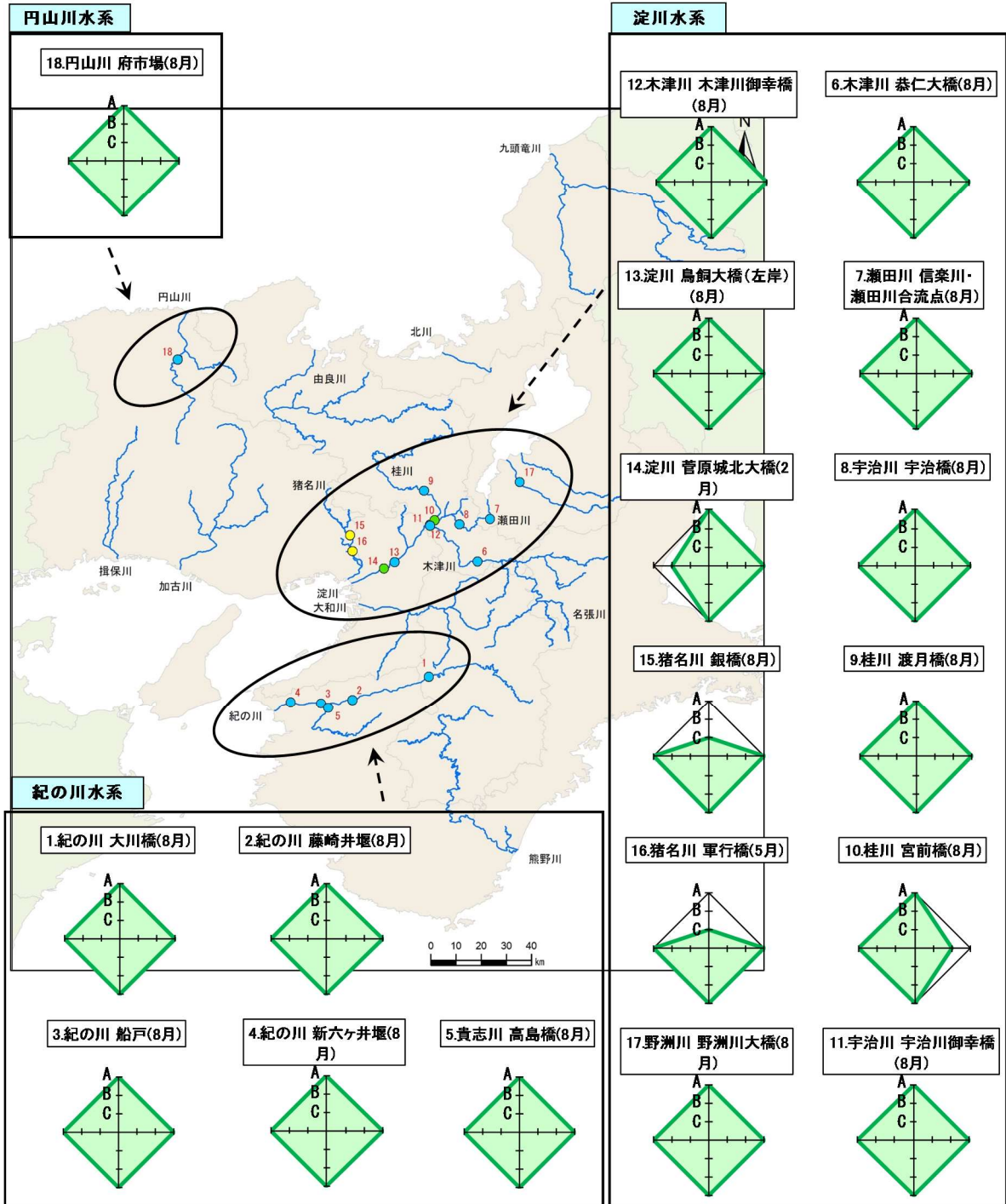
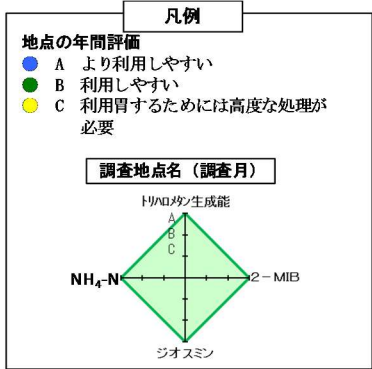
地点番号	水系名	河川名	調査地点名	調査日	水質管理上重点的に評価を行う項目						地点評価	地点の年間評価
					DO		NH ₄ -N		住民との協働による測定			
									水生生物の調査			
					測定値 (mg/L)	評価	測定値 (mg/L)	評価	測定値	評価		
1	紀の川	吉野川	大川橋下流	R1.9.24					II	B	B	B
2	紀の川	吉野川	大川橋上流	R1.9.25					II	B	B	B
3	紀の川	紀伊丹生川	丹生橋下流	R1.9.5					I	A	A	A
4	紀の川	千手川	かんのん橋下流	R1.9.20					II	B	B	B
5	大和川	大和川	御幸大橋	R1.9.8	7.9	A	0.03	A			B	B
6	大和川	大和川	藤井	R1.9.8	8	A	0.03	A			C	C
7	大和川	大和川	河内橋	R1.10.16	8.3	A	0.04	A			C	C
8	大和川	大和川	浅香	R1.9.27	7.8	A	0.02	A			B	B
9	淀川	木津川	稲広橋	R1.7.15	8.7	A	0.04	A	I	A	A	A
10	淀川	木津川	恭仁大橋	R1.7.26	7.9	A	0.01	A	II	B	B	B
11	淀川	瀬田川	信楽川・瀬田川合流点	R1.8.13	8.2	A	0.01	A	I	A	A	A
12	淀川	宇治川	京滋バイパス下流	R1.8.6	8.1	A	0.03	A	II	B	B	B
13	淀川	桂川	渡月橋	R1.7.30	8.4	A	0.02	A	I	A	A	A
14	淀川	淀川	鳥飼大橋	R1.7.29	7.8	A	0.02	A	II	B	B	B
15	淀川	野洲川	野洲川大橋	R1.8.13	11	A	<0.01	A	II	B	B	B
16	円山川	円山川	立野	R1.8.6	3.2	C	0.03	A			C	C
17	北川	北川	三宅橋	R1.7.31					I	A	A	A
18	北川	北川	高塚橋	R1.7.31					I	A	A	A
19	九頭竜川	九頭竜川	九頭竜川上流	R1.7.23					I	A	A	A
20	九頭竜川	九頭竜川	和泉支所前	R1.7.23					I	A	A	A
21	九頭竜川	九頭竜川	福井大橋下流	R1.7.26					II	B	B	B
22	九頭竜川	九頭竜川	天池河川公園前	R1.7.26					II	B	B	B
23	九頭竜川	石徹白川	前坂キャンプ場	R1.7.24					I	A	A	A

- ・地点の評価については、各評価の最も低いランクを地点のランクとしている。
(例：DO：B、NH₄-N：B、水生生物：Aであれば、地点評価はBとなる)
なお、(*)で示した大和川の御幸大橋、藤井、河内橋及び浅香の各調査地点では、水生生物の調査で指標生物を採取できなかったが、学識経験者が採取した生物種を判断して「B」または「C」と評価している。
- ・地点の年間評価については、地点評価の最も低いランクを年間評価としている。
(例：地点評価A及びBがある場合、年間の評価はBとなる)

「利用しやすい水質の確保」の調査結果（令和元年）

この調査結果は、

- ① 河川水質を「上水利用」などの観点から河川管理者が行った水質調査の結果です。
- ② 河川の水質を評価したものであり、その地点の水量や河川形態などは評価の対象とはなっていません。



※数字は地点番号を示す。

図-2.3 「利用しやすい水質の確保」の視点による調査結果

表-2.5(1) 「利用しやすい水質の確保」の視点による評価結果一覧

地点番号	水系名	河川名	調査地点名	調査日	調査結果データ								地点評価	地点の年間評価
					河川管理者による測定									
					水質管理上重点的に評価を行う項目									
					トリハロメタン生成能		2-MIB		ジオスミン		NH ₄ -N			
測定値(μg/L)	評価	測定値(ng/L)	評価	測定値(ng/L)	評価	測定値(mg/L)	評価							
1	紀の川	紀の川	大川橋	H31.2.13	26	A	<1	A	<1	A	0.01	A	A	
				R1.5.8	18	A	<4	A	<1	A	0.02	A		
				R1.8.7	29	A	<2	A	<1	A	0.02	A		
				R1.11.6	20	A	<1	A	<1	A	0.02	A		
2	紀の川	紀の川	藤崎井堰	H31.2.13	28	A	<1	A	<1	A	0.02	A	A	
				R1.5.8	22	A	<1	A	<1	A	0.04	A		
				R1.8.7	33	A	<1	A	<1	A	0.02	A		
				R1.11.6	22	A	<1	A	<1	A	0.01	A		
3	紀の川	紀の川	船戸	H31.2.13	33	A	<1	A	<1	A	0.04	A	A	
				R1.5.8	31	A	<1	A	<1	A	0.02	A		
				R1.8.7	34	A	<2	A	<1	A	0.02	A		
				R1.11.6	26	A	<1	A	<1	A	0.02	A		
4	紀の川	紀の川	新六ヶ井堰	H31.2.13	25	A	<1	A	<1	A	0.05	A	A	
				R1.5.8	37	A	<1	A	2	A	0.01	A		
				R1.8.7	69	A	<2	A	<1	A	0.03	A		
				R1.11.6	23	A	<1	A	1	A	0.02	A		
5	紀の川	貴志川	高島橋	H31.2.13	35	A	<1	A	1	A	0.07	A	A	
				R1.5.8	24	A	<1	A	<1	A	0.04	A		
				R1.8.7	50	A	<4	A	<3	A	0.03	A		
				R1.11.6	40	A	<1	A	<1	A	0.02	A		
6	淀川	木津川	恭仁大橋	H31.2.5	69	A	無	A	無	A	0.08	A	A	
				R1.5.8	44	A	無	A	無	A	0.05	A		
				R1.8.1	60	A	<1	A	<1	A	0.01	A		
				R1.11.6	43	A	無	A	無	A	0.02	A		
7	淀川	瀬田川	信楽川・瀬田川合流点	H31.2.15	14	A	<1	A	<1	A	<0.01	A	A	
				R1.5.13	22	A	<1	A	<1	A	<0.01	A		
				R1.8.13	42	A	<1	A	<1	A	0.01	A		
				R1.11.11	15	A	<1	A	<1	A	<0.01	A		
8	淀川	宇治川	宇治橋	H31.2.5	34	A	無	A	無	A	0.03	A	A	
				R1.5.8	27	A	無	A	無	A	0.03	A		
				R1.8.1	31	A	<1	A	1	A	0.03	A		
				R1.11.6	41	A	無	A	無	A	0.02	A		
9	淀川	桂川	渡月橋	H31.2.5	32	A	無	A	無	A	0.03	A	A	
				R1.5.8	22	A	無	A	無	A	0.05	A		
				R1.8.1	32	A	<1	A	1	A	0.02	A		
				R1.11.6	19	A	無	A	無	A	0.02	A		
10	淀川	桂川	宮前橋	H31.2.5	57	A	無	A	無	A	0.13	B	B	
				R1.5.8	28	A	無	A	無	A	0.04	A		
				R1.8.1	43	A	7	B	3	A	0.03	A		
				R1.11.6	38	A	無	A	無	A	0.25	B		
11	淀川	宇治川	宇治川御幸橋	H31.2.5	48	A	無	A	無	A	0.04	A	A	
				R1.5.8	32	A	無	A	無	A	0.04	A		
				R1.8.1	36	A	1	A	2	A	0.03	A		
				R1.11.6	42	A	無	A	無	A	0.02	A		

※地点の評価については、各評価の最も低いランクを地点のランクとしている。

(例：トリハロメタン：B、2-MIB：B、ジオスミン：A、NH₄-N：Bであれば、地点評価はBとなる)

※地点の年間評価については、地点評価の最も低いランクを年間評価としている。

(例：地点評価A及びBがある場合、年間の評価はBとなる)

表-2.5(2) 「利用しやすい水質の確保」の視点による評価結果一覧

地点番号	水系名	河川名	調査地点名	調査日	調査結果データ								地点評価	地点の年間評価
					河川管理者による測定									
					水質管理上重点的に評価を行う項目									
					トリハロメタン生成能		2-MIB		ジオスミン		NH ₄ -N			
測定値(μg/L)	評価	測定値(ng/L)	評価	測定値(ng/L)	評価	測定値(mg/L)	評価							
12	淀川	木津川	木津川御幸橋	H31.2.5	54	A	無	A	無	A	0.02	A	A	
				R1.5.8	50	A	無	A	無	A	0.01	A		
				R1.8.1	57	A	<1	A	<1	A	0.01	A		
				R1.11.6	40	A	無	A	無	A	0.01	A		
13	淀川	淀川	鳥飼大橋(左岸)	H31.2.5	54	A	無	A	無	A	0.08	A	A	
				R1.5.8	30	A	無	A	無	A	0.05	A		
				R1.8.1	41	A	1	A	1	A	0.02	A		
				R1.11.6	42	A	無	A	無	A	0.03	A		
14	淀川	淀川	菅原城北大橋	H31.2.5	61	A	無	A	無	A	0.13	B	B	
				R1.5.8	32	A	無	A	無	A	0.07	A		
				R1.8.1	41	A	2	A	1	A	0.04	A		
				R1.11.6	43	A	無	A	無	A	0.02	A		
15	淀川	猪名川	銀橋	H31.2.5	58	A	無	A	無	A	<0.01	A	C	
				R1.5.8			無	A	無	A	0.05	A		
				R1.8.7	110	C	無	A	無	A	0.04	A		
				R1.11.6			無	A	無	A	<0.01	A		
16	淀川	猪名川	軍行橋	H31.2.5	59	A	<1	A	<1	A	<0.01	A	C	
				R1.5.8	111	C	<5	A	<5	A	0.03	A		
				R1.8.7	86	A	<5	A	<5	A	0.04	A		
				R1.11.6	100	A	<5	A	<5	A	0.03	A		
17	淀川	野洲川	野洲川大橋	H31.2.15	21	A	<1	A	<1	A	<0.01	A	A	
				R1.5.23	39	A	<1	A	1	A	0.03	A		
				R1.8.13	46	A	<1	A	1	A	<0.01	A		
				R1.11.11	20	A	<1	A	<1	A	<0.01	A		
18	円山川	円山川	府市場	R1.8.6	30	A	無	A	無	A	0.01	A	A	

※地点の評価については、各評価の最も低いランクを地点のランクとしている。

(例：トリハロメタン：B、2-MIB：B、ジオスミン：A、NH₄-N：Bであれば、地点評価はBとなる)

※地点の年間評価については、地点評価の最も低いランクを年間評価としている。

(例：地点評価A及びBがある場合、年間の評価はBとなる)

3. 令和元年度ダイオキシン類及び内分泌かく乱物質実態調査結果

3. 1 ダイオキシン類の調査地点

平成11年度以降、ダイオキシン類について継続的に調査を実施しており、近畿地方整備局管内では10水系47地点において実施している。水系ごとの調査地点を表-3.1示す。

※基準監視地点・・・水系の順流最下流地点の環境基準点や流域の特性等を考慮して設定している地点

※補助監視地点・・・基準監視地点での調査を補完することを目的とし、過去の調査経緯や濃度が比較的高濃度となる可能性が高い地点

表-3.1 水系別の調査地点

地点の種別 \ 水系名	新宮川水系	紀の川水系	大和川水系	淀川水系	加古川水系	揖保川水系	円山川水系	由良川水系	北川水系	九頭竜川水系	計
基準監視地点	1 (1)	1 (1)	1 (1)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	13 (13)
補助監視地点	2 (2)	2 (3)	3 (7)	0 (12)	2 (2)	0 (1)	1 (1)	1 (2)	0 (1)	0 (3)	11 (34)
水系・地点計	3 (3)	3 (4)	4 (8)	4 (16)	3 (3)	1 (2)	2 (2)	2 (3)	1 (2)	1 (4)	24 (47)

上段 : 令和元年度調査地点数

(下段) : 各水系における調査地点数

3. 2 ダイオキシン類の調査結果

各地点における調査については、原則として年1回水質と底質を同時に調査している。また、要監視濃度（環境基準値の1/2）を超過する地点については重点監視状態にある地点（重点監視地点）として重点的に調査を行うこととしている。調査頻度の考え方は、表-3.2のとおりである。また、令和元年度当初時点における各水系における重点監視地点の内訳を表-3.3に、令和元年度調査結果を図-3.1、図-3.2、表-3.4、表-3.5に示す。

表-3.2 地点の種別による調査頻度

地点の種別	調査頻度	備考
基準監視地点	1回/年	—
補助監視地点	1回/3年	—
重点監視地点	4回/年	過去の調査において要監視濃度を超過し、その後の調査で8回連続して要監視濃度を下回っていない地点。

表-3.3 各水系における重点監視地点（令和元年度当初時点）

地点の種別 \ 水系名	新宮川水系	紀の川水系	大和川水系	淀川水系	加古川水系	揖保川水系	円山川水系	由良川水系	北川水系	九頭竜川水系	計
重点監視地点数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
調査地点数	3	3	4	4	3	1	2	2	1	1	24

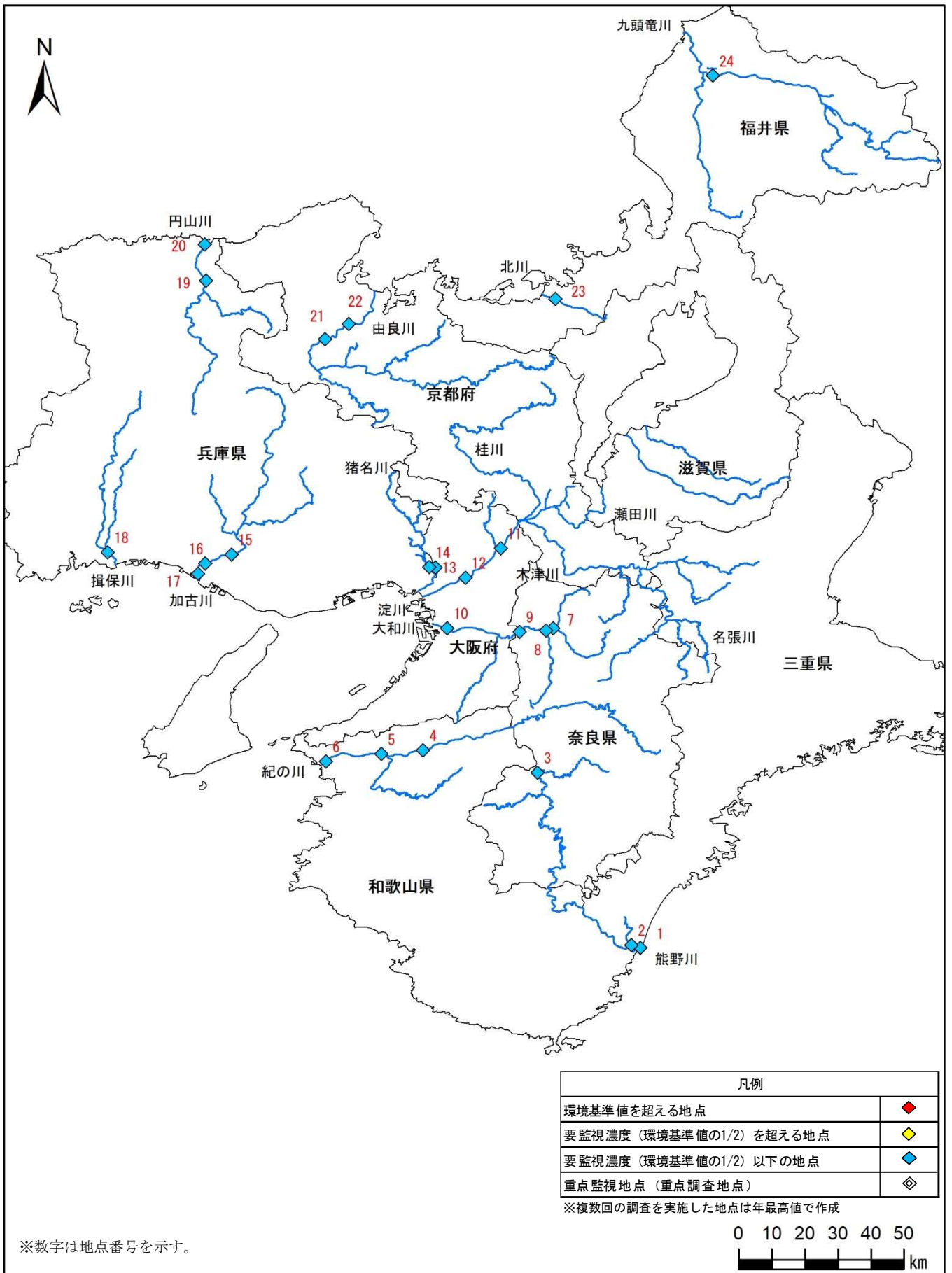


図-3.2 令和元年度ダイオキシン類（底質）調査結果

表-3.4 令和元年度ダイオキシン類調査結果一覧表

地点番号	水系名	河川名	調査地点名	地点の種類別		調査時期	ダイオキシン類(水質)				ダイオキシン類(底質)				
				基準監視地点、 補助監視地点の区分	重点監視地点 (※1)		PCDD + PCDF	DL-PCB	TOTAL	評価値 (平均値)	PCDD + PCDF	DL-PCB	TOTAL	評価値 (最高値)	
					水質										底質
1	新宮川	熊野川	熊野川河口	補助							0.21	0.014	0.22	0.22	
2	新宮川	熊野川	熊野大橋	基準			0.064	0.0046	0.068	0.068	0.20	0.014	0.21	0.21	
3	新宮川	猿谷ダム	猿谷ダム湖中央	補助			0.063	0.0046	0.068	0.068	0.91	0.11	1.0	1.0	
4	紀の川	紀の川	藤崎井堰	補助			0.076	0.0048	0.081	0.081	0.31	0.025	0.33	0.33	
5	紀の川	紀の川	船戸	基準			0.078	0.0049	0.083	0.083	0.27	0.014	0.29	0.29	
6	紀の川	紀の川	紀の川大橋	補助							0.82	0.13	0.95	0.95	
7	大和川	大和川	上吐田	補助			0.38	0.016	0.40	0.40	0.53	0.024	0.55	0.55	
8	大和川	大和川	太子橋	補助			0.33	0.016	0.35	0.35	0.25	0.014	0.26	0.26	
9	大和川	大和川	藤井	補助	○	春季	0.20	0.019	0.22						
						夏季	0.53	0.016	0.54						
						秋季	0.51	0.024	0.53		0.34	0.024	0.36	0.36	
						冬季	0.24	0.020	0.26	0.39					
10	大和川	大和川	遠里小野橋 中	基準			0.34	0.033	0.37	0.37	0.24	0.014	0.26	0.26	
11	淀川	淀川	枚方大橋中央	基準			0.097	0.013	0.11	0.11	0.20	0.013	0.22	0.22	
12	淀川	淀川	菅原城北大橋	基準			0.12	0.010	0.13	0.13	0.31	0.027	0.34	0.34	
13	淀川	猪名川	利倉	基準			0.066	0.0056	0.071	0.071	0.25	0.060	0.31	0.31	
14	淀川	藻川	中園橋	基準			0.078	0.015	0.094	0.094	0.49	0.11	0.60	0.60	
15	加古川	加古川	国包	補助			0.091	0.0049	0.096	0.096	2.8	0.11	2.9	2.9	
16	加古川	加古川	池尻(加古川橋)	基準			0.091	0.0048	0.096	0.096	0.66	0.013	0.67	0.67	
17	加古川	加古川	相生橋	補助							0.59	0.045	0.64	0.64	
18	揖保川	揖保川	上川原(王子橋)	基準			0.075	0.0050	0.080	0.080	0.27	0.063	0.33	0.33	
19	円山川	円山川	立野	基準			0.077	0.0047	0.082	0.082	0.22	0.014	0.24	0.24	
20	円山川	円山川	港大橋	補助							0.33	0.014	0.34	0.34	
21	由良川	由良川	波美橋	基準			0.075	0.0048	0.080	0.080	0.21	0.014	0.22	0.22	
22	由良川	由良川	由良川橋	補助							0.25	0.014	0.27	0.27	
23	北川	北川	高塚	基準			0.078	0.0047	0.083	0.083	0.24	0.016	0.26	0.26	
24	九頭竜川	九頭竜川	中角	基準			0.066	0.0047	0.070	0.070	0.21	0.014	0.22	0.22	

注1: 四捨五入により、(PCDD+PCDF)とDL-PCBの和が、TOTALと一致しないことがある。

注2: 黄色のセルは、要監視濃度(環境基準値の1/2(水質:0.50pg-TEQ/L、底質:75pg-TEQ/g))を超えた値を表す。

赤色のセルは、環境基準値(水質:1pg-TEQ/L、底質:150pg-TEQ/g)を超えた値を表す。

注3: 水質基準の達成状況は、測定地点ごとに年間平均値により評価する。また、底質基準の達成状況は測定結果ごとに、また測定地点ごとに評価する。

(※1 重点監視地点とは、過年度の調査で要監視濃度を超えた地点のうち、その後の調査で8回連続して要監視濃度を下回っていない地点。)

表-3.5 重点監視地点※の検出濃度の推移（水質）

（単位：pg-TEQ/L）

府県名	水系名	河川名	調査地点	平成16年度				平成17年度				平成18年度				平成19年度			
				春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
奈良県	大和川	大和川	上吐田	0.38	0.61	0.28	0.35	0.48	0.31	0.30	0.68	0.64	0.47	0.87	0.52	0.52	0.36	0.52	0.33
奈良県	大和川	大和川	太子橋	0.29	0.49	0.33	0.28	0.31	0.32	0.53	0.21	0.54	0.37	0.41	0.31	0.43	0.50	0.44	0.19
奈良県	大和川	大和川	藤井	0.42	1.1	0.44	0.26	1.0	0.71	0.35	0.27	0.55	0.47	0.40	0.35	0.54	0.49	0.39	0.20
大阪府	大和川	大和川	遠里小野橋 中	0.39	0.94	0.41	0.36	0.36	0.41	0.29	0.27	0.38	0.26	0.40	0.17	0.56	0.48	0.36	0.17
大阪府	大和川	大和川	河口部 中	0.53	0.89	0.47	0.54	0.37	0.31	0.18	0.30	0.39	0.33	0.41	0.13	0.82	0.30	0.33	0.13

府県名	水系名	河川名	調査地点	平成20年度				平成21年度				平成22年度				平成23年度			
				春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
奈良県	大和川	大和川	上吐田	0.60	0.88	0.59	1.4	0.31	0.30	0.41	0.44	0.34	0.43	0.12	0.26	—	—	0.29	—
奈良県	大和川	大和川	太子橋	0.49	—	0.67	0.47	1.0	0.38	0.37	0.37	0.20	0.57	0.50	0.12	0.26	0.48	0.30	0.11
奈良県	大和川	大和川	藤井	0.48	0.95	0.57	0.42	0.44	0.42	0.30	0.26	0.25	1.1	0.27	0.13	0.20	0.51	0.26	0.14
大阪府	大和川	大和川	遠里小野橋 中	0.30	0.73	0.47	0.35	0.32	0.28	0.25	0.16	0.19	0.63	0.095	0.085	0.16	0.59	0.16	0.23
大阪府	大和川	大和川	河口部 中	0.28	0.71	0.48	0.31	0.40	0.37	0.21	0.13	0.16	0.73	0.12	0.098	0.41	0.85	0.59	0.14

府県名	水系名	河川名	調査地点	平成24年度				平成25年度				平成26年度				平成27年度			
				春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
奈良県	大和川	大和川	上吐田	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.95	—	0.39	0.41	0.35	0.18
奈良県	大和川	大和川	太子橋	0.28	0.32	0.23	0.57	0.30	0.63	0.31	0.13	0.14	0.51	0.36	0.28	0.43	0.48	0.34	0.14
奈良県	大和川	大和川	藤井	0.21	0.46	0.31	0.50	0.31	0.71	0.30	0.21	0.13	1.0	0.37	0.24	0.34	0.52	0.26	0.11
大阪府	大和川	大和川	遠里小野橋 中	0.18	0.19	0.14	0.42	0.19	0.42	0.14	0.15	—	—	0.58	—	0.26	0.60	0.22	0.095
大阪府	大和川	大和川	河口部 中	0.18	0.11	0.13	0.43	0.26	0.58	0.12	0.10	0.093	0.98	0.56	0.18	0.23	0.89	0.26	0.11

府県名	水系名	河川名	調査地点	平成28年度				平成29年度				平成30年度				令和元年度			
				春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
奈良県	大和川	大和川	上吐田	0.29	0.38	0.31	0.44	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
奈良県	大和川	大和川	太子橋	0.36	0.35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
奈良県	大和川	大和川	藤井	0.26	0.56	0.29	0.19	0.23	0.62	0.25	0.38	0.26	0.81	0.23	0.10	0.22	0.54	0.53	0.26
大阪府	大和川	大和川	遠里小野橋 中	0.21	0.30	0.18	0.21	0.16	0.44	0.35	—	—	—	0.20	—	—	—	—	—
大阪府	大和川	大和川	河口部 中	0.28	0.34	0.18	0.23	0.25	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※ 令和元年度当初における重点監視地点

注1：黄色のセルは、要監視濃度（環境基準値の1/2（水質：0.50pg-TEQ/L））を超えた値を表す。

赤色のセルは、環境基準値（水質：1pg-TEQ/L）を超えた値を表す。

3. 3 内分泌かく乱物質の調査地点

平成10年度以降（一部は平成12年度以降）、内分泌かく乱物質について調査を実施しており、近畿地方整備局管内では、10水系18地点について調査を実施している。各水系の調査地点を表-3.6に示す。

表-3.6 水系別の調査地点

水系名	新宮川水系	紀の川水系	大和川水系	淀川水系	加古川水系	揖保川水系	円山川水系	由良川水系	北川水系	九頭竜川水系	計
地点数	0 (1)	0 (1)	0 (1)	3 (9)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	3 (18)

上段 : 令和元年度調査地点数
 (下段) : 各水系における調査地点数

3. 4 内分泌かく乱物質の調査結果

項目ごとの調査頻度については、表-3.7に示すとおりである。また、過去の調査において国土交通省河川局が定めている重点調査濃度を超過した項目については、重点的に調査を行うこととしている。

令和元年度調査結果を表-3.8、図-3.3に示す。宮前橋でエストロンが重点調査濃度を超過した。

表-3.7 項目別調査頻度と重点調査濃度

	項目	調査頻度	重点調査濃度	選定理由
水質	ビスフェノールA	1回/6年	24.7 μ g/L	環境省のリスク評価および文献等において、内分泌かく乱作用が確認され、かつ過去の調査において検出率が高い。
	エストロン		0.0016 μ g/L	文献等において、内分泌かく乱作用が確認され、かつ過去の調査において検出率が高い。
	17 β -エストラジオール		0.0015 μ g/L	
	o,p'-DDT		0.0145 μ g/L	環境省のリスク評価において、明らかな内分泌かく乱作用は確認されなかったが、魚類に対しては内分泌攪乱作用を有することが推測される。

表-3.8 令和元年度内分泌かく乱物質調査結果一覧

地点番号	水系名	河川名	調査地点名	水質					
				流量 (m ³ /s)	SS (mg/L)	ビスフェノールA (μ g/L)	エストロン LC/MS/MS法 (μ g/L)	17 β -エストラジオール LC/MS/MS法 (μ g/L)	o,p'-DDT (μ g/L)
1	淀川	淀川	宮前橋	—	1.8	0.007	0.0019	ND	0.0000035
2	淀川	淀川	菅原城北大橋	—	3.4	0.008	0.0003	ND	0.0000069
3	淀川	淀川	淀川大橋	—	3.4	0.015	0.0002	ND	0.0000077
重点調査濃度				—	24.7	0.0016	0.0015	0.0145	
検出下限値(未満ND)					0.1	0.001	0.00004	0.00004	0.0000004

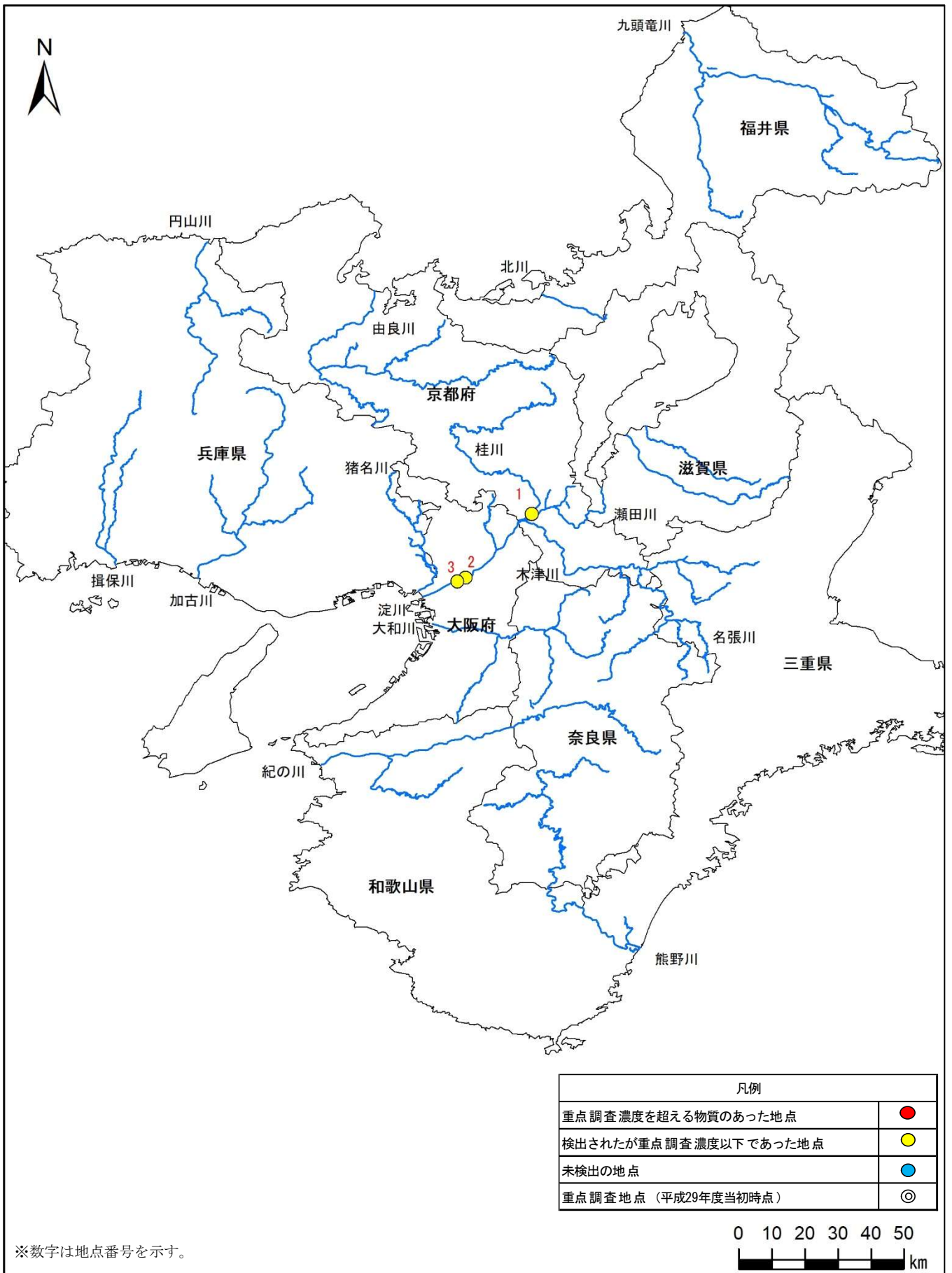


図-3.3 令和元年度内分泌かく乱物質調査結果

4. 近畿地方整備局管内における水生生物調査の状況

4. 1 令和元年調査結果

令和元年は61箇所を調査を実施し、20地点（33%）が「きれいな水」と判定された。平成30年と比較すると、「きれいな水」の地点は6地点、比率にして15%減少した。

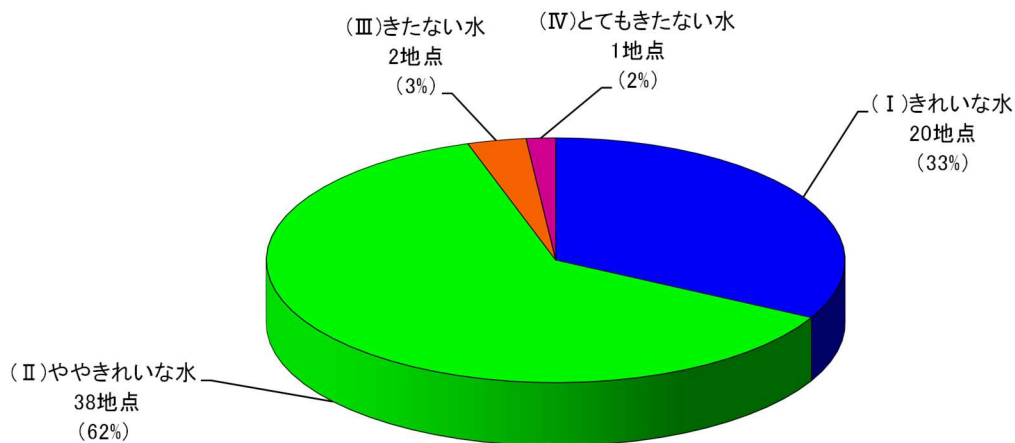


図-4.1 水生生物による水質階級の地点数（割合）

※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

表-4.1 水質階級ごとの指標生物

水質階級	環境	指標生物
(I) きれいな水	上流域の溪流環境	カワゲラ類、ナガレトビケラ類、ヤマトビケラ類、ヒラタカゲロウ類、ヘビトンボ、ブユ類、アミカ類、ナミウズムシ、サワガニ、ヨコエビ類
(II) ややきれいな水	栄養塩の流入がある中流域の環境	コガタシマトビケラ類、オオシマトビケラ、ヒラタドロムシ類、ゲンジボタル、コオニヤンマ、カワニナ類、※スジエビ、◎ヤマトシジミ、◎イシマキガイ
(III) きたない水	河口域の汽水域、または周辺に豊かな自然が残る田園環境、川の水位変動により本流とつながったり、取り残されて溜まり水（池）になる環境	ミズムシ、ミズカマキリ、※タイコウチ、シマイシビル、タニシ類、◎イソコツブムシ類、◎ニホンドロソコエビ
(IV) とてもきたない水	とても汚れた水	ユスリカ類、チョウバエ類、エラミミズ、サカマキガイ、アメリカザリガニ

注) ◎は汽水域の生物である。

※平成24年度から水質階級別指標生物が一部変更されている（スジエビ、タイコウチは旧指標生物である）

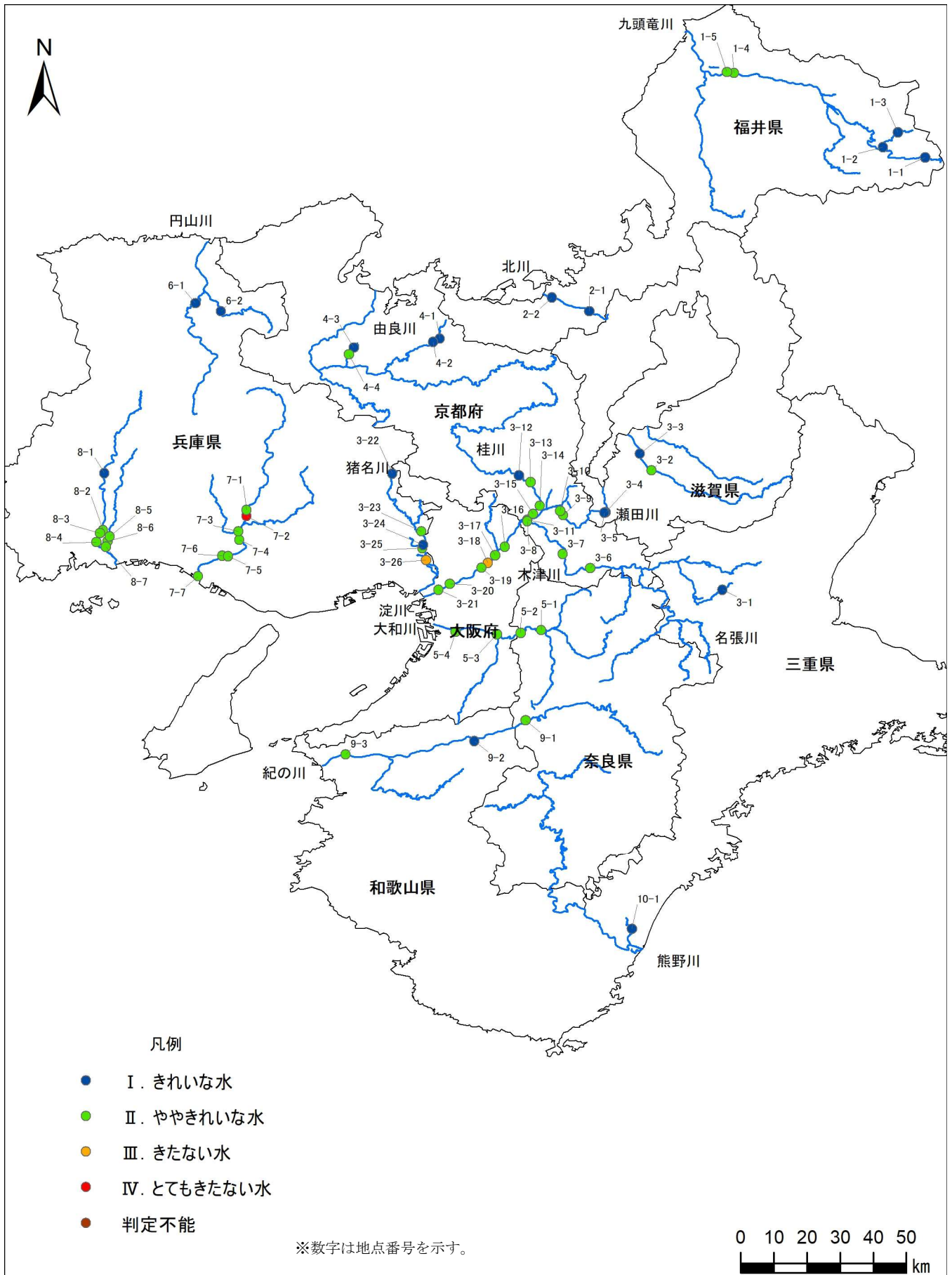


図-4.2 水生生物調査結果

表-4.2 水生生物調査地点別水質判定一覧表

水系名	河川名	地点番号	地点名	R1水質階級	参考	参考（定期水質調査）	
					H30水質階級	水質調査地点	BOD75%値
九頭竜川	九頭竜川	1-1	九頭竜川上流	I	I		
	九頭竜川	1-2	和泉支所前	I	I		
	石徹白川	1-3	前坂キャンプ場	I	I		
	九頭竜川	1-4	福井大橋下流	II	I		
	九頭竜川	1-5	天池河川公園前	II	I	中角	0.5
北川	北川	2-1	三宅橋	I	I	上中橋	0.5
	北川	2-2	高塚橋	I	I	高塚	0.6
淀川	木津川	3-1	稲広橋	I	I		
	野洲川	3-2	名神野洲川橋	II	II	石部	0.9
	野洲川	3-3	落差工下流	I	II		
	瀬田川	3-4	瀬田川・信楽川合流点	I	I		
	瀬田川	3-5	高橋下流	I	-		
	服部川	3-6	恭仁大橋	II	II	恭仁大橋	0.9
	木津川	3-7	玉水橋	II	II	玉水橋	0.9
	木津川	3-8	木津川御幸橋	II	II	木津川御幸橋	0.8
	宇治川	3-9	京滋バイパス下流	II	II	宇治橋	0.7
	宇治川	3-10	隠元橋	II	II	隠元橋	0.8
	宇治川	3-11	宇治川御幸橋	II	II	宇治川御幸橋	0.9
	桂川	3-12	渡月橋	I	II	渡月橋	0.7
	桂川	3-13	西大橋	II	II	西大橋	0.6
	桂川	3-14	羽束師橋	II	II	羽束師橋	1.1
	桂川	3-15	宮前橋	II	II	宮前橋	1.0
	淀川	3-16	楠葉砂州	II	II		
	淀川	3-17	鳥飼大橋	II	II	鳥飼大橋中央	0.9
	淀川	3-18	城北	III	III	菅原城北大橋	1.1
	淀川	3-19	柴島水管橋	II	II	菅原城北大橋	1.1
	淀川	3-20	十三干潟	II	II		
	淀川	3-21	伝法大橋	II	II	伝法大橋	5.4
	猪名川	3-22	奥猪名健康の郷	I	I		
	猪名川	3-23	こんにやく橋	II	I	銀橋	1.1
	猪名川	3-24	ドラゴンランド	I	I		
	猪名川	3-25	池田床固下流	II	II	呉服橋	0.7
	猪名川	3-26	桑津橋	III	II	駄六川流末	1.0
由良川	上林川	4-1	綾部市故屋岡町付近	I	-		
	古和木川	4-2	有安橋	I	I		
	上林川	4-3	犀川上流	I	-		
	古和木川	4-4	物部橋	II	-		
大和川	大和川	5-1	御幸大橋	II	-	御幸大橋	3.0
	大和川	5-2	藤井	II	-	藤井	3.5
	大和川	5-3	河内橋	II	II	河内橋	2.1
	大和川	5-4	浅香	II	II	浅香新取水口	2.1
円山川	円山川	6-1	上ノ郷橋下流	I	I	府市場	0.5
	円山川	6-2	寺内橋下流	I	-	弘原	0.5
加古川	加古川	7-1	福田橋上流	II	-		
	加古川	7-2	野村～上田	IV	-		
	加古川	7-3	粟田橋左岸下流	II	I		
	加古川	7-4	大住橋上流	II	-	大住橋	0.9
	加古川	7-7	草谷川	II	-		
	加古川	7-5	加古川大堰下流	II	-		
	加古川	7-6	加古川河口干潟	II	-	相生橋	2.0
揖保川	揖保川	8-1	さつき大橋下流	I	-	山崎	0.5
	揖保川	8-2	龍野橋上流	II	-	龍野	0.6
	伊沢川	8-3	千鳥ヶ浜公園	II	II		
	揖保川	8-4	せせらぎ公園	II	I		
	栗栖川	8-5	井上第二排水樋門	II	-		
	揖保川	8-6	萱鳩橋上流左岸側	II	I		
	栗栖川	8-7	JR山陽本線林田川橋梁下流	II	II		
紀の川	紀の川	9-1	大川橋	II	-	大川橋	0.8
	丹生川	9-2	丹生橋下流	I	I		
	千手川	9-3	かんのん橋下流	II	-		
新宮川	相野谷川	10-1	相野谷橋下流	I	I		

4. 2 水質階級構成比の年次推移

平成15年から令和元年における近畿全体と近畿の各河川の水質階級構成比については次のとおりである。近畿全体の令和元年では、平成30年と比較して（Ⅰ）きれいな水の割合が減少、（Ⅱ）ややきれいな水の割合が増加した。

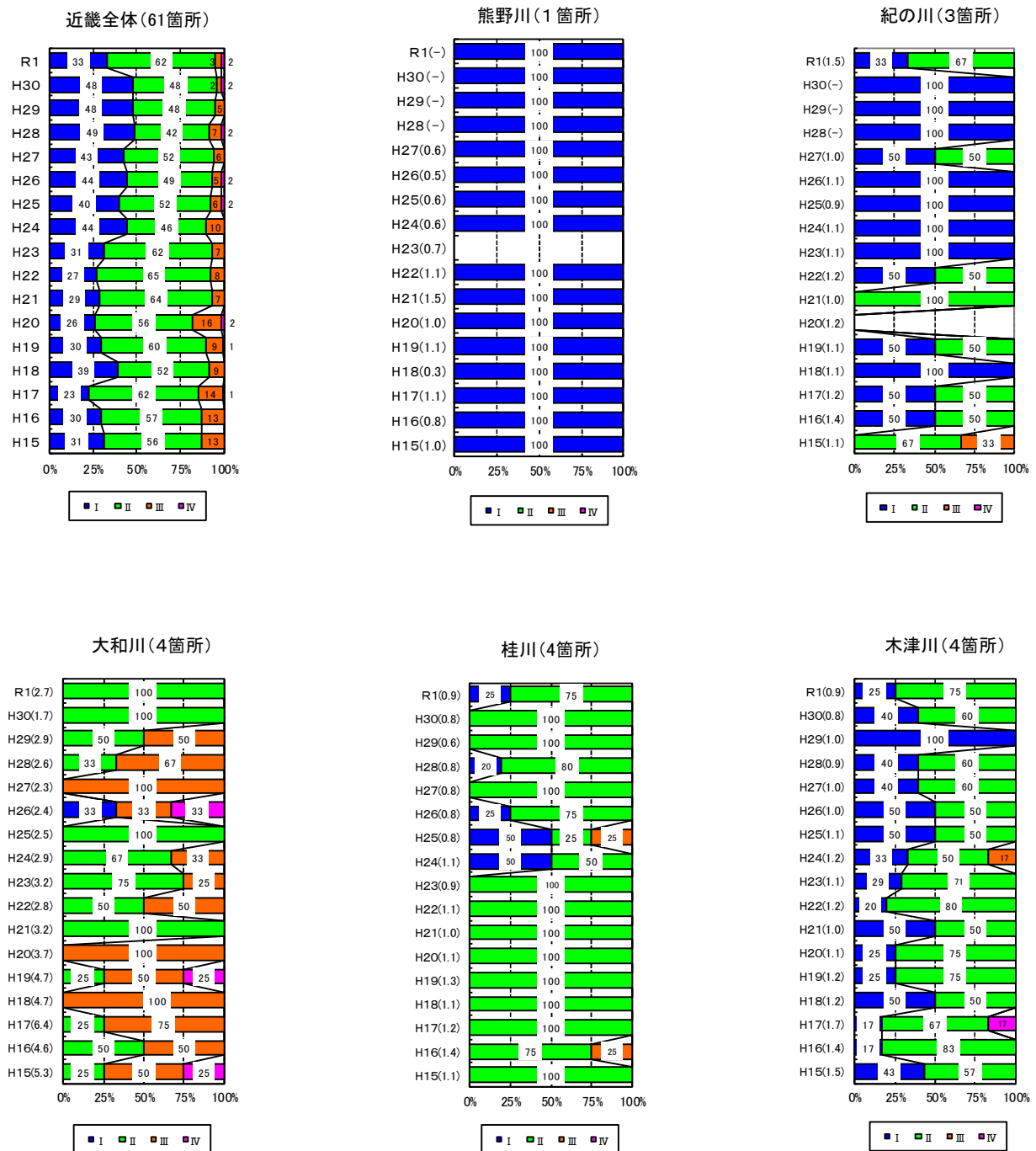


図-4.3 水質階級構成比の年次推移
(近畿全体、熊野川、紀の川、大和川、桂川、木津川)

※箇所数は、R1年の調査箇所数。年の（ ）は、BOD年平均値 (mg/L)

※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

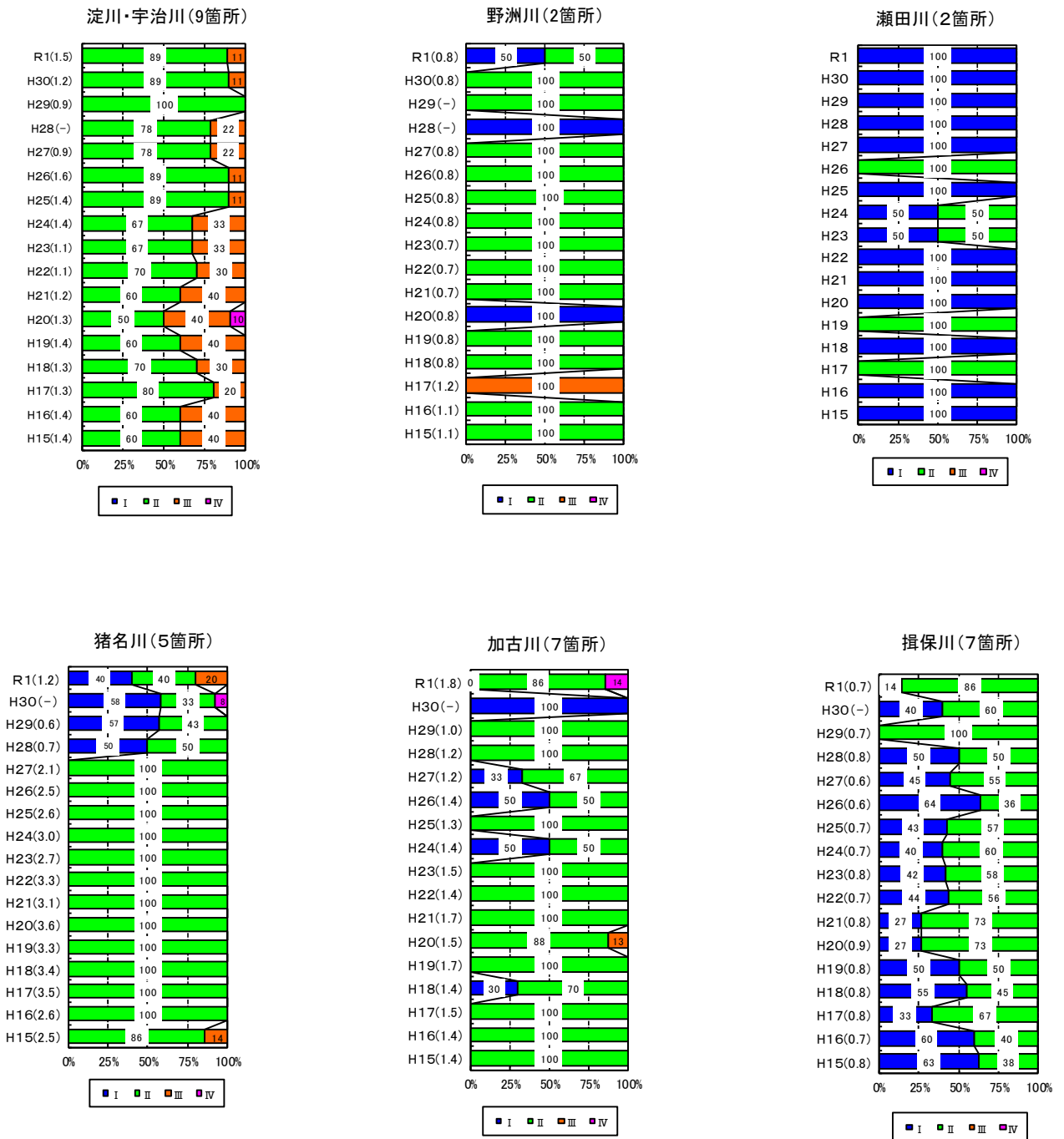


図-4.4 水質階級構成比の年次推移
(淀川・宇治川、野洲川、瀬田川、猪名川、加古川、揖保川)

※箇所数は、R1年の調査箇所数。年の()は、BOD年平均値 (mg/L)
※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

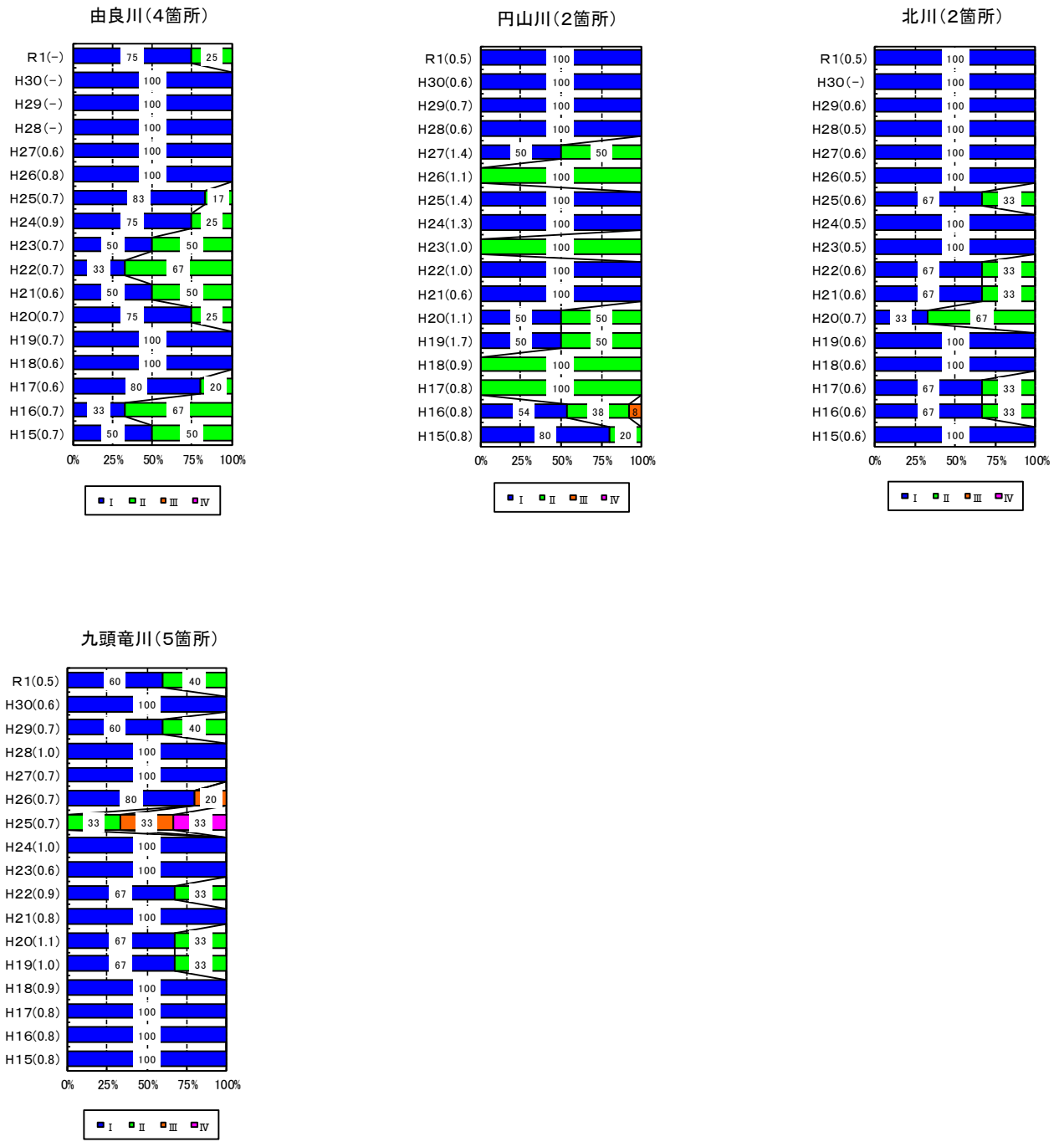
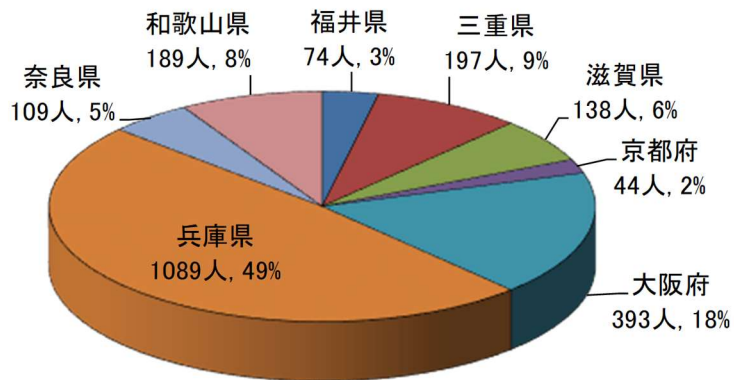


図-4.5 水質階級構成比の年次推移
(由良川、円山川、北川、九頭竜川)

※箇所数は、R1年の調査箇所数。年の()は、BOD年平均値 (mg/L)
 ※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

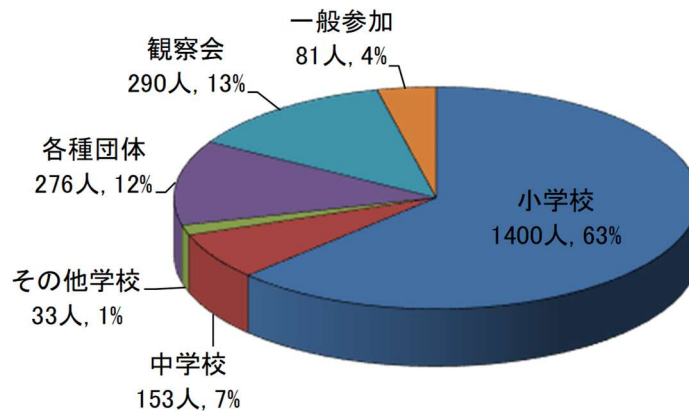
4. 3 水生生物調査の参加者数

令和元年の水生生物調査の参加者は2,233人（前年度2,369人）であった。府県別参加者数、団体別参加者数及び参加人数の推移については次のとおりである。



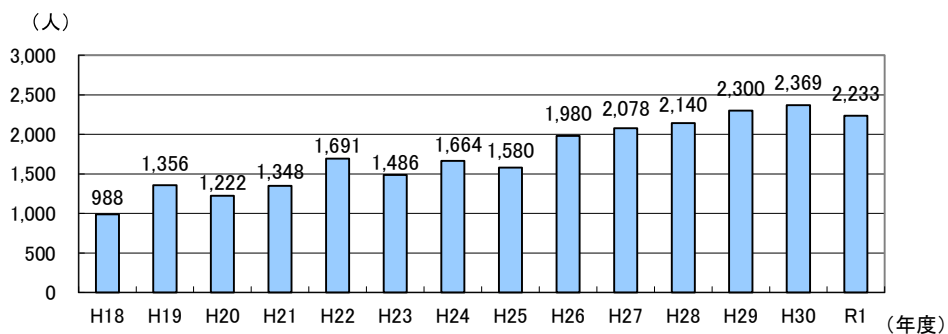
図－4.6 府県別の水生生物調査参加者数

※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。



図－4.7 団体別の水生生物調査参加者数

※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。



図－4.8 参加人数の推移

5. 水質事故の発生状況

令和元年における近畿地方整備局管内（指定区間等を含む）の年間の水質事故発生件数は73件であった。このうち、57件（78%）が油類の流出事故であった。

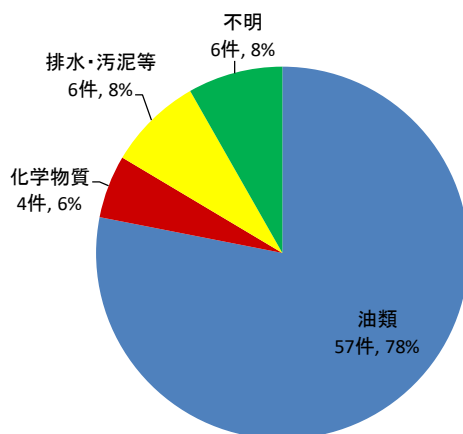


図-5.1 種類別事故発生件数

※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

事故原因別では、原因不明が33件（45%）、工場等での操作ミスが16件（22%）、交通事故が13件（18%）であった。

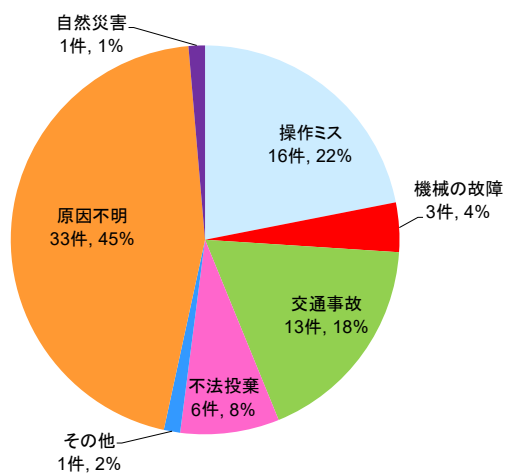


図-5.2 原因別事故発生件数

※四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

これらの水質事故については、各水系に設置されている水質汚濁防止連絡協議会（国土交通省、府県、市町村等の土木部局・環境部局・水道部局等により構成）等により速やかに関係機関等に通報・連絡するとともに、発生源の調査、及び原因物質特定、河川への拡散防止等の対策を講じている。